



パフォーマンスカウンター 及びアラート

- [システム カウンタ \(1 ページ\)](#)
- [音声およびビデオ カウンタ \(20 ページ\)](#)
- [IM and Presence Service カウンタ \(104 ページ\)](#)
- [Cisco Unity Connection カウンタ \(123 ページ\)](#)
- [システム アラート \(149 ページ\)](#)
- [音声およびビデオ アラート \(169 ページ\)](#)
- [IM and Presence Service アラート \(211 ページ\)](#)
- [Intercompany Media Engine アラート \(233 ページ\)](#)
- [Cisco Unity Connection のアラート \(242 ページ\)](#)
- [システム エラー メッセージ \(251 ページ\)](#)

システム カウンタ

Cisco Tomcat Connector

Tomcat Hypertext Transport Protocol (HTTP) および HTTP Secure (HTTPS) Connector オブジェクトは、Tomcat コネクタについての情報を提供します。

Tomcat HTTP コネクタは、要求を受信して応答を送信するエンドポイントを表します。このコネクタは、アプリケーションの Web ページにアクセスしたときに発生する HTTP/HTTPS 要求の処理と HTTP/HTTPS 応答の送信を行います。Web アプリケーション URL の Secure Socket Layer (SSL) ステータスは、各 Tomcat HTTP Connector のインスタンス名の基準を提供します。たとえば、SSL の場合は `https://<IP Address>:8443`、非 SSL の場合は `http://<IP Address>:8080` になります。

次の表に、Tomcat HTTP Connector カウンタに関する情報を示します。

表 1: Cisco Tomcat Connector

カウンタ	カウンタの説明
Errors	コネクタで発生した HTTP エラー（たとえば、「401 未認証 (401 Unauthorized)」）の合計数。
MBytesReceived	コネクタが受信したデータの量。
MBytesSent	コネクタが送信したデータの量。
Requests	コネクタが処理した要求の総数。
ThreadsTotal	要求処理スレッドの現在の合計数、コネクタの使用可能/使用中の数を含みます。
ThreadsMax	コネクタの要求処理スレッドの最大数。 Web アプリケーションのウィンドウで着信する各要求は、その要求を処理するときに、1 つのスレッドを必要とします。現在使用可能な要求処理スレッドの数を上回る同時要求を受信した場合は、このカウンタは、設定最大数を上限として、追加のスレッドが作成されます。さらなる要求を受信すると、それらの要求は、内部で指定された最大数のコネクタで作成されたサーバソケット内に累積されます。それらの要求は、それらの要求を処理するリソースが使用可能になるまで、メッセージを受け取ります。
ThreadsBusy	このカウンタは、コネクタのビジー状態/使用中の要求処理スレッド数を表します。

Cisco Tomcat JVM

Cisco Tomcat Java Virtual Machine (JVM) オブジェクトは、Cisco Unified Communications Manager の管理、Cisco Unified Serviceability、および Cisco Unity Connection の管理など、Web アプリケーションで使用する共通リソースメモリのプールに関する情報を提供します。動的メモリブロックには、Tomcat とその Web アプリケーションで作成されるすべてのオブジェクトが保存されます。

次の表に、Tomcat JVM カウンタに関する情報を示します。

表 2: Tomcat JVM

カウンタ	カウンタの説明
KBytesMemoryFree	Tomcat Java Virtual Machine の動的メモリ ブロック（ヒープ）の動的メモリの空き容量が少なくなると、追加のメモリが自動的に、KbytesMemoryTotal カウンタに表示される合計メモリから削減されます。ただし、KbytesMemoryMax カウンタに表示される最大容量を超えないように制限されます。 使用中のメモリ容量は、KbytesMemoryTotal から KBytesMemoryFree を減算することで判断できます。
KBytesMemoryMax	Tomcat Java Virtual Machine の動的メモリ ブロック（ヒープ）の最大容量。
KBytesMemoryTotal	空きメモリと使用中メモリを含む、Tomcat Java Virtual Machine の動的メモリ ブロックの合計サイズ。

Cisco Tomcat Web Application

Cisco Tomcat Web Application オブジェクトは、この Web アプリケーションを実行する方法についての情報を提供します。

次の例で示すように、Web アプリケーションの URL は、各 Tomcat Web Application のインスタンス名の基準になります。

- Cisco Unified Communications Manager の管理ページ (<https://<IP Address>:8443/ccmadmin>) は、ccmadmin により識別されます。
- Cisco Unified Serviceability (<https://<IP Address>:8443/ccmservice>) は、ccmservice によって識別されます。
- Cisco Unified Communications Manager のユーザ オプション (<https://<IP Address>:8443/ccmuser>) は、ccmuser によって識別されます。
- Cisco Unity Connection の管理ページ (<https://<IP Address>:8443/cuadmin>) は、cuadmin によって識別されます。
- 拡張子を持たない URL (<https://<IP Address>:8443> や <http://<IP Address>:8080>) は _root によって識別されます。

次の表に、Tomcat Web Application カウンタについての情報を示します。

表 3: Tomcat Web Application

カウンタ	カウンタの説明
Errors	Cisco Unified Communications Manager 関連、または Cisco Unity C 連の Web アプリケーションで発生した HTTP エラー（たとえば、 など）の合計数を表します。
Requests	Web アプリケーションが処理する要求の数の合計数。Requests カ Web アプリケーションにアクセスするたびに増加します。
SessionsActive	Web アプリケーションでアクティブまたは使用中のセッションの

Database Change Notification Client

Database Change Notification Client オブジェクトは、変更通知クライアントについての情報を提供します。次の表に、Database Change Notification Client カウンタに関する情報を示します。

表 4: Database Change Notification Client

カウンタ	カウンタの説明
MessagesProcessed	処理されたデータベース変更通知の数。このカウンタは、15 秒ごに更新されます。
MessagesProcessing	現在処理中、またはこのクライアントの変更通知キューで処理待る変更通知メッセージの数。このカウンタは、15 秒ごとに更新
QueueHeadPointer	変更通知キューへのヘッドポインタ。ヘッドポインタは、変更内の開始ポイントとして機能します。キュー内の通知数は、テール値からヘッドポインタ値を減算することで判断できます。デフォルトでこのカウンタは 15 秒ごとに更新されます。
QueueMax	このクライアントで処理される変更通知メッセージの最大数。これは、Cisco Database Layer Monitor サービスの最後の再起動時から
QueueTailPointer	変更通知キューのテールポインタ。テールポインタは、変更通知の終了ポイントを表します。キュー内の通知数は、テールポインタ値からヘッドポインタ値を減算することで判断できます。デフォルトでこのカウンタは 15 秒ごとに更新されます。
TablesSubscribed	このクライアントが登録しているテーブルの数。

Database Change Notification Server

Database Change Notification Server オブジェクトは、さまざまな変更通知関連の統計情報を提供します。次の表に、Database Change Notification Server カウンタに関する情報を示します。

表 5: Database Change Notification Server

カウンタ	カウンタの説明
Clients	変更を通知するために登録されている変更通知クライアント (サブレット) の数。
CNProcessed	リポートしてからサーバによって処理される変更通知メッセージの数。
Queue Delay	変更通知プロセスで処理するメッセージがあるにもかかわらず処理されていない時間 (秒)。この条件は、次の場合に当てはまります。 <ul style="list-style-type: none"> • Change Notification Requests Queued in Database (QueuedRequestsInDB) がゼロ以外に設定されている場合、または • Latest Change Notification Messages Processed カウンタが変更された場合。 この条件は 15 秒ごとに確認されます。
QueuedRequestsInDB	(共有メモリのキューに入らずに) TCP/IP 直接接続により Database Change Notification Queue (Database Change Notification Queue) テーブルに入れられたメッセージの数。このカウンタは、15 秒ごとに更新されます。
QueuedRequestsInMemory	共有メモリのキューに入る変更通知要求の数。

Database Change Notification Subscription

Database Change Notification Subscription オブジェクトは、クライアントが変更通知を受信するテーブルの名前を表示します。

SubscribedTable オブジェクトは、変更通知を受信するサービスまたはサブレットを含んだテーブルを表示します。カウンタは増加しないため、この表示は参考目的のみに使用されません。

Database Local DSN

Database Local Data Source Name (DSN) オブジェクトと LocalDSN カウンタは、ローカルマシンの DSN 情報を提供します。次の表に、Database Local DSN に関する情報を示します。

表 6: Database Local Data Source Name

カウンタ	カウンタの説明
CcmDbSpace_Used	使用されている Ccm DbSpace の量。
CcmtempDbSpace_Used	使用されている Ccmtemp DbSpace の量。
CNDbSpace_Used	使用されている CN DbSpace の割合 (パーセント)。
LocalDSN	ローカルマシンから参照されている DSN。
SharedMemory_Free	空いている共有メモリの合計。
SharedMemory_Used	使用されている共有メモリの合計。
RootDbSpace_Used	使用されている RootDbSpace の量。

DB User Host Information カウンタ

DB User Host Information オブジェクトは、DB User Host についての情報を提供します。

DB:User:Host Instance オブジェクトは、DB:User:Host の各インスタンスの接続数を表示します。

Enterprise Replication DBSpace Monitors

Enterprise Replication DBSpace Monitors オブジェクトは、さまざまな ER DbSpace の使用状況を表示します。次の表に、Enterprise Replication DB Monitors に関する情報を示します。

表 7: Enterprise Replication DBSpace Monitors

カウンタ	カウンタの説明
ERDbSpace_Used	使用されている Enterprise Replication DbSpace の容量。
ERSBDbSpace_Used	使用されている ERDbSpace の容量。

Enterprise Replication Perfmon Counters

Enterprise Replication Perfmon Counter オブジェクトは、さまざまな複製カウンタについての情報を提供します。

ServerName:ReplicationQueueDepth カウンタは、サーバ名に続いて、複製キューの項目数を表示します。

IP

IP オブジェクトは、システムの IPv4 関連の統計についての情報を提供します。次の表に、IP カウンタについての情報を示します。

(注) また、このカウンタは、Unified Communications Manager をサポートし、システムの IPv6 関連の統計についての情報を提供する IPv6 オブジェクトの一部でもあります。

表 8: IP カウンタ

カウンタ	カウンタの説明
Frag Creates	このエンティティで生成された IP データグラム フラグメントの数。
Frag Fails	Do not Fragment フラグが設定されたデータグラムの場合などをフラグメント化できなかったためにこのエンティティで破棄されたデータグラムの数。
Frag OKs	このエンティティで正常にフラグメント化された IP データグラムの数。
In Delivers	IP ユーザプロトコルに配信された入力データグラムの数。このカウンタには、ネット制御メッセージプロトコル (ICMP) が含まれます。
In Discards	問題が発生しないものの廃棄された入力 IP データグラムの数。このカウンタには、バッファ領域の不足があります。このカウンタには、待機中に廃棄されたデータグラムの数は含まれません。
In HdrErrors	ヘッダーエラーで廃棄された入力データグラムの数。これには、チェックサム、バージョン番号の不一致、他の形式エラー、存続可能期間 (TTL) の超過、および IP オプションの処理中に発見されたその他のエラーが含まれます。
In Receives	すべてのネットワーク インターフェイスから受信された入力データグラムの数。このカウンタには、エラーと共に受信されたデータグラムも含まれます。
In UnknownProtos	正常に受信されたものの、プロトコルが不明またはサポートされていないために廃棄されたローカル アドレス宛てのデータグラムの数。
InOut Requests	受信された着信 IP データグラムの数および送信された発信 IP データグラムの数。
Out Discards	送信されずに廃棄された出力 IP データグラムの数。考えられる原因は、バッファ領域の不足があります。

カウンタ	カウンタの説明
Out Requests	このカウンタは、ICMP を含むローカル IP ユーザプロトコルが、IP に与える IP データグラムの総数を表します。このカウンタに ForwDatagrams でカウントされたデータグラムの数は含まれません。
Reasm Fails	タイムアウトやエラーなど、IP 再構成アルゴリズムによって検出された再構成の失敗の回数。 このカウンタは、破棄された IP フラグメントの数を表しません。アルゴリズムなどの一部のアルゴリズムでは、受信するときにフラグメントを結合するので、フラグメントの数を追跡できなくなる可能性があります。
Reasm OKs	正常に再構成された IP データグラムの数。
Reasm Reqds	このエンティティで再構成が必要だった受信 IP フラグメントの数。

メモリ

Memory オブジェクトは、サーバの物理メモリとスワップメモリの使用状況についての情報を提供します。次の表に、Memory カウンタに関する情報を示します。

表 9: メモリ

カウンタ	カウンタの説明
% Mem Used	システムの物理メモリの使用率をパーセントで表示します。この値は次のように計算されます。 $\frac{\text{Total KBytes} - \text{Free KBytes} - \text{Buffers KBytes} - \text{Cached KBytes} + \text{Shared KBytes}}{\text{Total KBytes}}$ この値は、Used KBytes/Total KBytes に相当します。
% Page Usage	アクティブなページの割合（パーセント）。
% VM Used	システムの仮想メモリの使用率をパーセントで表示します。この値は次のように計算されます。 $\frac{\text{Total KBytes} - \text{Free KBytes} - \text{Buffers KBytes} - \text{Cached KBytes} + \text{Shared KBytes} + \text{Used Swap KBytes}}{\text{Total KBytes} + \text{Used Swap KBytes}}$ この値は、Used VM KBytes/Total VM KBytes に相当します。
Buffers KBytes	システムのバッファ容量（キロバイト単位）。
Cached KBytes	キャッシュされたメモリの容量（キロバイト単位）。
Free KBytes	システムで使用可能な合計メモリの総量（キロバイト単位）。

カウンタ	カウンタの説明
Free Swap KBytes	システムで使用可能な空きスワップ領域の容量 (キロバイト単位)。
HighFree	上部領域での空きメモリ容量。 Linux カーネルは、仮想メモリ アドレス空間を複数のメモリ領域に分割します。上位メモリは特定の物理アドレスより上位のメモリで、計算メモリとシステムのカーネル タイプによって異なります。 4 GB メモリを搭載した Unified Communications Manager システムの上位メモリはおおよそ 896M ~ 4096M のアドレスを指します。
HighTotal	上位領域のメモリの総量。 Linux カーネルは、仮想メモリ アドレス空間を複数のメモリ領域に分割します。上位メモリは特定の物理アドレスより上位のメモリで、計算メモリとシステムのカーネル タイプによって異なります。 4 GB メモリを搭載した Unified Communications Manager システムの上位メモリはおおよそ 896M ~ 4096M のアドレスを指します。
Page Faults Per Sec	システムによるページフォールト (メジャーとマイナーの両方の件数を表します (2.5 以降のカーネルのみ))。一部のページフォールトは I/O がなくても解決できるため、この値は入力および出力されたページフォールトのカウントと一致しない場合があります。
Low Total	カーネルの低 (非ページ) メモリの合計。
Low Free	カーネルの低 (非ページ) メモリの空き容量の合計。
Page Major Faults Per Sec	システムによる 1 秒あたりのメジャー フォールトの件数 (2.5 以降のカーネルのみ) 。メジャー ページフォールトとは、ディスクからページをロードする必要があるページフォールトを指します。
Pages	ディスクからページインしたページの数と、ディスクにページアウトされたページ数の合計。
Pages Input	ディスクからページインされたページの数。
Pages Input Per Sec	ディスクからページインされた 1 秒あたりのページのサイズ (キロバイト単位) 。
Pages Output	ディスクにページアウトされたページの数。
Pages Output Per Sec	ディスクにページアウトされた 1 秒あたりのページのサイズ (キロバイト単位) 。
Shared KBytes	システムの共有メモリの容量 (キロバイト単位) 。

カウンタ	カウンタの説明
SlabCache	プロセスの slabinfo のすべての個別エントリの合計を表す詳細として、さまざまなカーネル コンポーネントによって作成された SlabCache で使用されるメモリ。
SwapCached	キャッシュ メモリとして使用されたスワップ容量。これは、一時的にアウトされてからスワップバックされたが、まだスワップファイルにあるメモリです。
Total KBytes	システムのメモリの総量 (キロバイト単位)。
Total Swap KBytes	このカウンタは、システムのスワップ領域の総量 (キロバイト単位)。
Total VM KBytes	使用中のシステム物理メモリとスワップ領域 (Total Kbytes + Total Swap Kbytes) の総量 (キロバイト単位)。
Used KBytes	<p>使用中のシステム物理メモリの容量。Used KBytes カウンタの値に計算されます。</p> <p>$Total\ KBytes - Free\ KBytes - Buffers\ KBytes - Cached\ KBytes + Shared\ KBytes$。</p> <p>Used KBytes の値は、top または free コマンド出力に表示される値とは異なります。top または free コマンド出力に表示される Used KBytes は、$Used\ KBytes - Free\ KBytes$ で計算される値に等しく、Buffers KBytes と Cached KBytes の合計値も含まれます。</p>
Used Swap KBytes	このカウンタは、システムで使用中のスワップ領域の容量をキロバイト単位で表します。
Used VM KBytes	<p>このカウンタは、システム物理メモリと、使用中のスワップ領域の総量をキロバイト単位で表します。値は次のように計算されます。</p> <p>$Total\ KBytes - Free\ KBytes - Buffers\ KBytes - Cached\ KBytes + Shared\ KBytes + Used\ Swap\ KBytes$</p> <p>この値は、Used Mem KBytes + Used Swap KBytes に相当します。</p>

ネットワーク インターフェイス (Network Interface)

Network Interface オブジェクトは、システムのネットワーク インターフェイスについての情報を提供します。次の表に、Network Interface カウンタに関する情報を示します。

表 10: ネットワーク インターフェイス

カウンタ	カウンタの説明
Rx Bytes	インターフェイスで受信したフレーミング文字を含めたバイト数

カウンタ	カウンタの説明
Rx Dropped	エラーは検出されなかったものの、破棄するように選択されたパケットの数。これによって、上位層のプロトコルにパケットがなくなります。また、パケットの破棄によりバッファ領域が解放されます。
Rx Errors	エラーのために上位層のプロトコルに配信できなかったインターフェイス（パケット指向インターフェイス）の数と、インバウンド送信ユニット（文字指向または固定長インターフェイス）の数。
Rx Multicast	このインターフェイスで受信したマルチキャストパケットの数。
Rx Packets	このサブレイヤが上位サブレイヤに配信したパケットの数。このサブレイヤでマルチキャストまたはブロードキャストアドレス指定されたパケットは含まれていません。
Total Bytes	受信（Rx）バイトと送信（Tx）バイトの総数。
Total Packets	Rx パケットと Tx パケットの総数。
Tx Bytes	インターフェイスから送信されたフレーミング文字を含むバイト数。
Tx Dropped	エラーは検出されなかったものの、破棄するように選択されたパケットの数。これによって、上位層のプロトコルにパケットがなくなります。また、パケットの破棄によりバッファ領域が解放されます。
Tx Errors	エラーのために送信できなかったアウトバウンドパケット（インターフェイス）の数と、アウトバウンド送信ユニット（文字指向または固定長インターフェイス）の数。
Tx Packets	破棄されたものや送信されなかったものも含め、上位レベル送信を要求したパケットの総数。この値には、このサブレイヤでマルチキャストまたはブロードキャストアドレスにアドレス指定されたパケットは含まれていません。
Tx QueueLen	The length of the output packet queue (in packets).

Number of Replicates Created and State of Replication

Number of Replicates Created and State of Replication オブジェクトは、システムのリアルタイム複製についての情報を提供します。次の表に、Replication カウンタに関する情報を示します。

表 11: Number of Replicates Created and State of Replication

カウンタ	カウンタの説明
Number of Replicates Created	DB 表用に Informix によって作成されたレプリケーションの数。タは、複製のセットアップ中の情報を表示します。
Replicate_State	レプリケーションの状態。次の値が使用されます。 0 初期化中。サーバが定義されていない場合、または、サーバにいてもテンプレートが完了していない場合、カウンタの値は 0 になります。 1 レプリケーションセットアップスクリプトがこのノードから失敗した場合、CLI で utils dbreplication status を実行し、エラーの場所と原因を判別することを推奨します。 2 良好なレプリケーション。 3 不正なレプリケーション。カウンタの値が 3 の場合、クラスターが正しく機能していないことを示します。これは、クラスターがサーバ上で複製が失敗したことを示すものではありません。 dbreplication status を実行し、エラーの場所と原因を判別することを推奨します。 4 レプリケーションセットアップが失敗した。

パーティション

Partition オブジェクトは、システムのファイルシステムとその使用状況についての情報を提供します。次の表に、Partition カウンタに関する情報を示します。これらのカウンタは予備パーティション（存在する場合）でも使用できます。

表 12: パーティション

カウンタ	カウンタの説明
% CPU Time	ディスクに対して発行された I/O 要求の処理にかかった CPU テージ。
% Used	このファイル システムで使用中のディスク領域のパーセンテ
% Wait in Read	このカウンタは使用されません。このカウンタの代わりに AV カウンタが使用されます。このカウンタは、カウンタの値が になります。
% Wait in Write	このカウンタは使用されません。このカウンタの代わりに AV カウンタが使用されます。このカウンタは、カウンタの値が になります。
Await Read Time	サービス対象のデバイスに対して発行された読み取り要求の（ミリ秒単位）。
Await Time	サービス対象のデバイスに対して発行された入出力（I/O）要 間（ミリ秒単位）。この値には、要求がキュー内に存在する 処理する時間が含まれます。
Await Write Time	サービス対象のデバイスに対して発行された書き込み要求の（ミリ秒単位）。
Queue Length	ディスクに対して発行された要求の平均キュー長。
Read Bytes Per Sec	ディスクから読み取られた 1 秒あたりのデータ量（バイト単
Total Mbytes	このファイル システムのディスク領域全体の容量（メガバイ
Used Mbytes	このファイルシステムで使用中のディスク領域の容量（メガ
Write Bytes Per Sec	ディスクに書き込まれた 1 秒あたりのデータ量（バイト単位

プロセス

Process オブジェクトは、システムで実行されているプロセスについての情報を提供します。次の表に、Process カウンタに関する情報を示します。

表 13: プロセス

カウンタ	カウンタの説明
% CPU Time	このカウンタは、最後に更新してから経過した CPU 時間における率を、合計 CPU 時間に対する比率で表します。
% MemoryUsage	このカウンタは、タスクが現在使用している物理メモリを比率で表します。
Data Stack Size	このカウンタは、タスク メモリ ステータスのスタック サイズを表します。
Nice	このカウンタは、タスクの Nice 値を表します。 <ul style="list-style-type: none"> 負の Nice 値はプロセスの優先順位が高いことを示します。 正の Nice 値はプロセスの優先順位が低いことを示します。 (注) Nice 値が 0 の場合、タスクの割り当てを判断するときを調整しないでください。
Page Fault Count	このカウンタは、タスクで発生し、データをメモリにロードするようになったメジャー ページフォールトの数を表します。
PID	このカウンタは、タスク固有のプロセス ID を表します。この ID はラッピングされますが、値が 0 になることはありません。

カウンタ	カウンタの説明
Process Status	<p>このカウンタは、次のプロセス ステータスを表示します。</p> <p>0 Running</p> <p>1 スリープ中</p> <p>2 割り込み不能ディスク スリープ</p> <p>3 ゾンビ</p> <p>4 停止 (Stopped)</p> <p>5 ページング</p> <p>6 不明</p>
Shared Memory Size	このカウンタは、タスクが使用している共有メモリの容量 (表示します。他のプロセスが同じメモリを共有することも可
STime	このカウンタは、このプロセスがカーネルモードでスケジューシステム時間 (STime) を jiffy 単位で表示します。jiffy は CPU 相当し、測定単位として使用されます。1 秒は 100 jiffy です。
Thread Count	このカウンタは、タスクで現在グループ化されているスレッドの数を表示します。負の値 (-1) は、このカウンタが現在使用不可になります。これは、システムのプロセスとスレッドの数の合計しきい値を超過したために、スレッド統計情報 (Thread オブジェクトのパフォーマンス カウンタ、および Process オブジェクトのパフォーマンス カウンタを含む) がオフになった場合に発生します。
Total CPU Time Used	このカウンタは、タスクの開始以降、タスクがユーザモードで使用した合計 CPU 時間を jiffy 単位で表示します。
UTime	このカウンタは、タスクがユーザモードでスケジューリング単位で表示します。
VmData	このカウンタは、タスクでのヒープの仮想メモリ使用状況をキ単位で表示します。

カウンタ	カウンタの説明
VmRSS	このカウンタは、現在の物理メモリにおける仮想メモリ (Vm) サイズ (RSS) をキロバイト (KB) 単位で表示します。これには、データ、およびスタックが含まれます。
VmSize	このカウンタは、タスクでの仮想メモリの合計使用量をキロバイト単位で表示します。この値はスワップアウトされたすべてのコード、共有ライブラリ、およびページが含まれます。 仮想イメージ = スワップされたサイズ + 常駐サイズ
Wchan	このカウンタは、プロセスが待機しているチャンネル (システムコール) を表示します。

プロセッサ

Processor オブジェクトは、さまざまなプロセッサ時間の使用状況を比率で提供します。次の表に、Processor カウンタについての情報を示します。

表 14: プロセッサ

カウンタ	カウンタの説明
% CPU Time	このカウンタは、最後に更新してから経過した中央処理装置 (CPU) における、アイドル時間を除いたプロセッサの占有率を表示します。この率は、合計 CPU 時間に対する比率で表されます。
Idle Percentage	このカウンタは、プロセッサがアイドル状態になっており、未処理の入出力 (I/O) 要求がない時間を比率で表示します。
IOwait Percentage	このカウンタは、システムに未処理のディスク I/O 要求が存在している間、プロセッサがアイドル状態になっていた時間を比率で表します。
Irq Percentage	このカウンタは、デバイスに割り当てられる割り込み要求を実行するためにプロセッサが費やす時間 (プロセッサがコンピュータに信号を送信するために費やす時間を含む) を比率で表します。
Nice Percentage	このカウンタは、プロセッサが、Nice 優先順位に従ってユーザーのために費やす時間を比率で表示します。
Softirq Percentage	このカウンタは、プロセッサが、CPU のパフォーマンスを向上させるために、ソフト IRQ の実行とタスク切り替えの延期に費やす時間を比率で表します。
System Percentage	このカウンタは、プロセッサがシステム (カーネル) レベルで実行している時間を比率で表示します。

カウンタ	カウンタの説明
User Percentage	このカウンタは、プロセッサがユーザ（アプリケーション）プロセスを実行している時間を比率で表示します。

システム

System オブジェクトは、システムのファイル記述子についての情報を提供します。

次の表に、System カウンタについての情報を示します。

表 15: システム

カウンタ	カウンタの説明
Allocated FDs	割り当てられたファイル記述子の数。
Being Used FDs	システムで現在使用されているファイル記述子の数。
Freed FDs	システム上で割り当てられているファイル記述子のうち、解放ファイル記述子の数。
IOPerSecond	このサーバのすべてのディスクパーティションでの1秒あたり操作の数。システムパフォーマンスの問題が発生した場合、約 I/O 操作の影響を測定するためにこのカウンタの情報を使
IOReadReqMergedPerSecond	このサーバ上でマージされ、すべてのデバイスにキューインリ要求の1秒あたりの数。
IOWriteReqMergedPerSecond	このサーバ上でマージされ、すべてのデバイスにキューインリ要求の1秒あたりの数。
IOReadReqPerSecond	このサーバ上ですべてのデバイスに対して発行された読み取
IOWriteReqPerSecond	このサーバ上ですべてのデバイスに対して発行された書き込
IOSectorsReadPerSecond	このサーバ上のすべてのデバイスから読み取られた1秒あた
IOSectorsWrittenPerSecond	このサーバ上のすべてのデバイスに書き込まれた1秒あたり
IOKBytesReadPerSecond	このサーバ上のすべてのデバイスから読み取られた1秒あた
IOKBytesWrittenPerSecond	このサーバ上のすべてのデバイスに書き込まれた1秒あたり

カウンタ	カウンタの説明
IOSectorsReqSizeAvg	このサーバ上のすべてのデバイスに対して発行された要求のセクタサイズ。
IOReqQueueSizeAvg	このサーバ上のすべてのデバイスに対して発行された要求の平均長さ。
IOAwait	サービス対象のすべてのデバイスに対して発行される I/O 要求の平均待ち時間 (ミリ秒)。これには、要求がキュー内に存在する時間と、要求を処理するまでの時間が含まれます。
IOServiceTime	このサーバ上のすべてのデバイスに対して発行される I/O 要求の平均サービス時間 (ミリ秒)。
IOCpuUtil	I/O 要求がこのサーバ上のデバイスに対して発行される間 (デバイスが I/O 要求を処理している間) の CPU 時間の割合。
Max FDs	システムで許可されているファイル記述子の最大数。
Total CPU Time	システムが稼働している合計時間 (jiffy 単位)。
Total Processes	システムのプロセス数。
Total Threads	システムのスレッドの数。

TCP

TCP オブジェクトは、システムの TCP 統計についての情報を提供します。

次の表に、TCP カウンタについての情報を示します。

表 16: TCP

カウンタ	カウンタの説明
Active Opens	このカウンタは、TCP 接続が CLOSED 状態から SYN-SENT 状態に移った回数を表示します。
Attempt Fails	このカウンタは、TCP 接続が、SYN-RCVD または SYN-RCVD の状態から CLOSED 状態に直接遷移した回数を表示します。また、SYN-RCVD 状態から LISTEN 状態へ直接遷移した回数も表示します。
Curr Estab	このカウンタは、現在 ESTABLISHED 状態または CLOSE-WAIT 状態にある TCP 接続の数を表示します。
Estab Resets	このカウンタは、TCP 接続が、ESTABLISHED または CLOSE-WAIT の状態から CLOSED 状態に直接遷移した回数を表示します。

カウンタ	カウンタの説明
In Segs	このカウンタは、受信したセグメント（エラー受信したセグメントの総数を表示します。この数には、現在確立されている接続セグメントのみが含まれます。
InOut Segs	このカウンタは、送信したセグメントの総数と受信したセグメントの総数を表示します。
Out Segs	このカウンタは、送信したセグメントの総数を表示します。これは、現在確立されている接続で送信されるセグメントのみが再送信されたオクテットは除外されます。
Passive Opens	このカウンタは、TCP 接続が LISTEN 状態から SYN-RCVD 状態に移った回数を表示します。
RetransSegs	このカウンタは、以前に送信されたオクテットが 1 つ以上含めに再送信されたセグメントの総数を表示します。

Thread

Thread オブジェクトは、システムで実行されているスレッドの一覧を表示します。

次の表に、Thread カウンタについての情報を示します。

表 17: Thread

カウンタ	カウンタの説明
% CPU Time	このカウンタは、前回の更新以降に経過した CPU 時間における占有率を表示します。このカウンタは、占有率を合計 CPU 時間として表現します。
PID	このカウンタは、スレッドリーダー プロセス ID を表示します。

AXL Web サービス

AXL Web Service オブジェクトは、システムで実行されている AXL Web Service に関する情報を提供します。次の表に、AXL Web Service カウンタについての情報を示します。

表 18: AXL Web サービス

カウンタ	カウンタの説明
ThrottleCount	このカウンタは、前回の Cisco AXL Web Service ロットリングの回数を表します。AXL サービスが発生します。

カウンタ	カウンタの説明
ThrottleState	このカウンタは、Administrative XML Layer (AXL) が呼び出されたかどうかを表します。このカウンタの値が1の場合、アプリケーションが AXL を介して Cisco Unified Communications Manager に接続しています。読み込み要求の許可と処理は、AXL スレッドがアクティブなまま、ロットリングがこの時点で発生しておらず、すべて完了します。

Ramfs

Ramfs オブジェクトは、ram ファイルシステムに関する情報を提供します。次の表に、Ramfs カウンタについての情報を示します。

表 19: Ramfs

カウンタ	カウンタの説明
FilesTotal	このカウンタは、RAM ベースのファイルシステム (ramfs) 内のファイルの総数を示します。
SpaceFree	このカウンタは、ram ベースのファイルシステム (ramfs) 内の空き容量を示します。このカウンタは、ファイルシステム用に統一されたデータストレージサイズのシステムがデータの読み取りおよび書き込みに使用するサイズを示します。システムでは、ブロックサイズは 4096 バイトです。
SpaceUsed	このカウンタは、ram ベースのファイルシステム (ramfs) 内の使用済み容量を示します。このカウンタは、ファイルシステム用に統一されたデータストレージサイズのシステムがデータの読み取りおよび書き込みに使用するサイズが指定されたシステムでは、ブロックサイズは 4096 バイトです。

音声およびビデオ カウンタ

Cisco Analog Access

Cisco Analog Access オブジェクトは、登録済みの Cisco アナログアクセス ゲートウェイについての情報を提供します。次の表に、Cisco Analog Access カウンタに関する情報を示します。

表 20: Cisco Analog Access

カウンタ	カウンタの説明
OutboundBusyAttempts	このカウンタは、すべてのポートがビジー状態だったときに、Cisco Unified Communications Manager がアナログアクセス ゲートウェイ経由で行った回数の合計を示します。

カウンタ	カウンタの説明
PortsActive	このカウンタは、現在使用中の（アクティブな）ポートの数。ポートは、そのポートでコールが進行中のときにアクティブ。
PortsOutOfService	このカウンタは、現在アウト オブ サービスのポートの数を示す。このカウンタは、ループスタート トランクおよびグラウンドスタート トランクに適用されます。

Cisco Annunciator Device

Cisco Annunciator Device オブジェクトは、登録済みの Cisco アナウンシエータ デバイスについての情報を提供します。次の表に、CiscoAnalogAccess カウンタに関する情報を示します。

表 21 : Cisco Annunciator Device

カウンタ	カウンタの説明
OutOfResources	このカウンタは、Unified Communications Manager がアナウンシエータからアナウンシエータ リソースの割り当てを試行して、すべて失敗した回数。すでに使用中であるなどの理由で失敗した回数の合計を表します。
ResourceActive	このカウンタは、アナウンシエータ デバイスに対して現在アクティブなアナウンシエータ リソースの総数を表します。
ResourceAvailable	このカウンタは、非アクティブで、現時点ではアナウンシエータ デバイスで利用可能なリソースの総数を表します。
ResourceTotal	このカウンタは、アナウンシエータ デバイスに対して設定されたアナウンシエータ リソースの総数を表します。

Cisco Call Restriction

Cisco Call Restriction オブジェクトは、論理パーティション ポリシー制限による失敗の数を表します。次の表に、Cisco Call Restriction カウンタに関する情報を示します。

表 22 : Cisco Call Restriction

カウンタ	カウンタの説明
AdHocConferenceFailures	このカウンタは、会議にすでに存在するデバイスのジオロケーションに招待されているデバイス間のコールパスが論理パーティションによって制限されたために、アドホック会議に参加者を追加する回数。このカウンタは、アドホック会議に参加者を追加する回数。このカウンタは、アドホック会議に参加者を追加する回数。

カウンタ	カウンタの説明
BasicCallFailures	このカウンタは、着信側と発信側のジオロケーション間の論理パーティションポリシー制限のために、失敗した基本コールの回数を表します。これは、転送などの補足サービスを利用しないコールです。
ForwardingFailures	このカウンタは、関与する2者のジオロケーション間の論理パーティションポリシー制限のために、着信コールの転送に失敗した試行回数を表します。
LogicalPartitionFailuresTotal	このカウンタは、発信側と着信側のジオロケーション間のコールの試行のために失敗したコールの試行の合計回数を表します。これには、転送、ホック会議、ミーティング会議、ピックアップ、コールパーク、共有回線の本コールの失敗の回数が含まれます。
MeetMeConferenceFailures	このカウンタは、会議にすでに存在するデバイスのジオロケーションへの参加を試行しているデバイス間のコールパスが、論理パーティションポリシーのために制限されたために参加者をミーティング会議に追加できなかった試行回数表します。
MidCallFailures	このカウンタは、着信側または接続先のジオロケーション間の制限のために、初期ポリシーチェック後に失敗したコールの回数表します。
ParkRetrievalFailures	このカウンタは、コールの取得を試行していたデバイスに、呼び出し者のジオロケーションを含む論理パーティションポリシー制限のために、コールパーク操作の実行に失敗した試行回数表します。
PickUpFailures	このカウンタは、ピックアップが試行されているデバイスに、発信者のジオロケーションを含む論理パーティションポリシー制限のために、ピックアップ操作の実行に失敗した試行回数表します。
SharedLineFailures	このカウンタは、発信者または着信側に、共有回線を持つデバイスのジオロケーションを含む論理パーティションポリシー制限があるため、共有回線の使用に失敗した試行回数表します。
TransferFailures	このカウンタは、転送された通話者のジオロケーションと転送先のジオロケーションの制限のために失敗したコール転送の試行の回数表します。

Cisco CallManager

CiscoCallManager オブジェクトは、Unified Communications Manager に登録されたコール、アプリケーション、およびデバイスに関する情報を提供します。次の表には、CiscoCallManager カウンタについての情報が含まれます。

表 23 : CiscoCallManager

カウンタ	カウンタの説明
AnnunciatorOutOfResources	このカウンタは、使用可能なアナンシエータ リソースがなくなっていることを示します。Unified Communications Manager が Unified Communications Manager に登録されているリソースからアナンシエータ リソースの割り当てを完了できなかった場合、このカウンタの合計を表します。
AnnunciatorResourceActive	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されたアナンシエータ デバイスで現在使用されているアナンシエータ リソースの総数を表します。
AnnunciatorResourceAvailable	このカウンタは、非アクティブで、現在使用可能なアナンシエータ リソースの総数を表します。
AnnunciatorResourceTotal	このカウンタは、Unified Communications Manager に現在登録されているアナンシエータ デバイスから提供されているアナンシエータ リソースの総数を表します。
AuthenticatedCallsActive	このカウンタは、Unified Communications Manager で現在アクティブな (使用中の) 認証済みコールの数を示します。認証済みコールとは、すべてのエンドポイントが認証されているコールを意味し、認証済み電話機は、トランスポート層セキュリティ (TLS) 認証された Skinny プロトコルシグナリングを Unified Communications Manager で使用している電話機です。
AuthenticatedCallsCompleted	このカウンタは、Unified Communications Manager を介して接続解除された認証済みコールの数を表します。認証済みコールとは、すべてのエンドポイントが認証されているコールを意味し、認証済み電話機は、TLS 認証された Skinny プロトコルシグナリングを Unified Communications Manager で使用している電話機です。
AuthenticatedPartiallyRegisteredPhone	このカウンタは、部分的に登録された認証済み SIP 電話機の数を表します。
AuthenticatedRegisteredPhones	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録された認証済み SIP 電話機の総数を表します。認証済み電話機は、TLS 認証された Skinny プロトコルシグナリングを Unified Communications Manager で使用している電話機です。
BRChannelsActive	このカウンタは、この Unified Communications Manager 上で現在アクティブなコールの BRI 音声チャンネルの数を表します。
BRISpansInService	このカウンタは、現在使用可能な BRI スパンの数を表します。
CallManagerHeartBeat	このカウンタは、Unified Communications Manager のハートビートを示します。この増分カウンタは、Unified Communications Manager が正常に稼働していることを示します。このカウンタが増加していない場合は、Unified Communications Manager がダウンしていることを示します。

カウンタ	カウンタの説明
CallsActive	このカウンタは、現在使用中の（アクティブな）音声ストリーミングまたはビデオストリーミング接続の数、つまり、Unified Communications Manager に接続されている音声パスが実際に存在するコールの数を表します。
CallsAttempted	このカウンタは、試行されたコールの総数を表します。試行されたコールは、どの番号がダイヤルされたか、または宛先に接続されたかに関係なく、電話機がオフフックになるとき、およびオンフックに戻るときに増加します。機能操作（たとえば、転送や会議）中のコールの試行も、コールと見なされる場合があります。
CallsCompleted	このカウンタは、Unified Communications Manager を介して実際に（音声パスまたはビデオストリームが確立された）コールの数を表します。この数は、コールが終了したときに増加します。
CallsInProgress	<p>このカウンタは、Unified Communications Manager 上で現在進行中の音声コールまたはビデオコールの数を表します。すべてのアクティブコールは、このカウンタにカウントされます。</p> <p>Skinny Client Control Protocol（SCCP）に登録されている電話機がオンフックになると、CallsInProgress progress カウンタが増加します。その電話機がオンフックに戻るまで保持されます。</p> <p>SIP 電話機として登録される Cisco Unified IP Phone 7902、7905、7906 および 7960 の場合は、ダイヤルソフトキーが押されたときに CallsInProgress カウンタが増加します。</p> <p>その他のすべての SIP を実行している電話機の場合は、最初のコールがオンフックになるときに CallsInProgress カウンタが増加します。</p> <p>進行中のすべての音声コールまたはビデオコールが接続されたときに、CallsInProgress の数は CallsActive の数を表します。電話機がオンフックに戻ったときに、カウンタは 1 つ減少します。</p>
CM_MediaTermPointsRequestsThrottled	このカウンタは、制御のために拒否されたメディアターミネーション（MTP）リソース要求の総数を表します（MTP が Cisco CallManager のグローバル設定パラメータである MTP and Transcoder Resource Throttling Percentage に設定された設定済みの制御比率を超えて使用されていたため、このリソースを割り当てることができませんでした）。このカウンタは、Unified Communications Manager ノード上の MTP が要求され、その要求が MTP 制御によって拒否されるたびに増分します。カウンタの値は、CallManager サービスが開始されてから現在までの実行の合計を表します。

カウンタ	カウンタの説明
CM_TranscoderRequestsThrottled	このカウンタは、制御のために拒否されたトランスコーダリソースの総数を表します（トランスコーダが Cisco CallManager サービスに接続されている MTP and Transcoder Resource Throttling Percentage で指定された制御比率を超えて使用されていたため、このトランスコーダリソースを割り当てることができませんでした）。このカウンタは Unified Communications Manager ノード上のトランスコーダが要求がトランスコーダ制御によって拒否されるたびに増分し、このカウンタの値は Cisco CallManager サービスが開始されてから現在までの値を反映しています。
EncryptedCallsActive	このカウンタは、この Unified Communications Manager で現在使用中の暗号化済みコールの数を表します。暗号化済みコールに関するすべてのエンドポイントが暗号化されていることを示します。
EncryptedCallsCompleted	このカウンタは、この Unified Communications Manager を介して完了した暗号化済みコールの数を表します。暗号化済みコールは、コールに関するすべてのエンドポイントが暗号化されていることを意味します。
EncryptedPartiallyRegisteredPhones	このカウンタは、部分的に登録された暗号化済み SIP 電話機の数を表します。
EncryptedRegisteredPhones	このカウンタは、この Unified Communications Manager に登録された暗号化済み電話機の総数を表します。
FXOPortsActive	このカウンタは、Unified Communications Manager で現在使用中の FXO ポートの数を表します。
FXOPortsInService	このカウンタは、システムで現在使用可能な FXO ポートの数を表します。
FXSPortsActive	このカウンタは、Unified Communications Manager で現在使用中の FXS ポートの数を表します。
FXSPortsInService	このカウンタは、システムで現在使用可能な FXS ポートの数を表します。
HuntListsInService	このカウンタは、Unified Communications Manager で現在稼働しているハンティングリストの数を表します。
HWConferenceActive	このカウンタは、Unified Communications Manager に現在登録されているハードウェア会議ブリッジデバイスから提供されているハードウェア会議リソースの総数を表します。

カウンタ	カウンタの説明
HWConferenceCompleted	このカウンタは、Unified Communications Manager から割り当てられたハードウェア会議ブリッジ (Cisco Catalyst 6000、Cisco Catalyst 4000、Cisco シリーズ 26xx、36xx などのハードウェアベースの会議デバイス) を使用して完了した会議の総数を表します。つまり、会議ブリッジは解放されて、解放されています。会議は、最初のコールがブリッジに接続されたときにアクティブになります。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除されたときに完了します。
HWConferenceOutOfResources	このカウンタは、使用可能なハードウェア会議リソースがなくなっている Unified Communications Manager が Unified Communications Manager から割り当てられているリソースからハードウェア会議リソースの割り当てを請求したときの合計を表します。
HWConferenceResourceActive	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されているハードウェア会議デバイス (Cisco Catalyst 6000、Catalyst 4000、Cisco シリーズ 26xx、36xx など) 上で使用中の会議リソースの総数を表します。1 つ以上のコールがブリッジに接続されている場合、会議リソースはアクティブであると見なされます。
HWConferenceResourceAvailable	このカウンタは、Unified Communications Manager から割り当てられたハードウェア会議デバイス (Cisco Catalyst 6000、Catalyst 4000、Cisco シリーズ 26xx、36xx など) に割り当て可能で完了していないハードウェア会議リソースの数を表します。つまり、ブリッジは割り当てられて、解放されています。会議は、最初のコールがブリッジに接続されたときにアクティブになります。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除されたときに完了します。
HWConferenceResourceTotal	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されているハードウェア会議デバイスのアクティブな会議の数を表します。
InitializationState	このカウンタは、Unified Communications Manager の現在の初期化状態を表します。Unified Communications Manager には、次の初期化状態のリストがあります。 1 : Database、2 : Regions、3 : Locations、4 : QoS Policy、5 : Time Zone、6 : AAR Neighborhoods、7 : Digit Analysis、8 : Route Plan、9 : Call Forwarding、10 : RSVP Session Manager、11 : Supplementary Services、12 : Directory Number、13 : SDL Link、14 : Device、100 : Initialization Complete このカウンタを使用しても、すべての状態が表示されるわけではありません。このカウンタはエラーの発生を示すものではなく、単純に、パフォーマンス モニタのリフレッシュ期間内に状態が初期化され完了したことを示すものです。
LocationOutOfResources	このカウンタは、その場所を経由したコールが帯域幅不足のため失敗したときの合計を表します。

カウンタ	カウンタの説明
MCUConferencesActive	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録された Cisco TelePresence MCU 会議ブリッジデバイス上のアクティブを表します。
MCUConferencesCompleted	このカウンタは、Unified Communications Manager から割り当てられた TelePresence MCU 会議ブリッジを使用し、完了した（つまりが割り当てられ、解放された）会議の総数を表します。会議がブリッジに接続されたときにアクティブになります。会議がブリッジから接続解除されたときに終了します。
MCUHttpConnectionErrors	このカウンタは、Unified Communications Manager が、Cisco TelePresence MCU 会議ブリッジデバイスへの HTTP 接続を作成しようとした際に、Cisco TelePresence MCU 会議ブリッジ側の接続エラーが原因で失敗を示します。
MCUHttpNon200OKResponse	このカウンタは、送信された HTTP クエリーに対して、Unified Communications Manager が Cisco TelePresence MCU 会議ブリッジから [200 OK] 応答を受信した回数の合計を表します。
MCUOutOfResources	このカウンタは、Unified Communications Manager が Cisco TelePresence MCU 会議ブリッジデバイスから会議リソースを割り当てようとしたときに、リソースが不足していることを示すために、このカウンタの値を増加させます。たとえば、他のすべてのリソースが使われており、会議リソースの割り当ては失敗します。
MOHMulticastResourceActive	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録された MOH サーバで現在使用中の（アクティブな）マルチキャスト（MOH）リソースの総数を表します。
MOHMulticastResourceAvailable	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録された MOH サーバで使用されていないアクティブなマルチキャスト MOH リソースの総数を表します。
MOHOutOfResources	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録された MOH サーバ上で使用可能なすべてのリソースがすでにアクティブな MOH リソースに割り当てられている場合に、Media Resource Manager が MOH リソースの割り当てに失敗したことを示すために、このカウンタの値を増加させます。
MOHTotalMulticastResources	このカウンタは、Unified Communications Manager に現在登録されている MOH サーバから提供されているマルチキャスト MOH リソースの総数を表します。
MOHTotalUnicastResources	このカウンタは、Unified Communications Manager に現在登録されている MOH サーバから提供されているユニキャスト MOH リソースの総数を表します。各 MOH リソースは、1 つのストリームを使用します。

カウンタ	カウンタの説明
MOHUnicastResourceActive	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されている MOH サーバで現在使用中の（アクティブな）ユニキャスト MOH リソースの総数を表します。各 MOH ユニキャスト リソースは、1 つのストリームを使用します。
MOHUnicastResourceAvailable	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されている MOH サーバで現在使用可能なユニキャスト MOH リソースの総数を表します。各 MOH ユニキャスト リソースは、1 つのストリームを使用します。
MTPOutOfResources	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されているターミネーションポイント（MTP）デバイスから MTP リソースを Unified Communications Manager が試みて失敗した回数の合計を表します。これは、MTP として動作する使用可能なトランスコーダがなかったことを意味しています。
MTPResourceActive	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されている MTP デバイス上で現在使用中の（アクティブな）MTP リソースの総数を表します。各 MTP リソースは、2 つのストリームを使用します。使用は、コールで使用するために割り当てられている 1 つの MTP リソースを表します。
MTPResourceAvailable	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されている MTP デバイス上に割り当て可能な、現在使用されていない MTP リソースの総数を表します。各 MTP リソースは、2 つのストリームを使用します。使用中の MTP は、コールで使用するために割り当てられている 1 つのリソースを表します。
MTPResourceTotal	このカウンタは、Unified Communications Manager に現在登録されている MTP デバイスから提供されている MTP リソースの総数を表します。
MTP_RequestsThrottled	このカウンタは、制御のために拒否された MTP リソース要求の総数を表します（MTP が Cisco CallManager サービス パラメータである MTP Transcoder Resource Throttling Percentage で指定された設定済みの MTP リソースを超えて使用されていたため、この MTP からのリソースを割り当てできませんでした）。このカウンタは、この MTP からリソースが要求されたときにその要求が制御によって拒否されるたびに増分します。このカウンタは、MTP デバイスが Cisco CallManager サービスに登録されてから MTP の実行の合計を反映しています。
PartiallyRegisteredPhone	このカウンタは、部分的に登録された SIP を実行している電話機の数を表します。
PRIChannelsActive	このカウンタは、Unified Communications Manager で現在アクティブな PRI 音声チャネルの数を表します。
PRISpansInService	このカウンタは、現在使用可能な PRI スパンの数を表します。

カウンタ	カウンタの説明
RegisteredAnalogAccess	このカウンタは、システムに登録されている、登録済み Cisco セス ゲートウェイの数を表します。カウントには、Cisco アポートの数は含まれません。
RegisteredMGCPGateway	このカウンタは、現在システムに登録されている MGCP ゲーを表します。
RegisteredOtherStationDevices	このカウンタは、現在システムに登録されている Cisco ハー以外の端末デバイス (Cisco IP SoftPhone、CTI ポート、CTI ル Cisco ボイスメールポートなど) の数を表します。
SIPLineServerAuthorizationChallenges	このカウンタは、Unified Communications Manager サーバが S する電話機に対して発行した着信 SIP 要求の認証確認の回数を 確認は、ダイジェスト認証が有効な SIP を実行している電話 Communications Manager に SIP 回線要求を送信したときに発
SIPLineServerAuthorizationFailures	このカウンタは、SIP 電話機から Unified Communications Man する着信 SIP 要求の認証確認の失敗回数を表します。認証の ジェスト認証が有効な SIP 電話機から Unified Communication レデンシャルが不正な SIP 回線要求を送信したときに発生し
SIPTrunkAuthorization	このカウンタは、Unified Communications Manager が SIP トラ 行した着信 SIP 要求のアプリケーションレベルの認証チェッ ます。アプリケーション レベルの認証チェックは、Unified C Manager が、着信 SIP 要求を Cisco Unified Communications Ma [SIP トランク セキュリティ プロファイルの設定 (SIP Trunk Configuration)] ウィンドウのアプリケーション レベルの設 きに実行されます。
SIPTrunkAuthorizationFailures	このカウンタは、Unified Communications Manager SIP トラン 信 SIP 要求のアプリケーションレベルの認証の失敗回数を表 ケーションレベルの認証の失敗は、Unified Communications M SIP 要求と、Cisco Unified Communications Manager の管理の [キュリティ プロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile C ウィンドウのアプリケーションレベルの認証設定を比較し、 上の 1 つ以上の SIP 機能に対する認証が許可されていないこ 合に発生します。
SIPTrunkServerAuthenticationChallenges	このカウンタは、Unified Communications Manager が SIP トラ 行した着信 SIP 要求の認証確認の回数を表します。認証確認 ト認証が有効な SIP トランクから Unified Communications Ma 求を送信したときに発生します。

カウンタ	カウンタの説明
SIPTrunkServerAuthenticationFailures	このカウンタは、SIP トランクから Unified Communications Manager に着信 SIP 要求で発生した認証確認の失敗回数を表します。認証の失敗は、SIP トランクから Unified Communications Manager にダイジェスト認証が有効な SIP トランクから Unified Communications Manager にクレデンシャルが不正な SIP 要求を送信したときに発生します。
SWConferenceActive	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されているソフトウェア会議デバイスのアクティブな会議の数を表します。
SWConferenceCompleted	このカウンタは、Unified Communications Manager から割り当てられたソフトウェア会議ブリッジを使用して完了した会議の総数を表します。会議ブリッジは割り当てられて、解放されています。会議は、最初ブリッジに接続されたときにアクティブになります。会議は、最後にブリッジから接続解除されたときに完了します。
SWConferenceOutOfResources	このカウンタは、使用可能なソフトウェア会議リソースがなくなっている Unified Communications Manager が Unified Communications Manager に割り当てられているリソースからソフトウェア会議リソースの割り当てを拒否した会議の合計を表します。カウンタには、新規の参加者を既存の会議に追加しようとしたときに失敗した試行回数が含まれます。
SWConferenceResourceActive	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されているソフトウェア会議デバイス上で使用中の会議リソースの総数を表します。3 つ以上のコールがブリッジに接続されている場合、会議はアクティブと見なされます。1 つのリソースは 1 つのストリームと同等です。
SWConferenceResourceAvailable	このカウンタは、Unified Communications Manager に対して同時に使用可能な新規のソフトウェアベースの会議の数を表します。新規の各会議には最低でも 3 つのストリームが使用可能である必要があります。1 つのリソースは 1 つのストリームと同等です。
SWConferenceResourceTotal	このカウンタは、Unified Communications Manager に現在登録されているソフトウェア会議ブリッジデバイスから提供されているソフトウェア会議リソースの総数を表します。
SystemCallsAttempted	このカウンタは、サーバから発信されたコールと Unity メッセージジェネレータ (MWI) に試行されたコールの総数を表します。
T1ChannelsActive	このカウンタは、Unified Communications Manager で現在アクティブな T1 CAS 音声チャンネルの数を表します。
T1SpansInService	このカウンタは、現在使用可能な T1 CAS スパンの数を表します。
TLSConnectedSIPTrunks	このカウンタは、トランスポート層セキュリティ (TLS) で設定された SIP トランクの数を表します。

カウンタ	カウンタの説明
TLSCoconnectedWSM	このカウンタは、トランスポート層セキュリティ (TLS) で Motorola WSM に接続された WSM コネクタの数を表します。
TranscoderOutOfResources	このカウンタは、使用可能なトランスコーダ リソースがなくなった Unified Communications Manager が Unified Communications Manager から割り当てられているトランスコーダ デバイスからトランスコーダ リソースを試用した回数の合計を表します。
TranscoderResourceActive	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されたトランスコーダ デバイス上で使用中のトランスコーダの総数を表します。使用中のトランスコーダは、コールで使用するために割り当てられたトランスコーダ リソースを表します。各トランスコーダは、2つのストリームを使用します。
TranscoderResourceAvailable	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されたトランスコーダ デバイスに割り当て可能な、現在使用されていないトランスコーダの総数を表します。各トランスコーダ リソースは、2つのストリームを使用します。
TranscoderResourceTotal	このカウンタは、Unified Communications Manager に現在登録されているトランスコーダ デバイスから提供されているトランスコーダの総数を表します。
VCBConferenceActive	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されたビデオ会議ブリッジ デバイス上のアクティブなビデオ会議の総数を表します。
VCBConferenceAvailable	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されたビデオ会議ブリッジ デバイス上の新規ビデオ会議の総数を表します。
VCBConferenceCompleted	このカウンタは、Unified Communications Manager から割り当てられたビデオ会議ブリッジを使用して完了したビデオ会議の総数を表します。ビデオ会議ブリッジは割り当てられて、解放されています。会議は、ビデオ会議ブリッジに接続されたときにアクティブになります。会議は、ビデオ会議ブリッジから接続解除されたときに完了します。
VCBConferenceTotal	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されたビデオ会議ブリッジ デバイス上でサポートされているビデオ会議の総数を表します。
VCBOutOfConferences	このカウンタは、使用可能なビデオ会議 リソースがなかった Unified Communications Manager が Unified Communications Manager から割り当てられているリソースからビデオ会議 リソースの割り当てを試用した回数を表します。

カウンタ	カウンタの説明
VCBOutOfResources	このカウンタは、失敗した新規ビデオ会議要求の総数を表している数の会議がすでに使用中であるなどの理由で、会議の要求があります。
VCBResourceActive	このカウンタは、Unified Communications Managerに登録されているビデオ会議デバイスで現在使用されているビデオ会議リソースの数を表します。
VCBResourceAvailable	このカウンタは、非アクティブで、現在使用可能なビデオ会議リソースの数を表します。
VCBResourceTotal	このカウンタは、Unified Communications Managerに現在登録されているビデオ会議ブリッジデバイスから提供されているビデオ会議リソースの総数を表します。
VideoCallsActive	このカウンタは、Unified Communications Managerに登録されているビデオ会議ブリッジデバイス上のアクティブなビデオストリームを持つアクティブなビデオ コールの総数を表します。
VideoCallsCompleted	このカウンタは、ビデオ ストリームに実際に接続され、その後ビデオ コールの数を表します。
VideoOutOfResources	このカウンタは、使用可能なビデオストリーミング リソースが不足した場合に、Unified Communications Manager が Unified Communication 登録されているビデオ会議ブリッジデバイスの 1 つからビデオストリーミング リソースの割り当てを試行した回数の合計を表します。
XCODE_RequestsThrottled	このカウンタは、制御のために拒否されたトランスコーダ リソースの総数を表します (トランスコーダが Cisco CallManager サービスに登録されている MTP and Transcoder Resource Throttling Percentage で指定された制御比率を超えて使用されていたため、このトランスコーダ リソースを割り当てることができませんでした)。このカウンタは、トランスコーダからリソースが要求され、その要求が制御によって拒否されるたびに増分します。このカウンタの値は、トランスコーダ デバイスが Cisco CallManager サービスに登録されてから現在までの実行の合計を表します。

Cisco CallManager System Performance

CiscoCallManager System Performance オブジェクトは、Unified Communications Manager に関するシステムパフォーマンスの情報を提供します。次の表には、CiscoCallManager システムパフォーマンスカウンターについての情報が含まれます。

表 24 : CiscoCallManager システムパフォーマンス

カウンタ	カウンタの説明
AverageExpectedDelay	このカウンタは、着信メッセージを処理する前の現在の平均遅延時間を表します。
CallsRejectedDueToICTThrottling	このカウンタは、CiscoCallManager サービスの開始以降に、インク (ICT) コール制御のため拒否されたコールの総数を表します。140 コールのしきい値制限に達すると、ICT は新しいコールを開始します。ICT コール制御が発生する原因の 1 つは、ICT ルーブリックがルートループ状態になることです。
CallThrottlingGenericCounter3	このカウンタは、コール制御で使用される汎用カウンタを表します。
CodeRedEntryExit	このカウンタは、Unified Communications Manager が Code Red (スロットリングモード) を開始したか、または終了したかを表します。値は、0 (Exit) および 1 (Entry) です。
CodeYellowEntryExit	このカウンタは、Unified Communications Manager が Code Yellow (スロットリングモード) を開始したか、または終了したかを表します。値は、0 (Exit) および 1 (Entry) です。
EngineeringCounter1	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは診断の目的でこのカウンタの値を返します。
EngineeringCounter2	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは診断の目的でこのカウンタの値を返します。
EngineeringCounter3	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは診断の目的でこのカウンタの値を返します。
EngineeringCounter4	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは診断の目的でこのカウンタの値を返します。
EngineeringCounter5	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは診断の目的でこのカウンタの値を返します。
EngineeringCounter6	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは診断の目的でこのカウンタの値を返します。

カウンタ	カウンタの説明
EngineeringCounter7	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタを確認しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を提供しません。
EngineeringCounter8	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタを確認しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を提供しません。
QueueSignalsPresent 1-High	このカウンタは、Unified Communications Manager のキューの高優先順位信号の数を表します。高優先順位信号には、主に、タイムアウトイベント、Unified Communications Manager キープアラート、特定のゲートキーイベント、内部プロセスの作成などのイベントが含まれています。高優先順位イベントは、Unified Communications Manager のパフォーマンスを低下させ、コール接続の遅延やダイヤルトーン消失の原因となります。このカウンタを QueueSignalsProcessed 1-High カウンタと併用して、Unified Communications Manager 上の処理の遅延を判別します。
QueueSignalsPresent 2-Normal	このカウンタは、Unified Communications Manager のキューの通常優先順位信号の数を表します。通常優先順位信号には、主に、コール処理機動作、オンフックとオフフックの通知などのイベントが含まれています。通常優先順位のイベントは、Unified Communications Manager のパフォーマンスを低下させ、ダイヤルトーンの遅延、コール接続の遅延、ダイヤルトーンの消失の原因となる場合があります。このカウンタを QueueSignalsProcessed 2-Normal カウンタと併用して、Unified Communications Manager 上のコール処理の遅延を判別します。通常優先順位信号を開始する前に、高優先順位信号を完了する必要があることに注意してください。したがって、高優先順位カウンタを確認し、遅延の可能性のある状況を把握する必要があります。
QueueSignalsPresent 3-Low	このカウンタは、Unified Communications Manager のキューの低優先順位信号の数を表します。低優先順位信号には、主に、端末デバイスの登録遅延（未登録要求メッセージは除く）などのイベントが含まれています。このカウンタ内の多数の信号は、特に、デバイス登録遅延のイベントの原因となります。
QueueSignalsPresent 4-Lowest	このカウンタは、Unified Communications Manager のキューの最低優先順位信号を表します。最低優先順位信号には、主に、デバイス登録中の初期登録要求メッセージなどのイベントが含まれています。このキュー内の多数の信号は、特に、デバイス登録遅延のイベントの原因となります。
QueueSignalsProcessed 1-High	このカウンタは、Unified Communications Manager によって 1 秒間隔で処理される高優先順位信号の数を表します。このカウンタを QueueSignalsPresent 1-High カウンタと併用して、このキューの処理の遅延を判別します。

カウンタ	カウンタの説明
QueueSignalsProcessed 2-Normal	このカウンタは、Unified Communications Manager によって 1 秒間に処理される通常優先順位信号の数を表します。このカウンタを QueueSignalsProcessed 2-Normal カウンタと併用して、このキューの処理の遅延を判断する際に、優先順位信号は通常優先順位信号の前に処理されることに注意してください。
QueueSignalsProcessed 3-Low	このカウンタは、Unified Communications Manager によって 1 秒間に処理される低優先順位信号の数を表します。このカウンタを QueueSignalsProcessed 3-Low カウンタと併用して、このキューの処理の遅延を判断する際に、優先順位信号は通常優先順位信号の前に処理されることに注意してください。
QueueSignalsProcessed 4-Lowest	このカウンタは、Unified Communications Manager によって 1 秒間に処理される最低優先順位信号の数を表します。このカウンタを QueueSignalsProcessed 4-Lowest カウンタと併用して、このキューの処理の遅延を判断する際に、優先順位信号は通常優先順位信号の前に処理されることに注意してください。
QueueSignalsProcessed Total	このカウンタは、高、通常、低、最低のすべてのキューレベルに 1 秒間に Unified Communications Manager によって処理されるキュー信号の合計を表します。
SkinnyDevicesThrottled	このカウンタは、制御される Skinny デバイスの総数を表します。デバイスが生成したイベントの総数が、設定されている最大しきり値（デフォルト値は 2000 イベント）を 5 秒間隔内で上回ったとき、Skinny デバイスはシャットダウンと再登録を求められます。
ThrottlingSampleActivity	このカウンタは、設定されたサンプルサイズのうち、averageExpectedDelay の値がゼロではないサンプルがいくつあるかを示します。このカウンタは、averageExpectedDelay の値が 0 のサンプルがあった場合にリセットされます。このプロセスは、サンプルのバッチごとに繰り返されます。このカウンタは、設定されたサンプルサイズを表します。
TotalCodeYellowEntry	このカウンタは、Unified Communications Manager コール処理状態に入る回数を表します。このカウンタは、Unified Communications Manager コール処理プロセスの開始時から累積されます。

Cisco CTIManager

Cisco CTI Manager オブジェクトは、Cisco CTI Manager についての情報を提供します。次の表には、CiscoCTIManager カウンタについての情報が含まれます。

表 25: Cisco CTI Manager

カウンタ	カウンタの説明
CcmLinkActive	このカウンタは、アクティブな Unified Communications Manager リンクを表します。該当する場合、CTI Manager は、1つのクラスタ内のアクティブなサーバへのリンクを維持します。
CTIConnectionActive	このカウンタは、現在 CTI Manager に接続されている CTI クライアントの数を表します。このカウンタは、新しい接続が確立されると1つ増加し、接続が解放されると1つ減少します。CTI Manager の MaxCTIConnections パラメータは、アクティブな接続の最大数を設定します。
DevicesOpen	このカウンタは、CTI アプリケーションによって制御またはモニタされている Unified Communications Manager に設定されているデバイスの総数を表します。デバイスには、ハードウェア IP Phone、CTI ポート、CTI ルートなどがあります。
LinesOpen	このカウンタは、CTI アプリケーションを制御またはモニタする Unified Communications Manager に設定されている回線の総数を表します。
QbeVersion	このカウンタは、CTI Manager が使用する Quick Buffer Encoding ターフェイスのバージョン番号を表します。

Cisco Dual-Mode Mobility

Cisco Dual-Mode Mobility オブジェクトは、Unified Communications Manager のデュアルモード モビリティ アプリケーションについての情報を提供します。次の表には、Cisco Dual-Mode Mobility カウンタについての情報が含まれます。

表 26: Cisco Dual-Mode Mobility

カウンタ	カウンタの説明
CallsAnchored	このカウンタは、Unified Communications Manager 内で固定されたデュアルモード電話機で送信または受信するコールの数を表します。このカウンタは、デュアルモード電話機でコールが送信または受信されたときに増加します。デュアルモード電話機から別のデュアルモード電話機を呼び出す場合、カウンタは2つ増加します。
DMMSRegistered	このカウンタは、無線 LAN (WLAN) に登録された Dual-mode Mobility (DMMS) 加入者の数を表します。
FollowMeAborted	このカウンタは、失敗した follow-me 操作の数を表します。

カウンタ	カウンタの説明
FollowMeAttempted	このカウンタは、Unified Communications Manager が試行した follow-me 操作の数を表します。このカウンタは、Wireless Service Manager SIP 302 (一時的に移動) メッセージが受信され、Unified Communications Manager が WLAN の DMMS にコールをリダイレクトしたときに増加します。
FollowMeCompleted	このカウンタは、正常に完了した follow-me 操作の数を表します。このカウンタは、WLAN 内の DMMS がコールに応答し、発信側デバイス (音声パス) が正常に確立されたときに増加します。
FollowMeInProgress	このカウンタは、現在進行中の follow-me 操作の数を表します。このカウンタは、follow-me 操作が試行されたときに増加し、follow-me 操作が完了したときに減少します。
H1HandOutAttempted	このカウンタは、デュアルモード電話機が試行した H1 hand-out 操作の数を表します。このカウンタは、Unified Communications Manager が H1 の番号へのコールを処理したときに増加します。
H1HandOutCompleted	このカウンタは、正常に完了した H1 hand-out 操作の数を表します。このカウンタは、WLAN 内の DMMS がメディア (音声パス) を正常に確立したときに増加します。
H2HandOutCompleted	このカウンタは、正常に完了した H2 hand-out 操作の数を表します。このカウンタは、WLAN の DMMS がメディア (音声パス) を正常に確立したときに増加します。
H2HandOutsAttempted	このカウンタは、デュアルモード電話機が試行した H2 hand-out 操作の数を表します。このカウンタは、Unified Communications Manager が H2 の番号へのコールを受信したときに増加します。
HandInAborted	このカウンタは、失敗した hand-in 操作の数を表します。
HandInAttempted	このカウンタは、デュアルモード電話機が試行した hand-in 操作の数を表します。
HandInCompleted	このカウンタは、正常に完了した hand-in 操作の数を表します。このカウンタは、WLAN の DMMS がメディア (音声パス) を正常に再確立したときに増加します。
HandInInProgress	このカウンタは、現在進行中の hand-in 操作の数を表します。このカウンタは、hand-in 操作が試行されたときに増加し、hand-in 操作が完了したときに減少します。
HandOutAborted	このカウンタは、失敗した hand-out 操作の数を表します。
HandOutInProgress	このカウンタは、現在進行中の H1 および H2 hand-out 操作の数を表します。このカウンタは、H1 または H2 hand-out 操作が試行されたときに増加し、H1 または H2 hand-out 操作が中断または完了したときに減少します。

Cisco エクステンション モビリティ

Cisco Extension Mobility オブジェクトは、エクステンション モビリティ アプリケーションについての情報を提供します。次の表に、Cisco Extension Mobility カウンタに関する情報を示します。

表 27: Cisco Extension Mobility アプリケーション

カウンタ	カウンタの説明
RequestsHandled	このカウンタは、CiscoCallManager サービスの最後の再起動以降、エクステンションモビリティアプリケーションが処理した HTTP リクエストを表します。リクエスト標準的なログインは、2つの HTTP 要求で構成されています。1つは、デバイスの初期ログイン状態の照会、もう1つは、デバイス上のユーザへのログインです。同様に、標準的なログアウトも要求になります。
RequestsInProgress	このカウンタは、エクステンション モビリティ アプリケーションが処理している HTTP 要求の数を表します。標準的なログインは、2つの HTTP 要求で構成されています。1つは、デバイスの初期ログイン状態の照会、もう1つは、デバイス上のユーザへのログインです。同様に、標準的なログアウトも2つの HTTP 要求になります。
RequestsThrottled	このカウンタは、制御のために失敗したログイン要求またはログアウト要求の総数を表します。
LoginsSuccessful	このカウンタは、エクステンション モビリティ サービスを使用した完了したログイン要求の総数を表します。
LogoutsSuccessful	このカウンタは、エクステンション モビリティ サービスを使用した完了したログアウト要求の総数を表します。
Total Login/LogoutRequestsAttempted	このカウンタは、このエクステンション モビリティ サービスを使用した行われたログイン要求およびログアウト要求の総数を表します。これは、成功した試行と失敗した試行の両方が含まれます。

Cisco ゲートキーパー

Cisco Gatekeeper オブジェクトは、登録済みの Cisco ゲートキーパー デバイスについての情報を提供します。次の表には、Cisco ゲートキーパーデバイスカウンタについての情報が含まれます。

表 28: Cisco ゲートキーパー

カウンタ	カウンタの説明
ACFsReceived	このカウンタは、設定済みゲートキーパーとその代替ゲートキーパーから送信された RAS アドミッション確認メッセージの総数を表します。
ARQsAttempted	このカウンタは、設定済みゲートキーパーとその代替ゲートキーパーを使用して試行された RAS アドミッション要求メッセージの総数を表します。
RasRetries	このカウンタは、設定済みゲートキーパーとその代替ゲートキーパーからのすべての RAS 確認応答メッセージの消失や遅延による再試行回数を表します。
VideoOutOfResources	このカウンタは、帯域幅の不足などが原因で失敗した、設定済みゲートキーパーまたはその代替ゲートキーパーへのビデオストリーム要求の数を表します。

Cisco H.323

Cisco H.323 オブジェクトは、登録済みの Cisco H.323 デバイスについての情報を提供します。次の表に、Cisco H.323 デバイス カウンタに関する情報を示します。

表 29: Cisco H.323

カウンタ	カウンタの説明
CallsActive	このカウンタは、設定済みの H.323 デバイス上で現在アクティブな（ストリーミング接続の数、つまり、接続されている音声ストリーミング接続の数）の数を表します。
CallsAttempted	このカウンタは、デバイス上で試行されたコールの総数を表します。試行されたコールの試行と失敗したコールの試行の両方が含まれます。
CallsCompleted	このカウンタは、デバイスから発信され成功したコールの総数を表します。
CallsInProgress	このカウンタは、デバイス上で現在進行中のコールの数を表します。
CallsRejectedDueToICTCallThrottling	このカウンタは、Cisco CallManager サービスの開始以降に、インク（ICT）コール制御のため拒否されたコールの総数を表します。140 コールのしきい値制限に達すると、ICT は新しいコールを開始します。ICT コール制御が発生する原因の 1 つは、ICT ルールがルートループ状態になることです。
VideoCallsActive	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録された H.323 トランク上で現在アクティブな（使用中の）ビデオストリーミング接続を持つビデオコールの数、つまり、Unified Communications Manager に登録された H.323 トランク上で現在アクティブな（使用中の）ビデオストリーミング接続が実際に存在するコールの数を表します。

カウンタ	カウンタの説明
VideoCallsCompleted	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されている H.323 トランクに対するビデオストリームに実際に接続されたビデオコールの数を表します。この数は、コールが終了したときに増加します。

Cisco Hunt Lists

Cisco Hunt Lists オブジェクトは、Cisco Unified Communications Manager の管理で定義されたハンストリストについての情報を提供します。次の表には、Cisco Hunt List のカウンタについての情報が含まれます。

表 30 : Cisco Hunt Lists

カウンタ	カウンタの説明
CallsAbandoned	このカウンタは、ハンストリストを介して発生し、放棄されたコールの数を表します。放棄されたコールとは、コールに応答する前に発信者がコールを放棄したコールです。
CallsActive	このカウンタは、ハンストリストを介して発生し、現在アクティブなコールの数を表します。アクティブなコールとは、配布された、音声パスが接続されているコールを意味します。
CallsBusyAttempts	このカウンタは、回線グループまたはルートグループのいずれか（または両方）のすべてのメンバーがビジー状態だったときに、ハンストリストを介して試行されたコールの回数を表します。
CallsInProgress	このカウンタは、ハンストリストを介して現在進行中のコールの数を表します。進行中のコールとは、着信呼分配機能によって回線グループまたはルートグループのメンバーへの拡張が試行され、まだ応答されていないコールを意味します。ハンストリストメンバーの例としては、回線、端末、トランク デバイス、トランク デバイスのポートやチャネルがあります。
CallsRingNoAnswer	このカウンタは、ハンストリストを介したコールのうち、着信側が応答しなかったコールの総数を表します。
HuntListInService	このカウンタは、特定のハンストリストが現在インサービスであることを示します。値 0 は、ハンストリストがアウト オブ サービスであることを示します。値 1 は、ハンストリストがイン サービスであることを示します。ハンストリストがアウト オブ サービスになる理由として、ハンストリストの Unified Communications Manager のグループに基づいて、プライマリ Unified Communications Manager で実行されていないか、または、ハンストリストが Cisco Unified Communications Manager の管理で無効化されている場合があります。

カウンタ	カウンタの説明
MembersAvailable	このカウンタは、インサービス ハント リストに属しているルート グループの、使用可能なメンバーまたはアイドルメン 表します。使用可能なメンバーは、現在コールを処理してお ルを受け入れます。アイドルメンバーは、コールを処理せず を受け入れます。ハント リスト メンバーは、ルート グルー プ、またはそれらの組み合わせで構成することができます。 メンバーとは、IP Phone またはボイスメール ポートの回線の 号を意味します。ルートグループのメンバーとは、ステーシ イ、トランク ゲートウェイ、またはトランクゲートウェイの ルを意味します。

Cisco HW Conference Bridge Device

Cisco HW Conference Bridge Device オブジェクトは、登録済みの Cisco ハードウェア会議ブリッ
ジデバイスについての情報を提供します。次の表には、Cisco ハードウェア会議ブリッジデバ
イス カウンタについての情報が含まれます。

表 31 : Cisco HW Conference Bridge Device

カウンタ	カウンタの説明
HWConferenceActive	このカウンタは、ハードウェア会議ブリッジデバイス上で現 (使用中の) 会議の数を表します。1つのリソースは1つの します。
HWConferenceCompleted	このカウンタは、ハードウェア会議デバイス上に割り当てら 会議の総数を表します。会議は、最初のコールがブリッジに に開始します。会議は、最後のコールがブリッジから接続解 完了します。
OutOfResources	このカウンタは、ハードウェア会議デバイスから会議リソー 試行して、すべてのリソースがすでに使用中であるなどの理 数の合計を表します。
ResourceActive	このカウンタは、このハードウェア会議デバイスに対して現 クティブな) リソースの数を表します。1つのリソースは1 を表します。
ResourceAvailable	このカウンタは、非アクティブで、ハードウェア会議デバイ 用可能なリソースの総数を表します。1つのリソースは1つ 表します。

カウンタ	カウンタの説明
ResourceTotal	このカウンタは、ハードウェア会議ブリッジデバイス用リソースを示します。このカウンタは、ResourceAvailable カウンタと ResourceUsed カウンタを合計した数になります。1つのリソースは1つのストリーミングセッションを構成します。

Cisco IP マネージャーアシスタント

Cisco IP Manager Assistant (IPMA) Service オブジェクトは、Cisco Unified Communications Manager Assistant アプリケーションに関する情報を提供します。次の表には、Cisco IPMA カウンタについての情報が含まれます。

表 32: Cisco IP Manager Assistant サービス

カウンタ	カウンタの説明
AssistantsActive	このカウンタは、現在アクティブなアシスタント コンソールの数を表します。アクティブなアシスタント コンソールは、アシスタントが Cisco Unified Communications Manager Assistant Console デスクトップアプリケーションからログインする場合に存在します。
LinesOpen	このカウンタは、Cisco Unified Communications Manager Assistant アプリケーションによってオープンされた電話回線の数を表します。オープンな回線は、アプリケーションが CTI からの回線制御を前提としている場合があります。
ManagersActive	このカウンタは、Cisco IPMA がサービスを提供しているマネージャの数を表します。
SessionsCurrent	このカウンタは、現在 Cisco Unified Communications Manager Assistant アプリケーションを使用しているマネージャとアシスタントの総数を表します。マネージャと各アシスタントは、アクティブセッションを構成しています。マネージャとアシスタントが、1組のマネージャとアシスタントに対して、このカウンタのセッションを反映します。

Cisco LBM service

Cisco LBM service オブジェクトは、Unified Communications Manager で定義されている LBM サービスについての情報を提供します。次の表には、Cisco LBM service カウンタについての情報が含まれます。

表 33 : Cisco LBM service

カウンタ	カウンタの説明
Is Hub[1] or Spoke[0]	このカウンタは、ロケーション帯域幅マネージャの状態ポーク状態では 0、ハブ状態は 1 の値で表されます。
LocalHubNodesConnected	このカウンタは、接続されたローカルハブ ノードの数
LocalSpokesNodesConnected	このカウンタは、接続されたローカルスポーク ノードの
RemoteHubNodesConnectedInsecure	このカウンタは、接続されたセキュアでないリモートノ
RemoteHubNodesConnectedSecure	このカウンタは、接続されたセキュアなりリモートハブ

Cisco Lines

Cisco Lines オブジェクトは、ダイヤルしてデバイスに接続できる Cisco 回線（ディレクトリ番号）の数を表します。回線は、エンドポイントで終了するすべてのディレクトリ番号を表します。割り当てられたディレクトリ番号は、回線を識別します。CiscoLines オブジェクトには、デジタルアクセス ゲートウェイまたはアナログアクセス ゲートウェイのパターンなどのワールドカードを含むディレクトリ番号は含まれていません。

Active カウンタは、回線の状態についてアクティブまたは非アクティブのいずれかを表します。0 は、回線が使用されていないことを示します。数値が 0 より大きい場合、回線がアクティブであることを示します。数値はその回線で現在進行中のコールの数を表します。複数のコールがアクティブである場合、明確な保留状態（ユーザ保留）、またはネットワーク保留操作（たとえば、転送が進行中のため転送保留にされている状態）のいずれかの理由で、コールが保留状態であることを示します。これは、任意のデバイスに割り当てられるすべてのディレクトリ番号に適用されます。

Cisco Locations LBM

Cisco Location LBM オブジェクトは、Unified Communications Manager のクラスタで定義されているロケーションについての情報を提供します。次の表には、Cisco ロケーションカウンタについての情報が含まれます。

表 34 : Cisco Locations LBM

カウンタ	カウンタの説明
BandwidthAvailable	このカウンタは、1 つのロケーション、またはロケーション間のリンクでの現在の音声帯域幅を示し、使用可能な音声帯域幅がないことを示します。

カウンタ	カウンタの説明
BandwidthMaximum	このカウンタは、1つのロケーション、または2つのロケーション間のリンクで、現在使用可能な最大音声帯域幅を示します。値0は、使用可能な音声帯域幅がないことを示します。
BandwidthOversubscription	このカウンタは、1つのロケーション、または2つのロケーション間のリンクで、現在オーバーサブスクリプションが発生している音声帯域幅を示します。値が0の場合、オーバーサブスクリプションが発生していないことを示します。
CallsInProgress	このカウンタは、特定の Cisco Location Bandwidth 現在進行中のコールの数を表します。
ImmersiveOutOfResources	これは、イマーシブなビデオ帯域幅不足のため発生した、1つのロケーション、または2つのロケーション間のリンクに関連付けられている、イマーシブビデオ帯域幅予約の総数を表します。
ImmersiveVideoBandwidthAvailable	このカウンタは、1つのロケーション、または2つのロケーション間のリンクで、ビデオに現在使用可能な最大帯域幅を示します。値0は、ビデオに割り当てられていないことを示します。
ImmersiveVideoBandwidthMaximum	このカウンタは、1つのロケーション、または2つのロケーション間のリンクで、ビデオに現在使用可能な最大帯域幅を示します。値0は、使用可能な帯域幅がないことを示します。
ImmersiveVideoBandwidthOversubscription	このカウンタは、1つのロケーション、または2つのロケーション間のリンクで、現在オーバーサブスクリプションが発生しているイマーシブビデオ帯域幅を示します。場合、帯域幅のオーバーサブスクリプションが発生していることを示します。
OutOfResources	このカウンタは、音声帯域幅不足のため障害が発生した1つの指定ロケーション、または2つのロケーション間のリンクに関連付けられている、音声コール帯域幅予約の総数を表します。
VideoBandwidthAvailable	このカウンタは、1つのロケーション、または2つのロケーション間のリンクで、ビデオに現在使用可能な最大帯域幅を示します。値0は、使用可能な帯域幅がないことを示します。
VideoBandwidthMaximum	このカウンタは、1つのロケーション、または2つのロケーション間のリンクで、ビデオに使用可能な最大帯域幅を示します。値0は、ビデオに割り当てられている帯域幅を示します。

カウンタ	カウンタの説明
VideoOversubscription	このカウンタは、1つのロケーション、またはロケーション間のリンクで、現在オーバーサブスクリプションが発生しているビデオ帯域幅容量を示します。値がゼロの場合は、帯域幅のオーバーサブスクリプションが発生していません。
VideoOutOfResources	このカウンタは、ビデオ帯域幅不足のため障害が発生している1つの指定ロケーション、または2つのロケーションに関連付けられている、ビデオコール帯域幅を示します。

Cisco Locations RSVP

Cisco Location RSVP オブジェクトは、Unified Communications Manager で定義されている RSVP についての情報を提供します。次の表に、Cisco location RSVP カウンタに関する情報を示します。

表 35: Cisco Locations RSVP

カウンタ	カウンタの説明
RSVP AudioReservationErrorCounts	このカウンタは、オーディオストリーム内の RSVP 予約エラーを示します。
RSVP MandatoryConnectionsInProgress	このカウンタは、必須の RSVP を使用した進行中の接続の数を示します。
RSVP OptionalConnectionsInProgress	このカウンタは、オプションの RSVP を使用した進行中の接続の数を示します。
RSVP TotalCallsFailed	このカウンタは、RSVP 予約の失敗によって失敗した全コールの数を示します。
RSVP VideoCallsFailed	このカウンタは、RSVP 予約の失敗によって失敗したビデオコールの数を示します。
RSVP VideoReservationErrorCounts	このカウンタは、ビデオストリーム内の RSVP 予約エラーの数を示します。

Cisco Media Streaming Application

Cisco IP Voice Media Streaming Application オブジェクトは、登録済みの MTP、MOH サーバ、会議ブリッジサーバ、およびアナウンサーについての情報を提供します。次の表に、Cisco IP Voice Media Streaming Application カウンタに関する情報を示します。



- (注) デバイス プールに関連付けられている Unified Communications Manager グループ内の Unified Communications Manager ごとに1つのオブジェクトが存在します。アナンシエータ デバイスは そのデバイス プールを使用するように設定されています。

表 36: Cisco Media Streaming Application

カウンタ	カウンタの説明
ANNConnectionsLost	このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application の最後降に Unified Communications Manager 接続が失われた回数の合計を示します。
ANNConnectionState	このカウンタは、アナンシエータに関連付けられている各 Unified Communications Manager について、Unified Communications Manager への登録状態を表します。0 は Unified Communications Manager への登録を示します。1 は、プライマリ Unified Communications Manager への登録を示します。2 は、セカンダリ Unified Communications Manager への登録を示します (Unified Communications Manager には接続されていますが、セカンダリ Unified Communications Manager 接続が失敗するまでは登録されません)。
ANNConnectionsTotal	このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application サービス降に開始されたアナンシエータ インスタンスの総数を表します。
ANNInstancesActive	このカウンタは、アクティブに再生している (現在使用中の) アナンシエータ インスタンスの総数を表します。
ANNStreamsActive	このカウンタは、すべての接続に対して現在アクティブなシンプルレックス (単方向) ストリームの総数を表します。各ストリームの方向は別々のストリームとしてカウントされます。1つの内部ストリームがオーディオを提供し、別の出力ストリームがエンドポイントデバイスへのストリームを提供します。
ANNStreamsAvailable	このカウンタは、アナンシエータデバイスに対して割り当てられた可能なストリームの残りの数を表します。このカウンタは、設定された最大接続の数 (Cisco IP Voice Media Streaming App サービス パラメータ Annunciator、Call Count に対して定義されている) の2倍の数で、アクティブなストリームが開始されるたびに1つずつ減少します。
ANNStreamsTotal	このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application サービス降にアナンシエータ デバイスに接続されたシンプルレックス (単方向) ストリームの総数を表します。
CFBConferencesActive	このカウンタは、アクティブな (現在使用中の) 会議の数を表します。
CFBConferencesTotal	このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application サービス降に開始された会議の総数を表します。

カウンタ	カウンタの説明
CFBConnectionsLost	このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application の降に Unified Communications Manager 接続が失われた回数 of 合
CFBConnectionState	このカウンタは、SW Conference Bridge に関連付けられている Communications Manager について、Unified Communications M の登録状態を表します。0 は Unified Communications Manager ことを示します。1 は、プライマリ Unified Communications M を示します。2 は、セカンダリ Unified Communications Manag します (Unified Communications Manager には接続されていま り Unified Communications Manager 接続が失敗するまでは登録
CFBStreamsActive	このカウンタは、すべての会議に対して現在アクティブなシ (単方向) ストリームの総数を表します。各ストリームの方 トリームとしてカウントされます。三者間会議では、アクテ ムの数は 6 になります。
CFBStreamsAvailable	このカウンタは、会議ブリッジに対して割り当てられている リームの残りの数を表します。このカウンタは、設定されて (Cisco IP Voice Media Streaming App サービス パラメータで、 Bridge、Call Count に対して定義されている) の 2 倍の数で開 ティブなストリームが開始されるたびに 1 つずつ減少します。
CFBStreamsTotal	このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application サ 降に会議ブリッジに接続されたシンプレックス (単方向) ス を表します。
MOHAudioSourcesActive	このカウンタは、この MOH サーバ用のアクティブな (現在 ディオソースの数を表します。受信しているデバイスが存在 れらのオーディオソースの一部はアクティブなストリーミン データではない可能性があります。マルチキャスト オーディ にストリーミング オーディオとなるため、例外となります。 オーディオソースが使用中の場合、受信側が切断された後で タには設定済みの MOH コーデックごとに常に 1 つの入カス します。ユニキャストストリームでは、デバイスが接続して 信するまでは、受信するオーディオデータがなく、ストリー 態になる場合があります。各 MOH マルチキャストリソース ソースとコーデックの組み合わせごとに 1 つのストリームを とえば、マルチキャスト、G.711 mu-law、ワイドバンドコー デフォルトオーディオソースを設定した場合、2 つのストリ トオーディオソースと G.711 mu-law、およびデフォルト オ とワイドバンド) が使用されます。
MOHConnectionsLost	このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application の 降に Unified Communications Manager 接続が失われた回数 of 合

カウンタ	カウンタの説明
MOHConnectionState	このカウンタは、MOH に関連付けられている各 Unified Communications Manager について、Unified Communications Manager への現在の登録を示します。0 は Unified Communications Manager への登録がないことを示します。1 は、プライマリ Unified Communications Manager への登録を示します。2 は、セカンダリ Unified Communications Manager への接続を示します。Unified Communications Manager には接続されていますが、プライマリ Unified Communications Manager 接続が失敗するまでは登録されません。
MOHStreamsActive	このカウンタは、すべての接続に対してアクティブな（現在使用中）プレックス（単方向）ストリームの総数を表します。ユニキャストソースを受信しているデバイスごとに1つの出力ストリームがアクティブオーディオソースごとに1つの入力ストリームが存在します。これは MOH コーデックの数で乗算されます。 以前に使用されたことがあるオーディオソースには、設定済み MOH コーデックごとに必ず1つの入力ストリームが存在します。ユニキャストストリームでは、デバイスが接続してストリームを受信するまでは、オーディオデータがなく、ストリームが一時停止状態になる場合があります。各 MOH マルチキャストソースは、オーディオソースとユニキャストソースを組み合わせごとに1つのストリームを使用します。たとえば、マルチキャスト、G.711 mu-law、ワイドバンドコーデックに対してデフォルトオーディオソースを設定した場合、2つのストリーム（デフォルトオーディオソースと G.711 mu-law、およびデフォルトオーディオソースとワイドバンドコーデック）が使用されます。
MOHStreamsAvailable	このカウンタは、MOH デバイスに対して割り当てられている使用可能なストリームの残りの数を表します。このカウンタは、設定済み半マルチキャスト接続の数に 408 を加えた数で開始され、アクティブストリームが開始されるたびに1つずつ減少します。カウンタは、各マルチキャストソースに対して2つずつ減少します。値は設定済みの MOH コーデックの数で乗算されます。カウンタは、各ユニキャストオーディオソースに対して1つずつ減少します。値は設定済み MOH コーデックの数で乗算されます。
MOHStreamsTotal	このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application サーバに接続された MOH サーバに接続されたシンプレックス（単方向）ストリームの総数を表します。
MTPConnectionsLost	このカウンタは、Cisco IP Media Streaming Application の最後の再接続失敗の回数、Unified Communications Manager 接続が失われた回数の合計を表します。

カウンタ	カウンタの説明
MTPConnectionState	このカウンタは、MTPに関連付けられている各 Unified Communications Manager について、Unified Communications Manager への現在の登録状態について、Unified Communications Manager への現在の登録状態が 0 は Unified Communications Manager への登録がないことを示し、プライマリ Unified Communications Manager への登録を示します。セカンダリ Unified Communications Manager への接続を示します。Unified Communications Manager には接続されていますが、プライマリ Unified Communications Manager 接続が失敗するまでは登録されません。
MTPConnectionsTotal	このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application サービス降に開始された MTP インスタンスの総数を表します。
MTPInstancesActive	このカウンタは、アクティブな（現在使用中の）MTP インスタンスを示します。
MTPStreamsActive	このカウンタは、すべての接続に対して現在アクティブなシンプレックス（単方向）ストリームの総数を表します。各ストリームの方向としてカウントされます。
MTPStreamsAvailable	このカウンタは、MTP デバイスに対して割り当てられているストリームの残りの数を表します。このカウンタは、設定された（Cisco IP Voice Media Streaming App サービスパラメータで、MTP デバイスに対して定義されている）の 2 倍の数で開始され、アクティブなストリームが開始されるたびに 1 つずつ減少します。
MTPStreamsTotal	このカウンタは、Cisco IP Voice Media Streaming Application サービス降に MTP デバイスに接続されたシンプレックス（単方向）ストリームの総数を表します。

Cisco Messaging Interface

Cisco Messaging Interface オブジェクトは、Cisco Messaging Interface (CMI) サービスについての情報を提供します。次の表には、Cisco Messaging Interface (CMI) カウンタについての情報が含まれます。

表 37: Cisco Messaging Interface

カウンタ	カウンタの説明
HeartBeat	このカウンタは、CMI サービスのハートビートを表します。増加している場合は、CMI サービスが稼働中であることを示し、スタが増加していない場合は、CMI サービスがダウンしています。
SMDIMessageCountInbound	このカウンタは、CMI サービスの最後の再起動以降に発生した SMDI メッセージの数を表します。

カウンタ	カウンタの説明
SMDIMessageCountInbound24Hour	このカウンタは、最後の24時間以内に発生したインバウンドSMDIメッセージの数を表します。
SMDIMessageCountOutbound	このカウンタは、CMIサービスの最後の再起動以降に発生したアウトバウンドSMDIメッセージの数を表します。
SMDIMessageCountOutbound24Hour	このカウンタは、最後の24時間以内に発生したアウトバウンドSMDIメッセージの数を表します。
StartTime	このカウンタは、CMIサービスが開始された時間をミリ秒単位で示します。コンピュータ内のリアルタイムクロックは、現在時刻とサービス開始時刻の経過時間をミリ秒単位で示す単なる参照ポイントであり、このカウンタは、この参照ポイントを提供します。参照ポイントは、1970年1月1日の午前0時に指定されています。

Cisco MGCP BRI Device

Cisco メディア ゲートウェイ コントロール プロトコル (MGCP) Foreign Exchange Office (FXO) Device オブジェクトは、登録済みの Cisco MGCP BRI デバイスについての情報を提供します。次の表には、CiscoMGCP BRI デバイスカウンタについての情報が含まれます。

表 38: Cisco MGCP BRI Device

カウンタ	カウンタの説明
CallsCompleted	このカウンタは、この MGCP 基本速度インターフェイス (BRI) から発信され成功したコールの総数を表します。
Channel 1 Status	このカウンタは、MGCP BRI デバイスに関連付けられている、指定されたチャンネルの状態を表します。次の値が使用されます。0 (Unknown) は、チャンネルの状態を判別できなかったことを示します。1 (Out of service) は、チャンネルが使用不可であることを示します。2 (Idle) は、このチャンネルにアクティブなコールがなく、使用可能な状態であることを示します。3 (Active) は、このチャンネルにアクティブ コールが存在することを示します。4 (Reserved) は、このチャンネルが D チャンネルとして、または BRIS チャンネルとして使用されるように予約されていることを示します。
Channel 2 Status	このカウンタは、MGCP BRI デバイスに関連付けられている、指定されたチャンネルの状態を表します。次の値が使用されます。0 (Unknown) は、チャンネルの状態を判別できなかったことを示します。1 (Out of service) は、チャンネルが使用不可であることを示します。2 (Idle) は、このチャンネルにアクティブなコールがなく、使用可能な状態であることを示します。3 (Active) は、このチャンネルにアクティブ コールが存在することを示します。4 (Reserved) は、このチャンネルが D チャンネルとして、または BRIS チャンネルとして使用されるように予約されていることを示します。

カウンタ	カウンタの説明
DatalinkInService	このカウンタは、対応するデジタル アクセス ゲートウェイ上 (D チャネル) の状態を表します。この値は、データリンク (サービス) の場合は 1 に設定され、データリンクがダウン (サービス) の場合は 0 に設定されます。
OutboundBusyAttempts	このカウンタは、使用可能な音声チャネルがない場合に、MGCP FXO デバイス上を介してコールが試行された回数の合計を表します。

Cisco MGCP FXO Device

Cisco メディア ゲートウェイ コントロール プロトコル (MGCP) Foreign Exchange Office (FXO) Device オブジェクトは、登録済みの Cisco MGCP FXO デバイスについての情報を提供します。次の表には、Cisco MGCP FXO デバイスカウンタについての情報が含まれます。

表 39: Cisco MGCP FXO Device

カウンタ	カウンタの説明
CallsCompleted	このカウンタは、MGCP FXO デバイス上のポートから発信されたコールの総数を表します。
OutboundBusyAttempts	このカウンタは、使用可能な音声チャネルがない場合に、このデバイス上のポートを介してコールが試行された回数の合計を表します。
PortStatus	このカウンタは、この MGCP FXO デバイスに関連付けられているポートの状態を表します。

Cisco MGCP FXS Device

Cisco MGCP Foreign Exchange Station (FXS) Device オブジェクトは、登録済みの Cisco MGCP FXS デバイスについての情報を提供します。このオブジェクトのインスタンスは、Cisco Catalyst 6000 24 port FXS Analog Interface Module ゲートウェイ上の各ポートに対して 1 つずつ作成されます。たとえば、完全に設定された Catalyst 6000 Analog Interface Module の場合、このオブジェクトの個々の 24 のインスタンスが表現されます。次の表には、Cisco MGCP FXS デバイスカウンタについての情報が含まれます。

表 40: Cisco MGCP FXS Device

カウンタ	カウンタの説明
CallsCompleted	このカウンタは、MGCP FXS デバイス上のこのポートから発信されたコールの総数を表します。
OutboundBusyAttempts	このカウンタは、使用可能な音声チャネルがない場合に、このデバイス上のポートを介してコールが試行された回数の合計を表します。

カウンタ	カウンタの説明
PortStatus	このカウンタは、MGCP FXS デバイスに関連付けられている FXS ポートの状態を表します。

Cisco MGCP Gateways

Cisco MGCP Gateways オブジェクトは、登録済みの MGCP ゲートウェイについての情報を提供します。次の表に、CiscoMGCP Gateway カウンタに関する情報を示します。

表 41 : Cisco MGCP Gateways

カウンタ	カウンタの説明
BRChannelsActive	このカウンタは、ゲートウェイのコールで現在アクティブな BRI チャネルの数を表します。
BRISpansInService	このカウンタは、ゲートウェイで現在使用可能な BRI スパンの数を表します。
FXOPortsActive	このカウンタは、ゲートウェイのコールで現在アクティブな FXS ポートの数を表します。
FXOPortsInService	このカウンタは、ゲートウェイで現在使用可能な FXS ポートの数を表します。
FXSPortsActive	このカウンタは、ゲートウェイのコールで現在アクティブな FXS ポートの数を表します。
FXSPortsInService	このカウンタは、ゲートウェイで現在使用可能な FXS ポートの数を表します。
PRChannelsActive	このカウンタは、ゲートウェイのコールで現在アクティブな PRI チャネルの数を表します。
PRISpansInService	このカウンタは、ゲートウェイで現在使用可能な PRI スパンの数を表します。
T1ChannelsActive	このカウンタは、ゲートウェイのコールで現在アクティブな T1 CAS チャネルの数を表します。
T1SpansInService	このカウンタは、ゲートウェイで現在使用可能な T1 CAS スパンの数を表します。

Cisco MGCP PRI Device

Cisco MGCP Primary Rate Interface (PRI) Device オブジェクトは、登録済みの Cisco MGCP PRI デバイスについての情報を提供します。次の表には、CiscoMGCP PRI デバイスカウンタについての情報が含まれます。

表 42: Cisco MGCP PRI Device

カウンタ	カウンタの説明
CallsActive	このカウンタは、この MGCP PRI デバイス上で現在アクティブのコールの数を表します。
CallsCompleted	このカウンタは、この MGCP PRI デバイスから発信され成功したコールの数を表します。
Channel 1 Status ~ Channel 15 Status (連続した番号)	このカウンタは、MGCP PRI デバイスに関連付けられているチャンネルの状態を表します。次の値が使用されます。0 (Unknown) は、このチャンネルの状態を判別できなかったことを示します。1 (Out of service) は、このチャンネルが使用不可であることを示します。2 (Idle) は、このチャンネルにアクティブコールがなく、使用可能な状態であることを示します。3 (Reserved) は、このチャンネルが D チャンネルとして、またはこのチャンネルとして使用されるように予約されていることを示します。
Channel 16 Status	このカウンタは、MGCP PRI デバイスに関連付けられているチャンネルの状態を表します。次の値が使用されます。0 : Unknown、1 : Out of service、2 : Idle、3 : Busy、4 : Reserved (E1 PRI インターフェイス) は、このチャンネルは、D チャンネルとして使用されるように予約されています。
Channel 17 Status ~ Channel 31 Status (連続した番号)	このカウンタは、MGCP PRI デバイスに関連付けられているチャンネルの状態を表します。0 : Unknown、1 : Out of service、2 : Busy、3 : Reserved
DatalinkInService	このカウンタは、対応するデジタルアクセス ゲートウェイ (D チャンネル) の状態を表します。この値は、データリンクサービス (D チャンネル) の場合は 1 に設定され、データリンクがダウンしている場合は 0 に設定されます。
OutboundBusyAttempts	このカウンタは、使用可能な音声チャンネルがない場合に、MGCP PRI デバイスを介してコールが試行された回数の合計を表します。

Cisco MGCP T1 CAS デバイス

Cisco MGCP T1 個別線信号方式 (CAS) Device オブジェクトは、登録済みの Cisco MGCP T1 CAS デバイスについての情報を提供します。次の表には、CiscoMGCP T1 CAS デバイスカウンタについての情報が含まれます。

表 43: Cisco MGCP T1 CAS デバイス

カウンタ	カウンタの説明
CallsActive	このカウンタは、この MGCP T1 CAS デバイス上で現在アクティブ中の) コールの数を表します。
CallsCompleted	このカウンタは、この MGCP T1 CAS デバイスから発信され成功の総数を表します。
Channel 1 Status ~ Channel 24 Status (連続した番号)	このカウンタは、MGCP T1 CAS デバイスに関連付けられている B チャンネルの状態を表します。次の値が使用されます。0 (Unavailable) は、このチャンネルの状態を判別できなかったことを示します。1 (Out of Service) は、このチャンネルが使用不可であることを示します。2 (Idle) は、このチャンネルにはアクティブなコールがなく、使用可能な状態であることを示します。3 (Busy) は、このチャンネルにアクティブコールが存在することを示します。4 (Reserved) は、このチャンネルが D チャンネルとして、または E-Channel として使用されるように予約されていることを示します。
OutboundBusyAttempts	このカウンタは、使用可能な音声チャンネルがない場合に、MGCP T1 CAS デバイスを介してコールが試行された回数の合計を表します。

Cisco Mobility Manager

Cisco Mobility Manager オブジェクトは、登録された Cisco Unified Mobility Manager デバイスに関する情報を提供します。次の表には、Cisco Unified Mobility Manager デバイスカウンタについての情報が含まれます。

表 44: Cisco Mobility Manager

カウンタ	カウンタの説明
MobileCallsAnchored	このカウンタは、現在 Unified Communications Manager 上で固定されているシングルモード電話機のコールに関連付けられているコールの総数を表します。コールの固定が企業ゲートウェイに入り、モバイルクライアントに接続するときに実行されるリダイレクトアプリケーションは、この後、リダイレクトアプリケーションを使用してコールを企業ゲートウェイに返送します。たとえば、デュアルモード電話機がコールの場合、このカウンタは 2 つ増加します。つまり、起点のコールで 1 つ増加し、コールが終了したときに減少します。

カウンタ	カウンタの説明
MobilityHandinsAborted	このカウンタは、中断された hand-in 操作の総数を表します。
MobileHandinsCompleted	このカウンタは、デュアルモードで完了した hand-in 操作の総数を表します。これは、コールが企業ネットワーク内から無線ネットワークに移動し、電話機が WAN から WLAN ネットワークに完了します。
MobilityHandinsFailed	このカウンタは、失敗した hand-in 操作の総数を表します。これは、無線ネットワークから無線ネットワークに移動したモバイル デバイス上のコールが失敗します。
MobilityHandoutsAborted	このカウンタは、中断された hand-out 操作の総数を表します。
MobileHandoutsCompleted	このカウンタは、完了した hand-out 操作の総数を表します。これは、WLAN ネットワークからセルラーネットワークに移動したモバイル デバイス上のコールが完了します。hand-out 操作は、無線ネットワークに接続されたときに完了します。
MobileHandoutsFailed	このカウンタは、失敗した hand-out 操作の総数を表します。これは、無線ネットワークから無線ネットワークに移動したモバイル デバイス上のコールが失敗します。
MobilityFollowMeCallsAttempted	このカウンタは、試行された follow-me コール操作の総数を表します。
MobilityFollowMeCallsIgnoredDueToAnswerTooSoon	このカウンタは、AnswerTooSoon イベントになる前に無視された follow-me コール操作の総数を表します。
MobilityIVRCallsAttempted	このカウンタは、試行された IVR コール操作の総数を表します。
MobilityIVRCallsFailed	このカウンタは、失敗した IVR コール操作の総数を表します。
MobilityIVRCallsSucceeded	このカウンタは、成功した IVR コール操作の総数を表します。
MobilitySCCPDualModeRegistered	このカウンタは、登録されている SCCP デバイスの総数を表します。

カウンタ	カウンタの説明
MobilitySIPDualModeRegistered	このカウンタは、登録されているデュアルモード SIP デバイスの総数を表します。

Cisco Music On Hold (MoH) Device

Cisco Music On Hold (MoH) Device オブジェクトは、登録済みの Cisco MOH デバイスについての情報を提供します。次の表には、CiscoMOH デバイスカウンタについての情報が含まれます。

表 45: Cisco MOH Device

カウンタ	カウンタの説明
MOHHighestActiveResources	このカウンタは、MOH サーバに対して同時にアクティブになる最大数を表します。この数には、マルチキャスト接続とユニキャスト接続の両方が含まれています。
MOHMulticastResourceActive	このカウンタは、MOH サーバから提供されるマルチキャストアドレスの現在アクティブなマルチキャスト接続の数を表します。 各 MOH マルチキャストリソースは、オーディオソースとコーデックを組み合わせごとに 1 つのストリームを使用します。たとえば、マルチキャスト G.711 mu-law、ワイドバンドコーデックに対してデフォルトオーディオソースを設定した場合、2 つのストリーム (デフォルトオーディオソース G.711 mu-law、およびデフォルトオーディオソースとワイドバンド) を使用します。
MOHMulticastResourceAvailable	このカウンタは、MOH サーバから提供される、非アクティブなマルチキャストアドレスへの、マルチキャスト接続の数を表します。 各 MOH マルチキャストリソースは、オーディオソースとコーデックを組み合わせごとに 1 つのストリームを使用します。たとえば、マルチキャスト G.711 mu-law、ワイドバンドコーデックに対してデフォルトオーディオソースを設定した場合、2 つのストリーム (デフォルトオーディオソース G.711 mu-law、およびデフォルトオーディオソースとワイドバンド) を使用します。
MOHOutOfResources	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録されている MOH サーバ上で使用可能なすべてのリソースがすでにアクティブな場合に、Media Resource Manager が MOH リソースの割り当てを拒否した接続の合計を表します。

カウンタ	カウンタの説明
MOHTotalMulticastResources	このカウンタは、MOH サーバから提供されるマルチキャスト MOH 接続として許可されている、マルチキャスト MOH 接続の総数を表します。 各 MOH マルチキャスト リソースは、オーディオソースとコーデックを組み合わせごとに 1 つのストリームを使用します。たとえば、マルチキャスト G.711 mu-law、ワイドバンドコーデックに対してデフォルトのオーディオソースを設定した場合、2 つのストリーム（デフォルトオーディオソース G.711 mu-law、およびデフォルトオーディオソースとワイドバンドコーデック）を使用します。
MOHTotalUnicastResources	このカウンタは、MOH サーバによって許可されているユニキャスト MOH 接続の総数を表します。 各 MOH ユニキャスト リソースは、1 つのストリームを使用します。
MOHUnicastResourceActive	このカウンタは、MOH サーバへのアクティブなユニキャスト MOH 接続を表します。 各 MOH ユニキャスト リソースは、1 つのストリームを使用します。
MOHUnicastResourceAvailable	このカウンタは、非アクティブで、MOH サーバで現在も使用可能なユニキャスト MOH 接続の数を表します。 各 MOH ユニキャスト リソースは、1 つのストリームを使用します。

Cisco MTP Device

Cisco Media Termination Point (MTP) Device オブジェクトは、登録済みの Cisco MTP デバイスについての情報を提供します。次の表には、Cisco MTP デバイスカウンタについての情報が含まれます。

表 46: Cisco MTP Device

カウンタ	カウンタの説明
OutOfResources	このカウンタは、MTP デバイスから MTP リソースの割り当てが完了し、すべてのリソースがすでに使用中であるなどの理由で失敗した MTP リソースを表します。
ResourceActive	このカウンタは、MTP デバイスに対して現在使用中の（アクティブ）MTP リソースの数を表します。 各 MTP リソースは、2 つのストリームを使用します。使用中の MTP リソースは、1 つのストリームで使用するために割り当てられている 1 つの MTP リソースを使用します。

カウンタ	カウンタの説明
ResourceAvailable	このカウンタは、非アクティブで、MTPデバイスに対して現在もMTP リソースの総数を表します。 各MTP リソースは、2つのストリームを使用します。使用中のMTP リソースは、2つのストリームを使用して使用するために割り当てられている1つのMTP リソースを消費します。
ResourceTotal	このカウンタは、MTPデバイスが提供するMTP リソースの総数を表します。 このカウンタは、ResourceAvailable カウンタと ResourceActive カウンタの合計した数になります。

Cisco Phones

Cisco Phones オブジェクトは、ハードウェアベースのデバイスとその他の端末デバイスの両方を含む、登録されている Cisco Unified IP Phone の数についての情報を提供します。

CallsAttempted カウンタは、この電話機から試行されたコールの数を表します。この数は、電話機がオフフックおよびオンフックになるたびに増加します。

Cisco Presence の機能

Cisco Presence オブジェクトは、短縮ダイヤルやコールリストのビジーランプフィールド (BLF) の登録に関連する統計など、プレゼンス登録についての情報を提供します。次の表には、CiscoPresence 機能についての情報が含まれます。

表 47: Cisco Presence

カウンタ	カウンタの説明
ActiveCallListAndTrunkSubscriptions	このカウンタは、コールリスト機能のアクティブなプレゼンス登録とトランクを介したプレゼンス登録を表します。
ActiveSubscriptions	このカウンタは、すべてのアクティブな着信と発信のプレゼンス登録の総数を表します。
CallListAndTrunkSubscriptionsThrottled	このカウンタは、コールリスト機能の制御のために拒否されたプレゼンス登録とトランク側のプレゼンス登録の累計数を表します。
IncomingLineSideSubscriptions	このカウンタは、回線側で受信されたプレゼンス登録の累計数を表します。
IncomingTrunkSideSubscriptions	このカウンタは、トランク側で受信されたプレゼンス登録の累計数を表します。
OutgoingTrunkSideSubscriptions	このカウンタは、トランク側で送信されたプレゼンス登録の累計数を表します。

Cisco QSIG Feature

Cisco QSIG Feature オブジェクトは、コール転送やパス置換など、さまざまな QSIG 機能の操作についての情報を提供します。次の表に、Cisco QSIG Feature カウンタに関する情報を示します。

表 48: Cisco QSIG Feature

カウンタ	カウンタの説明
CallForwardByRerouteCompleted	このカウンタは、再ルーティングにより自動転送され成功し表します。再ルーティングによる自動転送は、自動転送される、発信元の観点から最適化します（使用中の B チャネルのみです）。このカウンタは、CiscoCallManager の Call Forward by Reroute サービスパラメータが有効または無効にされたとき、または Cisco CallManager サービスが再起動されたときにリセットされます。
PathReplacementCompleted	このカウンタは、正常に実行されたパス置換の数を表します。ワークにおけるパス置換は、コールに含まれる 2 つのエッジ間のパスを最適化します。このカウンタは、CiscoCallManager の Path Replacement Enabled サービスパラメータが有効または無効にされたとき、または Cisco CallManager サービスが再起動されたときにリセットされます。

Cisco Signaling Performance

Cisco Signaling Performance オブジェクトは、Unified Communications Manager の転送通信に関するコールシグナリングデータを提供します。次の表に、Cisco Signaling Performance カウンタに関する情報を示します。

表 49: Cisco Signaling Performance

カウンタ	カウンタの説明
UDPPacketsThrottled	このカウンタは、1 つの IP アドレスから許可されている毎秒の UDP パケット数のしきい値を超過したことによって制御（ドロップ）された UDP パケットの総数を表します。しきい値は、Cisco Unified Communications Manager Administration の SIP Station UDP Port Throttle Threshold の各サービスパラメータで設定されたしきい値です。このカウンタは、Cisco CallManager Service の最後の再起動以降、制御された UDP パケットを受信するたびに増加します。

Cisco SIP

Cisco Session Initiation Protocol (SIP) オブジェクトは、設定済みの SIP デバイスについての情報を提供します。次の表に、CiscoSIP カウンタについての情報を示します。

表 50: Cisco SIP

カウンタ	カウンタの説明
CallsActive	このカウンタは、この SIP デバイス上で現在アクティブな（使用）の数を表します。
CallsAttempted	このカウンタは、この SIP デバイス上で試行されたコールの数を成功したコールの試行と失敗したコールの試行の両方が含まれます。
CallsCompleted	このカウンタは、SIP デバイスから実際に接続された（音声パス）コールの数を表します。この数は、コールが終了したときのみ増加します。
CallsInProgress	このカウンタは、SIP デバイス上で現在進行中の、すべてのアクティブコールを含むコールの数を表します。進行中のすべてのコールが接続されると、CallsInProgress の数は CallsActive の数と等しくなります。
VideoCallsActive	このカウンタは、この SIP デバイス上で現在アクティブな（使用）リーミング ビデオ接続を持つビデオ コールを表します。
VideoCallsCompleted	このカウンタは、この SIP デバイスのビデオストリームに実際に接続されたビデオコールの数を表します。この数は、コールが終了すると増加します。

Cisco SIP Line Normalization

Cisco SIP line normalization パフォーマンス オブジェクトには、初期化エラー、実行時エラー、スクリプトステータスなどの SIP 回線正規化スクリプトの側面をモニタできるようにするカウンタが含まれています。SIP 回線では、パフォーマンス カウンタは各スクリプトに 1 セットのみ含まれます。これは、2 つのエンドポイントが同じスクリプトを共有する場合も同様です。次の表に、Cisco SIP line normalization カウンタに関する情報を示します。

表示名	説明
DeviceResetAutomatically	このカウンタは、Unified Communications Manager がデバイス（SIP 電話）を自動的にリセットした回数を表します。[スクリプト実行エラーの復旧処理（Script Execution Error Recovery Action）] フィールドまたは [システムリソースエラーの復旧処理（System Resource Error Recovery Action）] フィールドで指定された値が [デバイスのリセット（Reset Device）] に設定されている場合にのみ自動リセットが行われます。このカウンタは、エラーが原因で Unified Communications Manager がデバイス（SIP 電話）を自動的にリセットするたびに増加します。スクリプト設定を変更した後にスクリプトがリセットされると、このカウンタは再開されます。

表示名	説明
ErrorExecution	<p>このカウンタは、スクリプトの実行中に発生した実行エラーの数を表します。実行エラーは、メッセージハンドラの実行中に発生することがあります。実行エラーの原因として考えられるのは、リソースエラーや関数呼び出し内での引数の不一致などの問題です。</p> <p>実行エラーが発生すると、Unified Communications Manager は次の処理を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動的にメッセージを元の内容に復元してから、追加のエラー処理アクションを適用します。 カウンタの値を増分します。 Cisco Unified Communications Manager の管理ページにある [スクリプト実行エラーの復旧処理 (Script Execution Error Recovery Action)] フィールドと [システム リソース エラーの復旧処理 (System Resource Error Recovery Action)] フィールドの値に基づいて、適切な処理を実行します。 <p>スクリプト内の失敗した行の番号などの詳細については、SIPNormalizationScriptError アラームを確認してください。スクリプトの問題を修正し、必要に応じて修正したスクリプトをアップロードし、スクリプトの設定ページの上部にある [リセット (Reset)] ボタンをクリックしてスクリプトをリセットします。カウンタは、スクリプト設定の変更後、スクリプトが最後にリセットされて以降の実行エラーごとに増加します。カウンタを再起動するには、スクリプトの設定変更とスクリプトのリセットの両方を実行する必要があります。</p> <p>スクリプトの問題を修正した後もカウンタが増加し続ける場合は、スクリプトを調べ直してください。</p>

表示名	説明
ErrorInit	<p>このカウンタは、スクリプトがメモリに正常にロードされたが、Unified Communications Manager で初期設定されません回数スクリプトエラーが発生したことを示します。スクリプトが初期化に失敗する原因として考えられるのは、リソースエラー、関数呼び出し内での引数の不一致などです。</p> <p>スクリプト内の失敗した行の番号などの詳細については、SIPNormalizationScriptError アラームを確認してください。スクリプトの問題を修正し、必要に応じて修正したスクリプトをアップロードし、スクリプトの設定ページの上部にある [リセット (Reset)] ボタンをクリックしてスクリプトをリセットします。スクリプトのインスタンスのカウンタは、初期化エラーが発生するたびに増加します。このカウンタは、スクリプトの設定変更とともに行われた最新のスクリプトリセットからのカウントを提供します。カウンタを再起動するには、スクリプトの設定変更とスクリプトのリセットの両方を実行する必要があります。スクリプトの問題を修正した後でもカウンタが増加し続ける場合は、スクリプトを調べ直してください。初期化中にエラーが発生した場合、Unified Communications Manager は自動的にスクリプトを無効にします。</p>
ErrorInternal	<p>このカウンタは、スクリプトの実行中に発生した内部エラーの数を表します。内部エラーが発生することはほとんどありません。このカウンタの値がゼロより大きい場合は、スクリプトの内容または実行に関係のない不具合がシステム内に存在します。SDIトレースを収集し、テクニカルアシスタンスセンター (TAC) に問い合わせてください。</p>
ErrorLoad	<p>このカウンタは、スクリプトが Unified Communications Manager のメモリにロードされたときに発生したスクリプトエラーの数を表します。</p> <p>スクリプトはメモリの問題または構文エラーが原因でロードに失敗する可能性があります。構文エラーがある場合は、スクリプトライン番号などの詳細について SIPNormalizationScriptError アラームを確認し、構文エラーについてスクリプトを確認し、必要に応じて修正したスクリプトをアップロードして、スクリプトの設定ページの上部にある [リセット (Reset)] ボタンをクリックしてスクリプトをリセットします。</p> <p>スクリプトのインスタンスのカウンタは、スクリプト設定の変更後、スクリプトが最後にリセットされて以降のロードエラーごとに増加します。カウンタを再起動するには、スクリプトの設定変更とスクリプトのリセットの両方を実行する必要があります。スクリプトの問題を修正した後でもカウンタが増加し続ける場合は、スクリプトを調べ直してください。</p>

表示名	説明
ErrorResource	<p>このカウンタは、スクリプトでリソース エラーが発生したかどうかを示します。</p> <p>リソースエラーは2種類あります。1つは[メモリしきい値 (Memory Threshold)]フィールドの値を超えることで、もう1つは[Lua 命令しきい値 (Lua Instruction Threshold)]フィールドの値を超えることです。どちらのフィールドも、Cisco Unified Communications Manager の管理ページにある [SIP 正規化スクリプト設定 (SIP Normalization Script Configuration)]ウィンドウに表示されます。いずれかの状況が発生した場合、Unified Communications Manager はすぐにスクリプトを閉じて SIPNormalizationScriptError アラームを発行します。</p> <p>スクリプトのロード中または初期化中にリソース エラーが発生した場合は、スクリプトが無効になります。実行中にリソースエラーが発生した場合は、Cisco Unified Communications Manager の管理ページにある [SIP 正規化スクリプト設定 (SIP Normalization Script Configuration)]ウィンドウの [システム リソース エラーの復旧処理 (System Resource Error Recovery Action)]フィールドで設定した設定済みシステム リソース エラー復旧処理が実行されます。</p>
MemoryUsage	<p>このカウンタは、このスクリプトを使用するすべての SIP 電話への蓄積に基づいてこのスクリプトが消費するメモリ量をバイト単位で示します。このカウンタは、スクリプトが使用するメモリの量に合わせて増減します。このカウンタは、スクリプトを閉じるとクリアされ (閉じたスクリプトはメモリを使用しないため)、スクリプトを開くと (有効になると) 再開されます。このカウンタの数値が高い場合は、リソースの問題が発生していることを示します。</p> <p>MemoryUsagePercentage カウンタと SIPNormalizationResourceWarning アラームを確認してください。このアラームは、リソースの使用量が内部的に設定されたしきい値を超えた場合に発生します。</p>

表示名	説明
MemoryUsagePercentage	<p>このカウンタは、このスクリプトを使用するすべての SIP 電話への蓄積に基づいてこのスクリプトが消費するメモリの総量のパーセントを示します。</p> <p>このカウンタの値は、MemoryUsage カウンタの値を [メモリしきい値 (Memory Threshold)] フィールド ([SIP 正規化スクリプト設定 (SIP Normalization Script Configuration)] ウィンドウ内) の値で割り、その結果に 100 を掛けてパーセント値にすることで求められます。</p> <p>このカウンタは、MemoryUsage カウンタに合わせて増減します。このカウンタは、スクリプトを閉じるとクリアされ (閉じたスクリプトはメモリを使用しないため)、スクリプトを開くと (有効になると) 再開されます。このカウンタが内部的に制御されたリソースのしきい値に達すると、SIPNormalizationResourceWarning アラームが発行されます。</p>
MessageRollback	<p>このカウンタは、スクリプト実行中のエラーのためにメッセージがスクリプトによって変更されなかった回数を表します。これは、[スクリプト実行エラーの復旧処理 (Script Execution Error Recovery Action)] フィールドの値が [メッセージのロールバックのみ (Message Rollback Only)] に設定されている場合にのみ発生します。</p> <p>実行エラーが発生すると、Unified Communications Manager は自動的にメッセージを元のコンテンツに復元してから、追加のエラー処理アクションを適用します。エラー処理にロールバックしか指定されていない場合、正規化の試行の前に実行されるアクションは元のメッセージへのロールバックだけです。その他の設定可能な [スクリプト実行エラーの復旧処理 (Script Execution Error Recovery Action)] 設定に対しては、メッセージが元のコンテンツにリストアされてから指定されたアクションが発生します。</p>
msgAddContentBody	<p>このカウンタは、スクリプトがメッセージにコンテンツ本文を追加した回数を表します。スクリプト内で msg:addContentBody API を使用している場合 (「msg」は使用しているメッセージの変数名とする)、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。</p>
msgAddHeader	<p>このカウンタは、スクリプトがメッセージに SIP ヘッダーを追加した回数を表します。スクリプト内で msg:addHeader API を使用している場合 (「msg」は使用しているメッセージの変数名とする)、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。</p>

表示名	説明
msgAddHeaderUriParameter	このカウンタは、スクリプトがメッセージの SIP ヘッダーに SIP ヘッダー URI パラメータを追加した回数を表示します。スクリプト内で <code>msg:addHeaderUriParameter</code> API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。
msgAddHeaderValueParameter	このカウンタは、スクリプトがメッセージの SIP ヘッダーに SIP ヘッダー値パラメータを追加した回数を表示します。スクリプト内で <code>msg:addHeaderValueParameter</code> API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。
msgApplyNumberMask	このカウンタは、スクリプトがメッセージの SIP ヘッダーに番号マスクを適用した回数を表示します。スクリプト内で <code>msg:applyNumberMask</code> API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。
msgBlock	このカウンタは、スクリプトがメッセージをブロックした回数を表示します。スクリプト内で <code>msg:block</code> API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。
msgConvertDiversiontoHI	このカウンタは、スクリプトがメッセージの Diversion ヘッダーを History-Info ヘッダーに変換した回数を表示します。スクリプト内で <code>msg:convertDiversionToHI</code> API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。

表示名	説明
msgConvertHIToDiversion	このカウンタは、スクリプトがメッセージの History-Info ヘッダーを Diversion ヘッダーに変換した回数を表示します。スクリプト内で msg:convertHIToDiversion API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、このAPIが正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。
msgModifyHeader	このカウンタは、スクリプトがメッセージの SIP ヘッダーを変更した回数を表示します。スクリプト内で msg:modifyHeader API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、このAPIが正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。
msgRemoveContentBody	このカウンタは、スクリプトがメッセージからコンテンツ本文を削除した回数を表示します。スクリプト内で msg:removeContentBody API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、このAPIが正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。
msgRemoveHeader	このカウンタは、スクリプトがメッセージから SIP ヘッダーを削除した回数を表示します。スクリプト内で msg:removeHeader API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、このAPIが正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。
msgRemoveHeaderValue	このカウンタは、スクリプトがメッセージから SIP ヘッダー値を削除した回数を表示します。スクリプト内で msg:removeHeaderValue API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、このAPIが正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。
msgRemoveUnreliableSdp	このカウンタは、スクリプトが信頼できない 18x SIP メッセージから SDP 本文を削除した回数を表示します。スクリプト内で msg:removeUnreliableSDP API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、このAPIが正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。

表示名	説明
msgSetRequestUri	このカウンタは、スクリプトがメッセージの要求 URI を変更した回数を表します。スクリプト内で <code>msg:setRequestUri</code> API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。
msgSetResponseCode	このカウンタは、スクリプトがメッセージの応答コードまたは応答フレーズを変更した回数を表します。スクリプト内で <code>msg:setResponseCode</code> API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。
msgSetSdp	このカウンタは、スクリプトがメッセージの SDP をセットした回数を表します。スクリプト内で <code>msg:setSdp</code> API を使用している場合（「msg」は使用しているメッセージの変数名とする）、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。
ptAddContentBody	このカウンタは、スクリプトが <code>PassThrough</code> オブジェクトにコンテンツ本文を追加した回数を表します。スクリプト内で <code>pt:addContentBody</code> API を使用している場合（「pt」は使用している <code>PassThrough</code> オブジェクトの名前とする）、この API が正常に実行されるたびにこのカウンタが増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。
ptAddHeader	このカウンタは、スクリプトが <code>PassThrough</code> オブジェクトに SIP ヘッダーを追加した回数を表します。パススルーオブジェクト名がポートを使用する場合、pt「です」:スクリプト、このカウンタに <code>addHeader</code> API はこの API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。
ptAddHeaderUriParameter	このカウンタは、スクリプトが <code>PassThrough</code> オブジェクトに SIP ヘッダー URI パラメータを追加した回数を表します。パススルーオブジェクト名がポートを使用する場合、pt「です」:スクリプト、このカウンタに <code>addHeaderUriParameter</code> API はこの API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。

表示名	説明
ptAddHeaderValueParameter	このカウンタは、スクリプトが PassThrough オブジェクトに SIP ヘッダー値パラメータを追加した回数を表示します。パススルーオブジェクト名がポートを使用する場合、pt「です」:スクリプト、このカウンタに addHeaderValueParameter API はこの API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。
ptAddRequestUriParameter	このカウンタは、スクリプトが PassThrough オブジェクトに要求 URI パラメータを追加した回数を表示します。パススルーオブジェクト名がポートを使用する場合、pt「です」:スクリプト、このカウンタに addRequestUriParameter API はこの API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプト ロジックにエラーがないか調べてください。
ScriptActive	<p>このカウンタは、スクリプトが現在アクティブになっている（SIP 電話で実行されている）かどうかを示します。値0は、スクリプトが閉じている（無効である）ことを示します。値1は、スクリプトが起動し、動作可能であることを示します。</p> <p>実行する必要があるスクリプトを開くには、スクリプトが開かれていない理由を示している可能性があるアラームを確認し、エラーがある場合は修正し、必要に応じて新しいスクリプトをアップロードし、スクリプトをリセットします。</p>
ScriptClosed	このカウンタは、Unified Communications Manager がスクリプトを閉じた回数を表示します。スクリプトは、1 台の SIP 電話で閉じられていても、他の SIP 電話では有効な場合があります。最後にこのスクリプトを使用した SIP 電話が手動でリセットされたか、（エラーにより）自動的にリセットしたか、または削除された場合は、Unified Communications Manager はこのスクリプトを閉じます。このカウンタは、スクリプト設定が変更された後にそのスクリプトがリセットし、Cisco CallManager が再起動したときに再起動します。

表示名	説明
ScriptDisabledAutomatically	<p>このカウンタは、システムが自動的にスクリプトを無効にした回数を表示します。スクリプトが無効にされたかどうかは、Cisco Unified Communications Manager の管理ページにある [SIP 正規化スクリプト設定 (SIP Normalization Script Configuration)] ウィンドウの [スクリプト実行エラーの復旧処理 (Script Execution Error Recovery Action)] フィールドと [システムリソースエラーの復旧処理 (System Resource Error Recovery Action)] フィールドに指定した値によって決定されます。これらのフィールドのいずれかが [スクリプトの無効化 (Disable Script)] にセットされている場合、自動スクリプト無効化が発生します。スクリプトは、ロード中および初期化中にスクリプトエラー条件が発生した場合にも無効になります。</p> <p>このカウンタは、スクリプトの設定変更に伴うデバイスの最新の手動リセットからのカウントを提供します (デバイスのリセットだけではカウントはリセットされません。リセットが発生する前に、スクリプトが変更されている必要があります)。このカウンタは、Unified Communications Manager がスクリプトエラーにより自動的にスクリプトを無効にするたびに増加します。</p> <p>このカウンタの数値が予想よりも高い場合は、次の手順を実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SIPNormalizationScriptError アラームと SIPNormalizationAutoResetDisabled アラームを調べます。 • RTMT のリソース関連のアラームとカウンタを調べて、リソースの問題が発生しているかどうかを判断します。 • SDI トレース ファイルに予期しない SIP 正規化イベントがあるかどうかを調べます。

表示名	説明
ScriptOpened	<p>このカウンタは、Unified Communications Manager がスクリプトを開こうとした回数を表します。スクリプトを開くには、Unified Communications Manager のメモリにスクリプトをロードし、初期化して、実行可能な状態にする必要があります。このカウンタの値が 1 より大きくなっている場合は、予期しない理由あるいはロード中または初期化中のエラーにより、Unified Communications Manager がこのスクリプトを 2 回以上開こうとしたことを意味します。このエラーは、実行エラー、リソース エラー、あるいはスクリプト内の無効な構文により発生する場合があります。ScriptResetAutomatically カウンタが増加する場合は、このカウンタが 1 より大きいことが予測されます。</p> <p>このカウンタの数値が予想よりも高い場合は、次の手順を実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SIPNormalizationScriptClosed、SIPNormalizationScriptError、SIPNormalizationResourceWarning などのアラームを調べます。 • RTMT のリソース関連のアラームとカウンタを調べて、リソースの問題が発生しているかどうかを判断します。 • SDI トレース ファイルに予期しない SIP 正規化イベントがあるかどうかを調べます。 <p>このカウントは、スクリプトの設定が変更された後にスクリプトがリセットされたとき、および Unified Communications Manager が再起動したときに再開されます。</p>

表示名	説明
ScriptResetAutomatically	<p>このカウンタは、システムが自動的にスクリプトをリセットした回数を表示します。スクリプトのリセットは、Cisco Unified Communications Manager の管理ページにある [SIP 正規化スクリプト設定 (SIP Normalization Script Configuration)] ウィンドウの [スクリプト実行エラーの復旧処理 (Script Execution Error Recovery Action)] フィールドと [システムリソースエラーの復旧処理 (System Resource Error Recovery Action)] フィールドに指定した値に基づいて行われます。自動リセットは、これらのフィールドのいずれかの値が [スクリプトのリセット (Reset Script)] の場合に発生する可能性があります。</p> <p>このカウンタは、スクリプト設定の変更後にスクリプトが最後にリセットされた後でそのスクリプトが自動的にリセットされる回数を指定します。このカウンタは、Unified Communications Manager がスクリプトエラーにより自動的にスクリプトをリセットにするたびに増加します。</p> <p>このカウンタの数値が予想よりも高い場合は、次の手順を実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SIPNormalizationScriptError アラームを調べます。 • RTMT のリソース関連のアラームとカウンタを調べて、リソースの問題が発生しているかどうかを判断します。 • SDI トレース ファイルに予期しない SIP 正規化イベントがあるかどうかを調べます。
ScriptResetManually	<p>このカウンタは、Cisco Unified Communications Manager の管理ページまたはその他の方法 (AXL、またはスクリプトを使用した最後の SIP 電話でのリセットなど) によりスクリプトが手動でリセットされた回数を表示します。このカウンタは、スクリプトが設定変更によりリセットされると増加します。このカウンタは、スクリプトが削除されたとき、または Cisco CallManager が再起動したときにリセットされます。</p>

Cisco SIP Normalization

Cisco SIP Normalization パフォーマンス オブジェクトには、初期化エラー、実行時エラー、スクリプトステータスなどの正規化スクリプトの側面をモニタできるようにするカウンタが含まれています。これらのカウンタのインスタンスは、スクリプトに関連付けられている各デバイスによって新規に作成されます。次の表に、CiscoSIPNormalization カウンタに関する情報を示します。

表 51 : Cisco SIP Normalization

表示名	説明
DeviceResetAutomatically	<p>このカウンタは、Unified Communications Manager がデバイス (SIP トランク) を自動的にリセットした回数を表します。デバイスのリセットは、Cisco Unified Communications Manager の管理の [SIP 正規化スクリプト設定 (SIP Normalization Script Configuration)] ウィンドウの [スクリプト実行エラーの復旧処理 (Script Execution Error Recovery Action)] フィールドと [システムリソースエラーの復旧処理 (System Resource Error Recovery Action)] フィールドに指定されたスクリプトに基づいて行われます。スクリプトエラーが原因でデバイス (SIP トランク) がリセットされると、カウンタの値が増加します。このカウンタは、デバイスが手動でリセットするとリセットされます。</p>
DeviceResetManually	<p>このカウンタは、Cisco Unified Communications Manager の管理でデバイス (SIP トランク) が手動でリセットされた回数、または AXL などのその他の方法でリセットされた回数を表します。設定変更が原因でスクリプトに関連したデバイスがリセットされると、カウンタの値が増加します。</p> <p>カウンタは、次の場合に再起動されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SIP トランクが削除された場合。 • トランクのスクリプトが変更または削除された場合。 • Unified Communications Manager が再起動した場合。

表示名	説明
ErrorExecution	<p>このカウンタは、スクリプトの実行中に発生した実行エラーの数を示します。実行エラーは、メッセージハンドラの実行中に発生することがあります。エラーの原因として考えられるのは、リソースエラーや関数呼び出し数の不一致などです。</p> <p>実行エラーが発生すると、Unified Communications Manager は次の処置を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自動的にメッセージを元の内容に復元してから、追加のエラーアクションを適用します。 カウンタの値を増分します。 Cisco Unified Communications Manager の管理ページにある [スクリプトの実行エラーの復旧処理 (Script Execution Error Recovery Action)] と [システム リソース エラーの復旧処理 (System Resource Error Recovery Action)] フィールドの値に基づいて、適切な処理を実行します。 <p>スクリプト内の失敗した行の番号などの詳細については、SIPNormalizationScriptError アラームを確認してください。スクリプトを修正し、必要に応じて修正したスクリプトをアップロードして、トランクリセットします。このカウンタは、実行エラーが発生するたびに増加します。このカウンタは、スクリプトの設定変更に伴う最新のトランクリセットを提供します (デバイスのリセットだけではカウントはリセットされません。リセットが発生する前に、スクリプトの設定も変更されています)。</p> <p>スクリプトの問題を修正した後もカウンタが増加し続ける場合は、スクリプトを調べ直してください。</p>
ErrorInit	<p>このカウンタは、スクリプトがメモリに正常にロードされたものの初期化に失敗した後に発生したスクリプトの実行エラーの数を表します。スクリプトが初期化に失敗する原因として考えられるのは、リソースエラー、関数呼び出し内での引数の不一致、必要なテーブルがなかったことなどです。</p> <p>スクリプト内の失敗した行の番号などの詳細については、SIPNormalizationScriptError アラームを確認してください。スクリプトを修正し、必要に応じて修正したスクリプトをアップロードして、トランクリセットします。このカウンタは、初期化エラーが発生するたびに増加します。このカウンタは、スクリプトの設定変更に伴う最新のトランクリセットを提供します (デバイスのリセットだけではカウントはリセットされません。リセットが発生する前に、スクリプトの設定も変更されています)。</p> <p>スクリプトの問題を修正した後もカウンタが増加し続ける場合は、スクリプトを調べ直してください。初期化中にエラーが発生した場合、Unified Communications Manager は自動的にスクリプトを無効にします。</p>

表示名	説明
ErrorInternal	<p>このカウンタは、スクリプトの実行中に発生した内部エラーの数を表し、内部エラーが発生することはほとんどありません。このカウンタの値が大きすぎる場合は、スクリプトの内容または実行に関係のない不具合が内に存在します。SDI トレースを収集し、テクニカル アシスタンス センター (TAC) に問い合わせてください。</p>
ErrorLoad	<p>このカウンタは、スクリプトが Unified Communications Manager のメモリにロードされたときに発生したスクリプトエラーの数を表します。スクリプトに失敗する原因として考えられるのは、メモリの問題または構文エラーです。</p> <p>詳細については、SIPNormalizationScriptError アラームを確認してください。スクリプトに構文エラーがないか確認し、必要に応じて修正したスクリプトをアップロードして、トランクをリセットします。このカウンタは、エラーが発生するたびに増加します。このカウンタは、スクリプトの設定に伴う最新のトランク リセットからのカウントを提供します (デバイスリセットだけではカウントはリセットされません。リセットが発生する前にスクリプトの設定も変更されている必要があります)。スクリプトの問題を修正してもカウンタが増加し続ける場合は、スクリプトを調べ直してください。</p>
ErrorResource	<p>このカウンタは、スクリプトでリソース エラーが発生したかどうかを表します。</p> <p>リソース エラーは 2 種類あります。1 つは [メモリしきい値 (Memory Threshold)] フィールドの値を超えることで、もう 1 つは [Lua 命令しきい値 (Lua Instruction Threshold)] フィールドの値を超えることです (どちらのフィールドも、Cisco Unified Communications Manager の管理ページにある [SIP 正規化スクリプト設定 (SIP Normalization Script Configuration)] ウィンドウに定義されます)。いずれかの状況が発生した場合、Unified Communications Manager はすぐにスクリプトを閉じて SIPNormalizationScriptError アラームを発行します。</p> <p>スクリプトのロード中または初期化中にリソースエラーが発生した場合、スクリプトが無効になります。実行中にリソースエラーが発生した場合、スクリプトがロードされたシステムリソースエラーの復旧処理が実行されます (この処理は Unified Communications Manager の管理の [SIP 正規化スクリプト設定 (SIP Normalization Script Configuration)] ウィンドウの [システムリソース復旧処理 (System Resource Error Recovery Action)] フィールドの設定で定義されます)。</p>

表示名	説明
MemoryUsage	<p>このカウンターは、スクリプトが使用するメモリの量をバイト単位で表します。このカウンターは、スクリプトが使用するメモリの量に合わせて増減します。このカウンターは、スクリプトが閉じるとクリアされ（閉じたスクリプトはメモリを使用しないため）、スクリプトが開くと（有効になると）再開されます。このカウンターの数値が高い場合は、リソースの問題が発生している可能性があります。MemoryUsagePercentage カウンタと SIPNormalizationResourceWarning アラームを確認してください。SIPNormalizationResourceWarning アラームは、リソースの使用量が内部的に設定されたしきい値を超えた場合に発生します。</p>
MemoryUsagePercentage	<p>このカウンターは、スクリプトが使用するメモリの総量のパーセント値を表します。</p> <p>このカウンターの値は、MemoryUsage カウンタの値を（[SIP 正規化スクリプト実行] ウィンドウの）[メモリ使用量] フィールドの値で割り、その結果に 100 を乗じてパーセント値にすることで求められます。</p> <p>このカウンターは、MemoryUsage カウンタに合わせて増減します。このカウンターは、スクリプトが閉じるとクリアされ（閉じたスクリプトはメモリを使用しないため）、スクリプトが開くと（有効になると）再開されます。このカウンターが内部的に制御されたリソースのしきい値に達すると、SIPNormalizationResourceWarning アラームが発行されます。</p>
MessageRollback	<p>このカウンターは、システムが自動的にメッセージをロールバックし、元のメッセージに復元します。システムによるメッセージのロールバックには、Cisco Unified Communications Manager Administrationにある [SIP 正規化スクリプト実行] ウィンドウの [スクリプト実行エラー復旧処理 (Script Execution Error Recovery Action)] フィールドに指定された処理が使用されます。</p> <p>実行エラーが発生すると、Unified Communications Manager は自動的にメッセージを元の内容に復元してから、追加のエラー処理アクションを適用します。エラー処理にロールバックしか指定されていない場合、正規化の試行されるアクションは元のメッセージへのロールバックだけです。スクリプト実行エラーの復旧処理 (Script Execution Error Recovery Action) が指定されている場合は、メッセージのロールバックが必ず最初に実行され、スクリプトの無効化、スクリプトの自動リセット、トランクの解放などの指定された処理が実行されます。</p>
msgAddContentBody	<p>このカウンターは、スクリプトがメッセージにコンテンツ本文を追加するたびに増加します。スクリプトで msg:addContentBody API を使用している場合、このカウンターは msg:addContentBody API が正常に実行されるたびに増加します。カウンターが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーが発生している可能性があります。エラーを調べてください。</p>

表示名	説明
msgAddHeader	このカウンタは、スクリプトがメッセージに SIP ヘッダーを追加した回数を表示します。スクリプトで msg:addHeader API を使用している場合、このカウンタは msg:addHeader API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。
msgAddHeaderUriParameter	このカウンタは、スクリプトがメッセージの SIP ヘッダーに SIP ヘッダーパラメータを追加した回数を表示します。スクリプトで msg:addHeaderUriParameter API を使用している場合、このカウンタは msg:addHeaderUriParameter API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。
msgAddHeaderValueParameter	このカウンタは、スクリプトがメッセージの SIP ヘッダーに SIP ヘッダーパラメータを追加した回数を表示します。スクリプトで msg:addHeaderValueParameter API を使用している場合、このカウンタは msg:addHeaderValueParameter API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。
msgApplyNumberMask	このカウンタは、スクリプトがメッセージの SIP ヘッダーに番号マスクを適用した回数を表示します。スクリプトで msg:applyNumberMask API を使用している場合、このカウンタは msg:applyNumberMask API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。
msgBlock	このカウンタは、スクリプトがメッセージをブロックした回数を表示します。スクリプトで msg:block API を使用している場合、このカウンタは msg:block API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。
msgConvertDiversionToHI	このカウンタは、スクリプトがメッセージの Diversion ヘッダーを HI ヘッダーに変換した回数を表示します。スクリプトで msg:convertDiversionToHI API を使用している場合、このカウンタは msg:convertDiversionToHI API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。
msgConvertHIToDiversion	このカウンタは、スクリプトがメッセージの Diversion ヘッダーを HI ヘッダーに変換した回数を表示します。スクリプトで msg:convertHIToDiversion API を使用している場合、このカウンタは msg:convertHIToDiversion API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。

表示名	説明
msgModifyHeader	このカウンタは、スクリプトがメッセージの SIP ヘッダーを変更します。スクリプトで msg:modifyHeader API を使用している場合、このカウンタは msg:modifyHeader API が正常に実行されるたびに増加します。予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。
msgRemoveContentBody	このカウンタは、スクリプトがメッセージからコンテンツ本文を削除します。スクリプトで msg:removeContentBody API を使用している場合、このカウンタは msg:removeContentBody API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。
msgRemoveHeader	このカウンタは、スクリプトがメッセージから SIP ヘッダーを削除します。スクリプトで msg:removeHeader API を使用している場合、このカウンタは msg:removeHeader API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。
msgRemoveHeaderValue	このカウンタは、スクリプトがメッセージから SIP ヘッダー値を削除します。スクリプトで msg:removeHeaderValue API を使用している場合、このカウンタは msg:removeHeaderValue API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。
msgSetRequestUri	このカウンタは、スクリプトがメッセージの要求 URI を変更した回数を表示します。スクリプトで msg:setRequestUri API を使用している場合、このカウンタは msg:setRequestUri API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。
msgSetResponseCode	このカウンタは、スクリプトがメッセージの応答コードや応答フレームを設定した回数を表示します。スクリプトで msg:setResponseCode API を使用している場合、このカウンタは msg:setResponseCode API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。
msgSetSdp	このカウンタは、スクリプトがメッセージの SDP を設定した回数を表示します。スクリプトで msg:setSdp API を使用している場合、このカウンタは msg:setSdp API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトロジックにエラーがないか調べてください。

表示名	説明
ptAddContentBody	このカウンタは、スクリプトが PassThrough (pt) オブジェクトにコンテンツを追加した回数を表示します。スクリプトで pt:addContentBody API を使用している場合、このカウンタは pt:addContentBody API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトログにエラーがないか調べてください。
ptAddHeader	このカウンタは、スクリプトが PassThrough (pt) オブジェクトに SIP-Header を追加した回数を表示します。スクリプトで pt:addHeader API を使用している場合、このカウンタは pt:addHeader API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトログにエラーがないか調べてください。
ptAddHeaderUriParameter	このカウンタは、スクリプトが PassThrough (pt) オブジェクトに SIP-Header URI パラメータを追加した回数を表示します。スクリプトで pt:addHeaderUriParameter API を使用している場合、このカウンタは pt:addHeaderUriParameter API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトログにエラーがないか調べてください。
ptAddHeaderValueParameter	このカウンタは、スクリプトが PassThrough (pt) オブジェクトに SIP-Header 値パラメータを追加した回数を表示します。スクリプトで pt:addHeaderValueParameter API を使用している場合、このカウンタは pt:addHeaderValueParameter API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトログにエラーがないか調べてください。
ptAddRequestUriParameter	このカウンタは、スクリプトが PassThrough (pt) オブジェクトに Request URI パラメータを追加した回数を表示します。スクリプトで pt:addRequestUriParameter API を使用している場合、このカウンタは pt:addRequestUriParameter API が正常に実行されるたびに増加します。カウンタが予想どおりに動作しない場合は、スクリプトログにエラーがないか調べてください。

表示名	説明
ScriptActive	<p>このカウンタは、スクリプトが現在アクティブになっている（トランクされている）かどうかを示します。カウンタに表示される値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0：スクリプトが閉じている（無効になっている）ことを示します。 • 1：スクリプトが開いていて実行可能な状態になっていることを示します。 <p>このトランクで実行されている必要があるスクリプトを開くには、実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スクリプトが開いていない理由を示している可能性があるアラートを確認します。 2. エラーをすべて修正します。 3. 必要に応じて新しいスクリプトをアップロードします。 4. トランクをリセットします。
ScriptClosed	<p>このカウンタは、Unified Communications Manager がスクリプトを閉じます。</p> <p>スクリプトが閉じている場合、このデバイスでスクリプトを使用して Unified CM は、次の基準の 1 台にスクリプトを閉じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デバイスが手動でリセットされた場合。 • デバイスが（エラーにより）自動的にリセットされた場合。 • デバイスが削除された場合。 <p>このカウンタは、スクリプトの設定が変更された後に SIP トランクされたとき、および Unified Communications Manager が再起動したときにリセットされます。</p>

表示名	説明
ScriptDisabledAutomatically	<p>このカウンタは、システムが自動的にスクリプトを無効にした回数です。スクリプトを無効にするかどうかは、Cisco Unified Communications Administrationにある[SIP 正規化スクリプト設定 (SIP Normalization Script Configuration)]ウィンドウの[スクリプト実行エラーの復旧処理 (Script Error Recovery Action)]フィールドと[システム リソース エラーの復旧 (System Resource Error Recovery Action)]フィールドに指定した値に設定されます。スクリプトは、ロード中および初期化中にスクリプトエラーが発生した場合にも無効になります。このカウンタは、スクリプトのロードに伴うデバイスの最新の手動リセットからのカウントを提供します（このリセットだけではカウントはリセットされません。リセットが発生後に、スクリプトが変更されている必要があります）。このカウンタは、Communications Managerがスクリプトエラーにより自動的にスクリプトを無効にするたびに増加します。</p> <p>このカウンタの数値が予想よりも高い場合は、次の操作を実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SIPNormalizationScriptError アラームと SIPNormalizationAutoReset アラームを調べます。 • RTMTのリソース関連のアラームとカウンタを調べて、リソースエラーが発生しているかどうかを判断します。 • SDI トレース ファイルに予期しない SIP 正規化イベントがあるかどうかを調べます。

表示名	説明
ScriptOpened	<p>このカウンタは、Unified Communications Manager がスクリプトを開く回数を表示します。スクリプトを開くには、Unified Communications Manager がメモリにスクリプトをロードし、初期化して、実行可能な状態にします。このカウンタの値が1より大きくなっている場合は、予期しない理由でスクリプトが閉じたことにより、Unified Communications Manager がこの SIP トランクのスクリプトを2回以上開こうとしたことを意味します。このエラーは、実行エラー、リソースエラー、あるいはスクリプトの構文により発生する場合があります。DeviceResetManually、DeviceResetAutomatically、または ScriptResetAutomatically のいずれかのカウンタが増加すると、このカウンタは1より大きくなります。DeviceResetManually カウンタは、予期されたイベント（SIP トランクのメンテナンス期間）でスクリプトが閉じたときに増加します。</p> <p>このカウンタの数値が予期しない理由で高くなっている場合は、次の操作を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SIPNormalizationScriptClosed、SIPNormalizationScriptError、SIPNormalizationResourceWarning などのアラームを調べます。 • RTMT のリソース関連のアラームとカウンタを調べて、リソース不足が発生しているかどうかを判断します。 • SDI トレース ファイルに予期しない SIP 正規化イベントがあるかどうかを調べます。 <p>このカウンタは、スクリプトの設定が変更された後に SIP トランクが再起動されたとき、および Unified Communications Manager が再起動されたときに増加します。</p>
ScriptResetAutomatically	<p>このカウンタは、システムが自動的にスクリプトをリセットした回数を表示します。スクリプトのリセットは、Cisco Unified Communications Manager の GUI にある [SIP 正規化スクリプト設定 (SIP Normalization Script Configuration)] ウィンドウの [スクリプト実行エラーの復旧処理 (Script Execution Error Recovery Action)] フィールドと [システムリソースエラーの復旧処理 (System Resource Error Recovery Action)] フィールドに指定した値に基づいて行われます。このカウンタは、デバイスの最後の手動リセットの後に実行されたスクリプトのリセットの回数を表示します。このカウンタは、Unified Communications Manager がスクリプトエラーにより自動的にスクリプトをリセットするたびに増加します。</p> <p>このカウンタの数値が予想よりも高い場合は、次の操作を実行してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • SIPNormalizationScriptError アラームを調べます。 • RTMT のリソース関連のアラームとカウンタを調べて、リソース不足が発生しているかどうかを判断します。 • SDI トレース ファイルに予期しない SIP 正規化イベントがあるかどうかを調べます。

Cisco SIP Stack

Cisco SIP Stack オブジェクトは、Session Initiation Protocol (SIP) デバイス (SIP プロキシ、SIP リダイレクトサーバ、SIP レジストラ、SIP ユーザエージェントなど) で生成または使用される SIP スタックの統計についての情報を提供します。次の表には、Cisco SIP Stack カウンタについての情報が含まれます。

表 52: Cisco SIP Stack

カウンタ	カウンタの説明
AckIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した ACK 要求の総数を表
AckOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した ACK 要求の総数を表
ByeIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した BYE 要求の総数を表し、この数には再送信が含まれます。
ByeOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した BYE 要求の総数を表し、この数には再送信が含まれます。
CancelIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した CANCEL 要求の総数を表し、この数には再送信が含まれます。
CancelOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した CANCEL 要求の総数を表し、この数には再送信が含まれます。
CCBsAllocated	このカウンタは、SIP スタックで現在使用中の呼制御ブロック (CCB) の総数を表します。アクティブな各 SIP ダイアログは、1つの CCB を使用します。
GlobalFailedClassIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した 6xx クラス SIP 応答の総数を表し、この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、クォータ機能を提供する SIP デバイスが失敗応答メッセージを受信したことを示します。一般に、こうした応答は、サーバが Request-URI の特定のインスタンスだけでなく、特定の着信側に関する明確な情報を保持していることを示します。
GlobalFailedClassOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した 6xx クラス SIP 応答の総数を表し、この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、クォータ機能を提供する SIP デバイスが失敗応答メッセージを受信したことを示します。一般に、こうした応答は、サーバが Request-URI の特定のインスタンスだけでなく、特定の着信側に関する明確な情報を保持していることを示します。
InfoClassIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した 1xx クラス SIP 応答の総数を表し、この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、SIP 行についての情報を提供します。

カウンタ	カウンタの説明
InfoClassOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した 1xx クラス SIP 応答の数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、処理の進行についての情報を提供します。
InfoIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した INFO 要求の総数。この数には再送信が含まれます。
InfoOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した INFO 要求の総数。この数には再送信が含まれます。
InviteIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した INVITE 要求の総数。この数には再送信が含まれます。
InviteOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した INVITE 要求の総数。この数には再送信が含まれます。
NotifyIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した NOTIFY 要求の総数。この数には再送信が含まれます。
NotifyOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した NOTIFY 要求の総数。この数には再送信が含まれます。
OptionsIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した OPTIONS 要求の総数。この数には再送信が含まれます。
OptionsOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した OPTIONS 要求の総数。この数には再送信が含まれます。
PRAckIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した PRACK 要求の総数。この数には再送信が含まれます。
PRAckOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した PRACK 要求の総数。この数には再送信が含まれます。
PublishIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した PUBLISH 要求の総数。この数には再送信が含まれます。
PublishOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した PUBLISH 要求の総数。この数には再送信が含まれます。
RedirClassIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した 3xx クラス SIP 応答の数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、達成可能なアドレスへのリダイレクションについての情報を提供します。
RedirClassOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した 3xx クラス SIP 応答の数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、達成可能なアドレスへのリダイレクションについての情報を提供します。

カウンタ	カウンタの説明
ReferIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した REFER 要求の総数を表す。この数には再送信が含まれます。
ReferOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した REFER 要求の総数を表す。この数には再送信が含まれます。
RegisterIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した REGISTER 要求の総数を表す。この数には再送信が含まれます。
RegisterOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した REGISTER 要求の総数を表す。この数には再送信が含まれます。
RequestsFailedClassIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した 4xx クラス SIP 応答の総数を表す。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、サービスを提供する SIP デバイスによる要求の失敗を示します。
RequestsFailedClassOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した 4xx クラス SIP 応答の総数を表す。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、サービスを提供する SIP デバイスによる要求の失敗を示します。
RetryByes	このカウンタは、SIP デバイスが送信した BYE 再試行の総数を表す。最初の BYE の試行回数を判別するには、sipStatsByeOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。
RetryCancels	このカウンタは、SIP デバイスが送信した CANCEL 再試行の総数を表す。最初の CANCEL の試行回数を判別するには、sipStatsCancelOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。
RetryInfo	このカウンタは、SIP デバイスが送信した INFO 再試行の総数を表す。最初の INFO の試行回数を判別するには、sipStatsInfoOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。
RetryInvites	このカウンタは、SIP デバイスが送信した INVITE 再試行の総数を表す。最初の INVITE の試行回数を判別するには、sipStatsInviteOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。
RetryNotify	このカウンタは、SIP デバイスが送信した NOTIFY 再試行の総数を表す。最初の NOTIFY の試行回数を判別するには、sipStatsNotifyOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。
RetryPRAck	このカウンタは、SIP デバイスが送信した PRACK 再試行の総数を表す。最初の PRACK の試行回数を判別するには、sipStatsPRAckOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。
RetryPublish	このカウンタは、SIP デバイスが送信した PUBLISH の再試行回数を表す。最初の PUBLISH の試行回数を判別するには、sipStatsPublishOuts カウンタの値からこのカウンタの値を減算します。

カウンタ	カウンタの説明
RetryRefer	このカウンタは、SIP デバイスが送信した REFER 再試行の総最初の REFER の試行回数を判別するには、sipStatsReferOuts からこのカウンタの値を減算します。
RetryRegisters	このカウンタは、SIP デバイスが送信した REGISTER 再試行です。最初の REGISTER の試行回数を判別するには、sipStatsRegisters からこのカウンタの値を減算します。
RetryRel1xx	このカウンタは、SIP デバイスが送信した Reliable 1xx の再試行を表します。
RetryRequestsOut	このカウンタは、SIP デバイスが送信した Request の再試行回数を表します。
RetryResponsesFinal	このカウンタは、SIP デバイスが送信した Final Response の再試行回数を表します。
RetryResponsesNonFinal	このカウンタは、SIP デバイスが送信した非 Final Response の再試行回数を表します。
RetrySubscribe	このカウンタは、SIP デバイスが送信した SUBSCRIBE 再試行回数を表します。最初の SUBSCRIBE の試行回数を判別するには、sipStatsSubscribes からこのカウンタの値を減算します。
RetryUpdate	このカウンタは、SIP デバイスが送信した UPDATE 再試行回数を表します。最初の UPDATE の試行回数を判別するには、sipStatsUpdates からこのカウンタの値を減算します。
SCBsAllocated	このカウンタは、SIP スタックで現在使用中の Subscription Context (SCB) の数を表します。各登録で 1 つの SCB を使用します。
ServerFailedClassIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した 5xx クラス SIP 応答回数を表します。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は機能を提供する SIP デバイスが失敗応答を受信したことを示します。
ServerFailedClassOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した 5xx クラス SIP 応答回数を表します。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は機能を提供する SIP デバイスが失敗応答を受信したことを示します。
SIPGenericCounter1	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの値を監視します。
SIPGenericCounter2	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは使用しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの値を監視します。

カウンタ	カウンタの説明
SIPGenericCounter3	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは、このカウンタの情報を表示しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を表示します。
SIPGenericCounter4	Cisco Engineering Special ビルドによる指示がない限り、このカウンタは、このカウンタの情報を表示しないでください。シスコは、診断の目的でこのカウンタの情報を表示します。
SIPHandlerSDLQueueSignalsPresent	このカウンタは、SIPHandler コンポーネントの 4 つの SDL プラケットキューに現在ある SDL 信号の数を表します。SIPHandler コンポーネントの SIP スタックが含まれます。
StatusCode1xxIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した 1xx 応答メッセージ (1xx) の総数を表します。このカウントには、次の 1xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 100 Trying • 180 Ringing • 181 Call is being forwarded • 182 Queued • 183 セッション中
StatusCode1xxOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した 1xx 応答メッセージ (1xx) の総数を表します。このカウントには、次の 1xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 100 Trying • 180 Ringing • 181 Call is being forwarded • 182 Queued • 183 セッション中
StatusCode2xxIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した 2xx 応答メッセージ (2xx) の総数を表します。このカウントには、次の 2xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 200 OK • 202 受理成功
StatusCode2xxOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した 2xx 応答メッセージ (2xx) の総数を表します。このカウントには、次の 2xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 200 OK • 202 受理成功

カウンタ	カウンタの説明
StatusCode3xxins	<p>このカウンタは、SIP デバイスが受信した 3xx 応答メッセージ（再送信を含む）の総数を表します。このカウントには、次の 3xx 応答が</p> <ul style="list-style-type: none">• 300 複数の選択肢• 301 Moved Permanently• 302 Moved Temporarily• 303 非互換の帯域幅ユニット• 305 Use Proxy• 380 Alternative Service
StatusCode302Outs	<p>このカウンタは、SIP デバイスが送信した 302（一時的に移動）（再送信を含む）の総数を表します。</p>

カウンタ	カウンタの説明
StatusCode4xxIns	<p>このカウンタは、SIP デバイスが受信した 4xx 応答メッセージ (含む) の総数を表します。このカウントには、次の 4xx 応答が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 400 Bad Request • 401 Unauthorized • 402 Payment Required • 403 Forbidden • 404 Not Found • 405 Method Not Allowed • 406 Not Acceptable • 407 Proxy Authentication Required • 408 Request Timeout • 409 Conflict • 410 Gone • 413 Request Entity Too Large • 414 Request-URI Too Long • 415 Unsupported Media Type • 416 Unsupported URI Scheme • 417 Unknown Resource Priority • 420 Bad Extension • 422 Session Expires Value Too Small • 423 Interval Too Brief • 480 Temporarily Unavailable • 481 Call/Transaction Does Not Exist • 482 Loop Detected • 483 Too Many Hops • 484 Address Incomplete • 485 Ambiguous • 486 Busy Here • 487 Request Terminated • 488 Not Acceptable Here • 489 Bad Subscription Event • 491 Request Pending

カウンタ	カウンタの説明
StatusCode4xxOuts	<p>このカウンタは、SIP デバイスが送信した 4xx 応答メッセージ(含む) の総数を表します。このカウントには、次の 4xx 応答が</p> <ul style="list-style-type: none"> • 400 Bad Request • 401 Unauthorized • 402 Payment Required • 403 Forbidden • 404 Not Found • 405 Method Not Allowed • 406 Not Acceptable • 407 Proxy Authentication Required • 408 Request Timeout • 409 Conflict • 410 Gone • 413 Request Entity Too Large • 414 Request-URI Too Long • 415 Unsupported Media Type • 416 Unsupported URI Scheme • 417 Unknown Resource Priority • 420 Bad Extension • 422 Session Expires Value Too Small • 423 Interval Too Brief • 480 Temporarily Unavailable • 481 Call/Transaction Does Not Exist • 482 Loop Detected • 483 Too Many Hops • 484 Address Incomplete • 485 Ambiguous • 486 Busy Here • 487 Request Terminated • 488 Not Acceptable Here • 489 Bad Subscription Event • 491 Request Pending
StatusCode5xxIns	<p>このカウンタは、SIP デバイスが受信した 5xx 応答メッセージ(含む) の総数を表します。このカウントには、次の 5xx 応答が</p> <ul style="list-style-type: none"> • 500 Server Internal Error • 501 Not Implemented • 502 Bad Gateway • 503 Service Unavailable • 504 Server Timeout • 505 Version Not Supported • 580 Precondition Failed

カウンタ	カウンタの説明
StatusCode5xxOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した 5xx 応答メッセージ (含む) の総数を表します。このカウントには、次の 5xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 500 Server Internal Error • 501 Not Implemented • 502 Bad Gateway • 503 Service Unavailable • 504 Server Timeout • 505 Version Not Supported • 580 Precondition Failed
StatusCode6xxIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した 6xx 応答メッセージ (含む) の総数を表します。このカウントには、次の 6xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 600 Busy Everywhere • 603 Decline • 604 Does Not Exist Anywhere • 606 Not Acceptable
StatusCode6xxOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した 6xx 応答メッセージ (含む) の総数を表します。このカウントには、次の 6xx 応答が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • 600 Busy Everywhere • 603 Decline • 604 Does Not Exist Anywhere • 606 Not Acceptable
SubscribeIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した SUBSCRIBE 要求の総数を表します。この数には再送信が含まれます。
SubscribeOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した SUBSCRIBE 要求の総数を表します。この数には再送信が含まれます。
SuccessClassIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した 2xx クラス SIP 応答の総数を表します。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、SIP 要求の正常な完了についての情報を提供します。
SuccessClassOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した 2xx クラス SIP 応答の総数を表します。この数には再送信が含まれます。このクラスの応答は、SIP 要求の正常な完了についての情報を提供します。
SummaryRequestsIn	このカウンタは、SIP デバイスが受信した SIP 要求メッセージの総数を表します。この数には再送信が含まれます。

カウンタ	カウンタの説明
SummaryRequestsOut	このカウンタは、デバイスが送信した SIP 要求メッセージの総数。この数には、このデバイスから発信するメッセージと、このメッセージをリレーするメッセージが含まれます。特定のメッセージが複数回送信され、再送信として、または分岐（転送）の結果として再送信されたメッセージなどのそれぞれの送信は、別々にカウントされます。
SummaryResponsesIn	このカウンタは、SIP デバイスが受信した SIP 応答メッセージの総数。この数には再送信が含まれます。
SummaryResponsesOut	このカウンタは、SIP デバイスが送信（発信およびリレー）した SIP 応答メッセージの総数を表します。この数には再送信が含まれます。
UpdateIns	このカウンタは、SIP デバイスが受信した UPDATE 要求の総数。この数には再送信が含まれます。
UpdateOuts	このカウンタは、SIP デバイスが送信した UPDATE 要求の総数。この数には再送信が含まれます。

Cisco SIP Station

Cisco SIP Station オブジェクトは、SIP 回線側デバイスについての情報を提供します。次の表に、Cisco SIP Station カウンタに関する情報を示します。

表 53 : Cisco SIP Station

カウンタ	カウンタの説明
ConfigMismatchesPersistent	このカウンタは、Unified Communications Manager の最後の再起動以降、TFTP サーバと Unified Communications Manager との設定バージョンが一致しないことが原因で、SIP を実行している電話機を永続的に登録できなかった回数。このカウンタは、Unified Communications Manager が再起動され、手動操作（設定の更新やデバイスのリセットなど）が行われるたびに増加します。
ConfigMismatchesTemporary	このカウンタは、CallManager サービスの最後の再起動以降、Cisco Unified Communications Manager との設定バージョンが一致しないことが原因で、SIP を実行している電話機を一時的に登録できなかった回数。このカウンタは、Unified Communications Manager が自動的に再起動されるたびに増加します。
DBTimeouts	このカウンタは、システムがデータベースからデバイス設定を読み取っている間に、タイムアウトが発生したために失敗した新規登録の回数。

カウンタ	カウンタの説明
NewRegAccepted	このカウンタは、Cisco CallManager サービスの最後の再起動以降 NewRegistration キューから削除されて処理された新しい REGISTRATION 要求の総数を表します。
NewRegQueueSize	このカウンタは、現在 NewRegistration キューにある REGISTRATION 要求の数を表示します。デバイスから受信され、現在このキューに登録された REGISTRATION 要求は、処理される前にこのキューに配置されます。
NewRegRejected	このカウンタは、Cisco CallManager サービスの最後の再起動以降（これは通話中）応答によって拒否され、NewRegistration キューに置かれた新しい REGISTRATION 要求の総数を表します。NewRegistration がプログラムされたサイズを超えると、REGISTRATION 要求は拒否されます。
TokensAccepted	このカウンタは、Unified Communications Manager の最後の再起動以降 されたトークン要求の総数を表します。Unified Communications Manager 未処理のトークンの数が Cisco CallManager の Maximum Phone Failure Depth サービス パラメータに指定された数を下回る限り、トークンが許可されます。
TokensOutstanding	このカウンタは、トークンが許可されていても、まだ登録されていないトークンの数を表します。登録する前に、より優先順位の高い Unified Communications Manager サーバに再接続しているデバイスに対して トークンを許可する必要があります。トークンは、Unified Communications Manager が、フェールオーバー後にオンラインに戻ったときに、登録要求が 負荷にならないように保護します。
TokensRejected	このカウンタは、Unified Communications Manager の最後の再起動以降 されたトークン要求の総数を表します。Unified Communications Manager 未処理のトークンの数が Cisco CallManager の Maximum Phone Failure Depth サービス パラメータに指定された数を超えた場合に、トークンが拒否されます。

Cisco SW Conf Bridge Device

Cisco SW Conference Bridge Device オブジェクトは、登録済みの Cisco ソフトウェア会議ブリッジデバイスについての情報を提供します。次の表には、Cisco ソフトウェア会議ブリッジデバイスのカウンタについての情報が含まれます。

表 54 : Cisco SW Conf Bridge Device

カウンタ	カウンタの説明
OutOfResources	このカウンタは、ソフトウェア会議デバイスから会議リソースを試行して、すべてのリソースがすでに使用中であったために合計を表します。
ResourceActive	このカウンタは、ソフトウェア会議デバイスで現在使用中の（な）リソースの数を表します。1つのリソースは1つのストリームを表します。
ResourceAvailable	このカウンタは、非アクティブで、ソフトウェア会議デバイスで利用可能なリソースの総数を表します。1つのリソースは1つのストリームを表します。
ResourceTotal	このカウンタは、ソフトウェア会議デバイスが提供する会議リソースの総数を表します。1つのリソースは1つのストリームを表します。このカウンタは、ResourceAvailable カウンタと ResourceActive カウンタを合計します。
SWConferenceActive	このカウンタは、ソフトウェア会議デバイス上で現在アクティブな（な）ソフトウェアベースの会議の数を表します。
SWConferenceCompleted	このカウンタは、ソフトウェア会議デバイス上に割り当てられた会議の総数を表します。会議は、最初のコールがブリッジに接続されたときに開始します。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除されたときに完了します。

Cisco Telepresence MCU Conference Bridge Device

Cisco Telepresence MCU Conference Bridge Device オブジェクトは、登録された MCU 会議ブリッジデバイスについての情報を提供します。次の表に、Cisco Telepresence MCU Conference Bridge Device カウンタに関する情報を示します。

表 55 : Cisco Telepresence MCU Conference Bridge Device

カウンタ	カウンタの説明
ConferencesActive	このカウンタは、Unified Communications Manager に登録された Cisco Telepresence MCU 会議ブリッジデバイス上のアクティブな会議の数を表します。
ConferencesCompleted	このカウンタは、Unified Communications Manager から割り当てられた Cisco Telepresence MCU 会議ブリッジを使用し、完了した（つまり、コールが割り当てられ、解放された）会議の総数を表します。会議は、最初のコールがブリッジに接続されたときにアクティブになります。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除されたときに完了します。

カウンタ	カウンタの説明
HttpConnectionErrors	このカウンタは、Unified Communications Manager が、Cisco Telepresence MCU 会議ブリッジデバイスへの HTTP 接続を作成しようとした際に、Cisco Telepresence MCU 会議ブリッジ側の接続エラーが原因で失敗した回数を表示します。
HttpNon200OKResponse	このカウンタは、送信された HTTP クエリーに対して、Unified Communications Manager が Cisco Telepresence MCU 会議ブリッジから [200 OK HTTP] 応答を受信した回数の合計を表示します。
OutOfResources	このカウンタは、Unified Communications Manager が Cisco Telepresence MCU 会議ブリッジデバイスから会議リソースを割り当てようとした際に失敗した回数を表示します。たとえば、他のすべてのリソースが使われている場合、会議リソースの割り当ては失敗します。

Cisco TFTP Server

Cisco トリビアルファイル転送プロトコル (TFTP) Server オブジェクトは、Cisco TFTP サーバについての情報を提供します。次の表に、Cisco TFTP サーバのカウンタに関する情報を示します。

表 56 : Cisco TFTP Server

カウンタ	カウンタの説明
BuildAbortCount	このカウンタは、Build all 要求を受信したときに、構築プロセスが中止された回数を表示します。このカウンタは、グループレベル変更通知の処理中に、デバイス/ユニット/ソフトキー/ダイヤル規則の構築が中断された回数が増加します。
BuildCount	このカウンタは、TFTP サービスの開始以降に、TFTP サーバが、デバイスに影響するデータベース変更通知に対応してすべての設定を構築した回数を表示します。このカウンタは、TFTP サーバがすべての設定ファイルを新しく構築するたびに 1 つずつ増加します。
BuildDeviceCount	このカウンタは、すべての設定ファイルの最後の構築時に処理されたデバイスの数を表示します。このカウンタは、デバイス変更通知の処理中に増加します。このカウンタは、新しいデバイスが追加されたときに増加し、削除されたデバイスが削除されたときに減少します。
BuildDialruleCount	このカウンタは、設定ファイルの最後の構築時に処理されたダイヤル規則の数を表示します。このカウンタは、ダイヤル規則変更通知の処理中に増加します。このカウンタは、新しいダイヤル規則が追加されたときに増加し、既存のダイヤル規則が削除されたときに減少します。

カウンタ	カウンタの説明
BuildDuration	このカウンタは、設定ファイルの最後の構築時に要した時間を表します。
BuildSignCount	このカウンタは、セキュリティが有効な電話デバイスの数を表します。電話デバイスの設定ファイルは、全設定ファイルの最後の構築時に、Communications Manager サーバ キーでデジタル署名されています。このカウンタは、セキュリティが有効な電話デバイス変更通知の処理を表します。
BuildSoftKeyCount	このカウンタは、設定ファイルの最後の構築時に処理されたソフトキーを表します。このカウンタは、新しいソフトキーが追加され、既存のソフトキーが削除されたときに減少します。
BuildUnitCount	このカウンタは、すべての設定ファイルの最後の構築時に処理されたゲートウェイの数を表します。このカウンタは、ユニット変更通知が処理され、新しいゲートウェイが追加され、既存のゲートウェイが削除されたときに減少します。
ChangeNotifications	このカウンタは、TFTP サーバが受信したすべての Unified Communications Manager データベース変更通知の総数を表します。Unified Communications Manager でデバイス設定が更新されるたびに、TFTP サーバに更新通知が送信され、更新されたデバイス用の XML ファイルを作成します。
DeviceChangeNotifications	このカウンタは、TFTP サーバがデータベース変更通知を受信したデバイスの設定ファイルの作成、更新、削除を行った回数を表します。
DialruleChangeNotifications	このカウンタは、TFTP サーバがデータベース変更通知を受信したダイヤル規則の設定ファイルの作成、更新、削除を行った回数を表します。
EncryptCount	このカウンタは、暗号化された設定ファイルの数を表します。このカウンタは、設定ファイルが正常に暗号化されるたびに更新されます。
GKFoundCount	このカウンタは、キャッシュ内で検出された GK ファイルの数を表します。このカウンタは、キャッシュ内で GK ファイルが検出されるときに増加します。
GKNotFoundCount	このカウンタは、キャッシュ内で検出されなかった GK ファイルの数を表します。このカウンタは、GK ファイル取得要求に対して、キャッシュで見つからないことを示す結果が出るたびに更新されます。
HeartBeat	このカウンタは、TFTP サーバのハートビートを表します。このカウンタは、増加している場合は、TFTP サーバが稼働中であることを示し、減少している場合は、TFTP サーバがダウンしていることを示します。
HttpConnectRequests	このカウンタは、現在 HTTP GET ファイル要求を行っている数を表します。

カウンタ	カウンタの説明
HttpRequests	このカウンタは、HTTP サーバが処理したファイル要求 (XML 言語ファイル、電話機ファームウェア ファイル、オーディオ ファイルなど) の総数を表します。このカウンタは、HTTP サービス開始以来の RequestsProcessed、RequestsNotFound、RequestsOverflow、RequestsInProgress の各カウンタを合計した数になります。
HttpRequestsAborted	このカウンタは、HTTP サーバが予期せずに取り消した (中断した) 要求の総数を表します。(装置の電源が入っていないなどの理由で) デバイスに到達できない場合、またはネットワーク接続の問題により、ファイル転送が中断された場合は、要求が中断される可能性があります。
HttpRequestsNotFound	このカウンタは、要求されたファイルが検出されなかった場合の要求の総数を表します。HTTP サーバが要求されたファイルを検出できなかった場合、メッセージが要求側デバイスに送信されます。
HttpRequestsOverflow	このカウンタは、許容されるクライアント接続が最大数に達したときに発生した HTTP 要求の総数を表します。TFTP サーバが設定ファイルに要求を受信したか、他のリソース制限による拒否の可能性が低い場合、Cisco TFTP 拡張サービス パラメータの Maximum Serving Count は、同時に処理できる接続の最大数を設定します。
HttpRequestsProcessed	このカウンタは、HTTP サーバが正常に処理した HTTP 要求の総数を表します。
HttpServedFromDisk	このカウンタは、ディスク上に存在し、メモリにキャッシュされたファイルに関して HTTP サーバが完了した要求の数を表します。
LDFoundCount	このカウンタは、キャッシュ内で検出された LD ファイルの数を表します。このカウンタは、キャッシュメモリ内で LD ファイルが検出されたときに更新されます。
LDNotFoundCount	このカウンタは、キャッシュメモリ内で検出されなかった LD ファイルの数を表します。このカウンタは、LD ファイル取得要求に対して、キャッシュメモリ内でファイルが見つからないことを示す結果が出るたびに更新されます。
MaxServingCount	このカウンタは、TFTP で同時に処理できるクライアント接続の最大数を表します。Cisco TFTP 拡張サービス パラメータの Maximum Serving Count は、この値を設定します。
リクエスト	このカウンタは、TFTP サーバが処理するファイル要求 (XML 言語ファイル、電話機ファームウェア ファイル、オーディオ ファイルなど) の総数を表します。このカウンタは、TFTP サービス開始以来の RequestsProcessed、RequestsNotFound、RequestsOverflow、RequestsInProgress の各カウンタを合計した数になります。

カウンタ	カウンタの説明
SEPFFoundCount	このカウンタは、キャッシュ内で正常に検出された SEP ファイルの数を表します。このカウンタは、キャッシュ内で SEP ファイルが検出されたときに更新されます。
SEPNotFoundCount	このカウンタは、キャッシュ内で検出されなかった SEP ファイルの数を表します。このカウンタは、SEP ファイル取得要求に対して、キャッシュ内でファイルが検出されないことを示す結果が出るたびに更新されます。
SIPFoundCount	このカウンタは、キャッシュ内で正常に検出された SIP ファイルの数を表します。このカウンタは、キャッシュ内で SIP ファイルが検出されたときに更新されます。
SIPNotFoundCount	このカウンタは、キャッシュ内で検出されなかった SIP ファイルの数を表します。このカウンタは、SIP ファイル取得要求に対して、キャッシュ内でファイルが検出されないことを示す結果が出るたびに更新されます。
SoftkeyChangeNotifications	このカウンタは、TFTP サーバがデータベース変更通知を受信し、キーの設定ファイルの作成、更新、削除を行った回数を表します。
UnitChangeNotifications	このカウンタは、TFTP サーバがデータベース変更通知を受信し、ウェイト関連の設定ファイルの作成、更新、削除を行った回数を表します。

Cisco Transcode Device

Cisco Transcode Device オブジェクトは、登録済みの Cisco トランスコーディングデバイスについての情報を提供します。次の表には、Cisco トランスコーダ デバイスのカウンタについての情報が含まれます。

表 57: Cisco Transcode Device

カウンタ	カウンタの説明
OutOfResources	このカウンタは、トランスコーダ デバイスからトランスコーダ リソースの割り当てを試行して、すべてのリソースがすでに使用中である場合に失敗した回数の合計を表します。
ResourceActive	このカウンタは、トランスコーダデバイスに対して現在使用中の（アクティブな）トランスコーダ リソースの数を表します。 各トランスコーダ リソースは、2つのストリームを使用します。
ResourceAvailable	このカウンタは、非アクティブで、トランスコーダデバイスで利用可能なリソースの総数を表します。 各トランスコーダ リソースは、2つのストリームを使用します。

カウンタ	カウンタの説明
ResourceTotal	このカウンタは、トランスコーダデバイスが提供したトランスの総数を表します。ResourceActive カウンタと ResourceAvailable の合計数と等しい数になります。

Cisco Video Conference Bridge

Cisco Video Conference Bridge オブジェクトは、登録済みの Cisco ビデオ会議ブリッジデバイスについての情報を提供します。次の表に、Cisco Video Conference Bridge Device カウンタに関する情報を示します。

表 58 : Cisco Video Conference Bridge

カウンタ	カウンタの説明
ConferencesActive	このカウンタは、ビデオ会議ブリッジデバイス上で現在アクティブなビデオ会議の総数を表します。システムでは、最初に接続されたときに会議がアクティブになるよう指定され
ConferencesAvailable	このカウンタは、非アクティブで、ビデオ会議デバイス上でビデオ会議の数を表します。
ConferencesCompleted	このカウンタは、ビデオ会議デバイス上に割り当てられ、開始された会議の総数を表します。会議は、最初のコールがブリッジに接続されると開始します。会議は、最後のコールがブリッジから接続解除完了します。
ConferencesTotal	このカウンタは、ビデオ会議デバイスに対して設定されている総数を表します。
OutOfConferences	このカウンタは、ビデオ会議デバイスからビデオ会議の開始が拒否されているアクティブな会議の最大数 (TotalConferences カウンタをデバイスがすでに使用しているために失敗した回数) の合計
OutOfResources	このカウンタは、ビデオ会議デバイスから会議リソースの割当て、すべてのリソースがすでに使用中であるなどの理由で失敗した回数
ResourceActive	このカウンタは、ビデオ会議ブリッジデバイス上で現在アクティブなリソースの総数を表します。参加者 1 名につき、1 つのリソースが使
ResourceAvailable	このカウンタは、非アクティブで、ビデオ会議ブリッジデバイス上で参加者を処理するデバイスでまだ使用可能なリソースの総数
ResourceTotal	このカウンタは、ビデオ会議ブリッジデバイス上に設定されている総数を表します。参加者 1 名につき、1 つのリソースが使

Cisco Web Dialer

Cisco WebDialer オブジェクトは、Cisco Web Dialer アプリケーションと Redirector Servlet に関する情報を提供します。次の表に、CiscoWebDialer カウンタについての情報を示します。

表 59: Cisco Web Dialer

カウンタ	カウンタの説明
CallsCompleted	このカウンタは、Cisco Web Dialer アプリケーションが正常に完了した Call 要求と End Call 要求の数を表します。
CallsFailed	このカウンタは、失敗した Make Call 要求と End Call 要求の数を表します。
RedirectorSessionsHandled	このカウンタは、サービスを最後に開始してから Redirector Servlet が処理した HTTP セッションの総数を表します。
RedirectorSessionsInProgress	このカウンタは、現在 Redirector Servlet によって処理されている HTTP セッションの数を表します。
RequestsCompleted	このカウンタは、WebDialer Servlet が正常に完了した Make Call 要求と End Call 要求の数を表します。
RequestsFailed	このカウンタは、失敗した Make Call 要求と End Call 要求の数を表します。
SessionsHandled	このカウンタは、サービスを最後に開始してから Cisco Web Dialer が処理した CTI セッションの総数を表します。
SessionsInProgress	このカウンタは、Cisco Web Dialer Servlet が現在処理している CTI セッションの数を表します。

Cisco WSM Connector

WSM オブジェクトは、Unified Communications Manager に設定されている WSMConnectors の情報を提供します。各 WSMConnector は、物理的な Motorola WSM デバイスを表します。次の表に、CiscoWSM Connector カウンタに関する情報を示します。

表 60: Cisco WSM Connector

カウンタ	カウンタの説明
CallsActive	このカウンタは、WSMConnector デバイス上で現在アクティブなコールの数を表します。
CallsAttempted	このカウンタは、WSMConnector デバイス上で試行されたコールの数を表します。成功したコールの試行と失敗したコールの試行の両方が含まれます。

カウンタ	カウンタの説明
CallsCompleted	このカウンタは、WSMConnector デバイスを介して接続された（確立された）コールの数を表します。このカウンタは、コールに増加します。
CallsInProgress	このカウンタは、WSMConnector デバイス上で現在進行中のコールの数を表します。この数にはすべてのアクティブコールが含まれます。この数が CallsActive の数と等しい場合は、すべてのコールが接続を示します。
DMMSRegistered	このカウンタは、WSM に登録された DMMS 加入者の数を表します。

IME Client

IME Client オブジェクトは、Unified Communications Manager サーバ上の Cisco IME クライアントに関する情報を提供します。次の表に、Cisco IME Client カウンタに関する情報を示します。

表 61 : Cisco IME Client

カウンタ	カウンタの説明
CallsAccepted	このカウンタは、Unified Communications Manager が正常に受けた結果 IP コールが確立した Cisco IME コールの数を表します。
CallsAttempted	このカウンタは、Unified Communications Manager が Cisco IME に送信したコールの数を表します。この数には、受け入れられたコール、およびビジー、未応答のコールが含まれます。このカウンタは Cisco IME を通じてコールに増加します。
CallsReceived	このカウンタは、Unified Communications Manager が Cisco IME から受信したコールの数を表します。この数には、受け入れられたコール、およびビジー、未応答のコールが含まれます。このカウンタはコールが開始したときに増加します。
CallsSetup	このカウンタは、Unified Communications Manager が正常に発信した結果 IP コールが確立した Cisco IME コールの数を表します。
DomainsUnique	このカウンタは、Cisco IME クライアントによって検出された Cisco IME プライズの固有ドメイン名の数を表します。このカウンタは Cisco IME の使用状況を示すインジケータの役割を果たします。
FallbackCallsFailed	このカウンタは、失敗したフォールバックの試行の合計数を表します。

カウンタ	カウンタの説明
FallbackCallsSuccessful	このカウンタは、品質の問題により PSTN ミッドコールにフォールした Cisco IME コール の合計数を表します。このカウンタには、Unified Communications Manager が開始したコールと受信したコールが含まれます。
IMESetupsFailed	このカウンタは、Cisco IME ルートを使用できたにもかかわらずワーク経由でターゲットに接続できなかったために、PSTN を介して行われたコールの試行の合計数を表します。
RoutesLearned	このカウンタは、Cisco IME によって認識され、Unified Communications Manager のルーティングテーブルでルートとして提示される個々の電話番号を表します。この数が大きくなりすぎると、サーバがクラスター別で追加され、クラスタにサーバを追加する必要が生じる場合があります。
RoutesPublished	このカウンタは、すべての Cisco IME クライアントインスタンスがキャッシュに正常にパブリッシュされた DID の合計数を表します。このカウンタは、定期的に動的に測定を行うことで、自分でプロビジョニングした番号がネットワークで DID の格納が正常に実施された比率を把握することができます。
RoutesRejected	このカウンタは、管理者が特定の番号またはドメインを制限したために拒否された認識済みルート の数を表します。このカウンタは、検証のために今後 VoIP コールが発生しない状況の数を示しています。
VCRUploadRequests	このカウンタは、Unified Communications Manager が IME 分散キーマトリックスの格納のために Cisco IME サーバに送信した音声コール レコーディングアップロード要求の数を表します。

IME Client Instance

IME Client Instance オブジェクトは、Unified Communications Manager サーバ上の Cisco IME クライアントインスタンスに関する情報を示します。次の表に、Cisco IME Client Instance カウンタに関する情報を示します。

表 62: IME Client

カウンタ	カウンタの説明
IMEServiceStatus	<p>このカウンタは、特定の Cisco IME クライアント インスタンス (Cisco Unified Communications Manager) の Cisco IME サービスに対する接続の健全性を表します。カウンタに表示される可能性がある値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0: 不明な状態であることを示します (Cisco IME サービスが正常に稼働していることを意味している場合があります)。 <p>この値が 0 の場合、接続が不明な状態になっている間、アラートが生成されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 1: 健全な状態であることを、つまり、Cisco IME サービスで、Unified Communications Manager が Cisco IME クライアント インスタンスのプライマリおよびバックアップサーバ (設定された) の接続を正常に確立していることを示します。 • 2: 不健全な状態であることを、つまり、Cisco IME サービスが正常に稼働しているにもかかわらず、Unified Communications Manager が Cisco IME クライアント インスタンスのプライマリおよびバックアップサーバ (設定された) への接続を正常に確立していないことを示します。

SAML シングル サインオン

次の表に、SAML シングル サインオン カウンタに関する情報が掲載されています。

表 63: SAML シングル サインオン カウンタ

カウンタ	カウンタの説明
SAML_REQUESTS	このカウンタは、設定済みの ID プロバイダーに送信される SAML 要求の総数を表します。
SAML_RESPONSES	このカウンタは、設定済みの ID プロバイダーから受信した SAML 応答の総数を表します。

さらに、次の SAML SSO カウンタは、Unified RTMT に表示されますが、Unified Communications Manager 10.0(1) で機能しません。

- OAUTH_TOKENS_ISSUED
- OAUTH_TOKENS_ACTIVE
- OAUTH_TOKENS_VALIDATED
- OAUTH_TOKENS_EXPIRED
- OAUTH_TOKENS_REVOKED

IM and Presence Service カウンタ

Cisco Client Profile Agent

このオブジェクトは Cisco Client Profile (SOAP) インターフェイスに関する情報を提供します。次の表に、クライアントプロファイルエージェントのカウンタについての情報が含まれます。

表 64: Cisco Client Profile Agent カウンタ

カウンタ	カウンタの説明
SoapCrossClusterRedirect	このカウンタは、Cisco UP SOAP インターフェイスでログイン要求の数を表します。
SoapLoginFailures	このカウンタは、Cisco UP SOAP インターフェイスでログイン失敗の数を表します。
SoapNodeRedirect	このカウンタは、Cisco UP SOAP インターフェイスでノードリダイレクト要求の数を表します。

Cisco Presence Engine

Cisco Presence Engine オブジェクトは、Presence Engine で送受信される SIP メッセージに関する情報を提供します。

次の表に、Cisco Presence Engine のパフォーマンスのカウンタについての情報が含まれます。

表 65: Cisco Presence Engine カウンタ

カウンタ	カウンタの説明
登録	
SubscribesReceived	このカウンタは、Presence Engine で受信された SUBSCRIBE メッセージの数を表します。
SubscribesSent	このカウンタは、Presence Engine から送信された SUBSCRIBE メッセージの数を表します。
SubscribesReceivedPresence	このカウンタは、イベントタイプ presence を使用して受信された SUBSCRIBE メッセージの数を表します。
SubscribesReceivedProfileConfig	このカウンタは、イベントタイプ profileconfig を使用して受信された SUBSCRIBE メッセージの数を表します。
SubscribesInitial	このカウンタは、受信された初回 SUBSCRIBE メッセージの数を表します。
SubscribesRefresh	このカウンタは、受信された更新 SUBSCRIBE メッセージの数を表します。

カウンタ	カウンタの説明
SubscribesFetch	このカウンタは、受信された取得 SUBSCRIBE メッセージの数です。
SubscribesRemove	このカウンタは、受信された削除 SUBSCRIBE メッセージの数です。
ActiveSubscriptions	このカウンタは、現在アクティブなサブスクリプションの数です。
SubscribesRedirect3xx	このカウンタは、3xx 応答によってリダイレクトされた SUBSCRIBE メッセージの数です。
SubscribesRejected4xx	このカウンタは、4xx 応答によって拒否された SUBSCRIBE メッセージの数です。
SubscribesRejected5xx	このカウンタは、5xx 応答によって拒否された SUBSCRIBE メッセージの数です。
SubscribesRejected6xx	このカウンタは、6xx 応答によって拒否された SUBSCRIBE メッセージの数です。
SubscribesRejectedWith503	このカウンタは、503 応答によって拒否された SUBSCRIBE メッセージの数です。
SubscriptionActiveSentForeign	このカウンタは、Presence Engine から外部ドメインへ送信されたアクティブなサブスクリプションの数です。
SubscriptionActiveReceivedFrom Foreign	このカウンタは、Presence Engine が外部ドメインから受信したアクティブなサブスクリプションの数です。
WatcherInfoPresenceSubscriptions	このカウンタは、ウォッチャ情報プレゼンス サブスクリプションの数です。
カレンダー	
ActiveCalendarSubscriptions	このカウンタは、現在アクティブなカレンダー サブスクリプションの数です。
SubscribesSentCalendarInitial	このカウンタは、Presence Engine からカレンダー サーバに送信された初期メッセージの数です。
SubscribesSentCalendarRefresh	このカウンタは、Presence Engine からカレンダー サーバに送信されたリフレッシュメッセージの数です。
SubscribesSentCalendarRetry	このカウンタは、Presence Engine からカレンダー サーバに送信されたリトライメッセージの数です。
SubscribesReceivedCalendar	このカウンタは、イベントタイプ calendar を使用して受信されたメッセージの数です。
NotifiesReceivedCalendar	このカウンタは、イベントタイプ calendar を使用して受信された通知の数です。
NotifiesSentCalendar	このカウンタは、イベントタイプ calendar を使用して送信された通知の数です。
MeetingsStarted	このカウンタは、カレンダーの統合によって開始された会議の数です。
MeetingsEnded	このカウンタは、カレンダーの統合によって終了した会議の数です。

カウンタ	カウンタの説明
パブリッシュ	
PublicationsProcessed	このカウンタは、Presence Engine で正常に処理されたパブリッシュメッセージの数です。
PublishInitial	このカウンタは、受信された初回 PUBLISH メッセージの数です。
PublishRefresh	このカウンタは、受信された更新 PUBLISH メッセージの数です。
PublishModify	このカウンタは、受信された変更 PUBLISH メッセージの数です。
PublishRemove	このカウンタは、受信された削除 PUBLISH メッセージの数です。
通知	
NotificationsInQueue	このカウンタは、Presence Engine によってキューイングされた通知の数です。
NotifiesSent	このカウンタは、Presence Engine から正常に送信された通知の数です。
NotifiesReceived	このカウンタは、Presence Engine がバックエンドサブスクリプションに送信された通知の数を表示します。
NotifiesSentPresence	このカウンタは、イベントタイプ presence を使用して Presence Engine から送信された通知の数を表示します。
NotifiesSentProfileConfig	このカウンタは、イベントタイプ profileconfig を使用して Presence Engine から送信された通知の数を表示します。
NotifiesRetried	このカウンタは、送信が再試行された NOTIFY メッセージの数です。
NotifiesTimeouts	このカウンタは、タイムアウトした NOTIFY メッセージの数です。
NotifiesRejected3xx	このカウンタは、3xx 応答によって拒否された NOTIFY メッセージの数です。
NotifiesRejected4xx	このカウンタは、4xx 応答によって拒否された NOTIFY メッセージの数です。
NotifiesRejected5xx	このカウンタは、5xx 応答によって拒否された NOTIFY メッセージの数です。
NotifiesRejected503	このカウンタは、503 応答によって拒否された NOTIFY メッセージの数です。
NotifiesRejected6xx	このカウンタは、6xx 応答によって拒否された NOTIFY メッセージの数です。
WatcherInfoPresenceNotifications	このカウンタは、ウォッチャ情報プレゼンス通知の数を表します。
WatcherInfoPresenceSubscriptions	このカウンタは、ウォッチャ情報プレゼンスサブスクリプションの数を表します。
HighWaterMark	
HighWaterMark	このカウンタは、負荷が上限値に達した回数を表示します。

カウンタ	カウンタの説明
アクティブ ビュー	
ActiveViews	このカウンタは、Presence Engine のアクティブ ビュー
アクティブ リソース	
ActiveResources	このカウンタは、Presence Engine のアクティブ リソ
JSM	
ActiveJsmSessions	このカウンタは、Presence Engine と JSM 間のクライ
XMPP	
XMPPPresenceReceived	このカウンタは、受信された XMPP プレゼンス パケ
XMPPPresenceFiltered	このカウンタは、受信されたフィルタリング済み XM
XMPPPresenceNotificationsSent	このカウンタは、構成されたプレゼンスの更新が JSM
XMPPIMReceived	このカウンタは、Presence Engine で受信された XMPP
XMPPIMSent	このカウンタは、Presence Engine から送信された XM
XMPPIMTcInviteErrors	このカウンタは、Presence Engine によって拒否され
XMPPIMResourceNotFoundErrors	このカウンタは、未登録の SIP リソースに関する XM
XMPPIMIgnored	このカウンタは、Presence Engine によってドロップさ
XMPPIMGoneGenerated	このカウンタは、プレゼンス イベントで RFI に送信
RFIErrors	このカウンタは、XMPP メッセージを RFI レイヤに送
RFIMessageQueueSize	このカウンタは、RFI が一時停止しているためキュー
SIP	
SIPIMReceived	このカウンタは、Presence Engine で受信された SIP イ
SIPIMSent	このカウンタは、Presence Engine から送信された SIP
SIPIMGoneGenerated	このカウンタは、プレゼンス イベントでプロキシに
SIPIMRetry	このカウンタは、プロキシに再送された SIP インスタ
SIPIMTimeout	このカウンタは、プロキシへの送信時にタイムアウト

カウンタ	カウンタの説明
SIPIMReject3xx	このカウンタは、プロキシへの SIP インスタントメッセージを拒否したことを示します。
SIPIMReject4xx	このカウンタは、プロキシへの SIP インスタントメッセージを拒否したことを示します。
SIPIMReject5xx	このカウンタは、プロキシへの SIP インスタントメッセージを拒否したことを示します。
SIPIMReject6xx	このカウンタは、プロキシへの SIP インスタントメッセージを拒否したことを示します。
ActiveIMSessions	このカウンタは、SIP と XMPP 間のアクティブなインスタントメッセージセッションの数を示します。
Roster Sync	
RosterSyncAddBuddySuccess	このカウンタは、Roster Sync Agent で正常に処理された Buddy を追加したことを示します。
RosterSyncAddBuddyFailure	このカウンタは、Roster Sync Agent での Buddy を追加する処理に失敗したことを示します。
RosterSyncUpdateBuddySuccess	このカウンタは、Roster Sync Agent で正常に処理された Buddy を更新したことを示します。
RosterSyncUpdateBuddyFailure	このカウンタは、Roster Sync Agent での Buddy を更新する処理に失敗したことを示します。
RosterSyncDeleteBuddySuccess	このカウンタは、Roster Sync Agent で正常に処理された Buddy を削除したことを示します。
RosterSyncDeleteBuddyFailure	このカウンタは、Roster Sync Agent での Buddy を削除する処理に失敗したことを示します。
RosterSyncSubscribeSuccess	このカウンタは、Roster Sync Agent で正常に処理された Buddy を購読したことを示します。
RosterSyncSubscribeFailure	このカウンタは、Roster Sync Agent での Buddy を購読する処理に失敗したことを示します。
RosterSyncUnSubscribeSuccess	このカウンタは、Roster Sync Agent で正常に処理された Buddy を購読解除したことを示します。
RosterSyncUnSubscribeFailure	このカウンタは、Roster Sync Agent での Buddy を購読解除する処理に失敗したことを示します。
PolicyUpdateSent	このカウンタは、XCP に送信されたプライバシーポリシー更新の数を示します。
PolicyUpdateReceived	このカウンタは、XCP から受信したプライバシーポリシー更新の数を示します。
RosterSyncUnSubscribedSuccess	このカウンタは、Roster Sync Agent で正常に処理された Buddy を購読解除したことを示します。
RosterSyncUnSubscribedFailure	このカウンタは、Roster Sync Agent での Buddy を購読解除する処理に失敗したことを示します。

Cisco Server Recovery Manager

このオブジェクトは、Cisco Server Recovery Manager (SRM) の状態に関する情報を提供します。次の表には、SRM カウンタについての情報が含まれます。

表 66: Cisco Server Recovery Manager カウンタ

カウンタ	カウンタの説明
SRMState	<p>このカウンタは、SRM の状態を表します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 0 = Unknown • 1 = Initializing • 2 = Idle • 3 = Active Normal • 4 = Backup Activated • 5 = Taking Over • 6 = Taking Back • 7 = Failing Over • 8 = Failed Over • 9 = Failed Over Affected Service • 10 = Falling Back • 11 = Failed • 12 = Down State

Cisco SIP Proxy

次の表には、Cisco SIP Proxy カウンタについての情報が含まれます。

表 67: プロキシ カウンタ

カウンタ	カウンタの説明
CTIGWConferenceReq	このカウンタは、CTIGW で受信された会議コール要
CTIGWInboundCalls	このカウンタは、CTIGW で受信された着信コールの
CTIGWLineOpenRequest	このカウンタは、CTIGW で受信された LineOpen 要
CTIGWMakeCallRequest	このカウンタは、CTIGW で受信された MakeCall 要

カウンタ	カウンタの説明
CTIGWRefreshCount	このカウンタは、MOC クライアントから送信された IM 数を表します。
CTIGWRetrieveReq	このカウンタは、CTIGW で受信されたコール取得要求
CTIGWSip4XXRes	このカウンタは、CTIGW から送信された SIP 4XX 応答
CTIGWSip5XXRes	このカウンタは、CTIGW から送信された SIP 5XX 応答
CTIGWSSXrefReq	このカウンタは、CTIGW で受信されたコールのシング
CTIGWUsersAuthorized	このカウンタは、CTIGW によって認証されたユーザの
CTIGWUsersCurrentlyAuthorized	このカウンタは、リモート コール制御を行うため現在
CTIGWXrefReq	このカウンタは、CTIGW で受信されたコール転送要求
HttpRequests	このカウンタは、処理された HTTP 要求の数を表しま
IMCTRLActiveSessions	このカウンタは、アクティブなフェデレーション IM セ
IMGWActiveSessions	このカウンタは、プロキシによって管理されているアク
IMGWClientMessageSent	このカウンタは、XMPP IM ゲートウェイから SIP クラ
IMGWPeMessageReceived	このカウンタは、XMPP IM ゲートウェイがローカル PE
IMGWPeMessageSent	このカウンタは、ローカル PE に送信された、XMPP IM
Ipc_Requests	このカウンタは、SCP プロセスからの IPC 要求の数を
NumIdleSipdWorkers	このカウンタは、現在のインスタンスでアイドル状態の
NumSipdWorker	このカウンタは、現在のインスタンスにおける sipd ワ
Proxy_Due_Timer_Events	このカウンタは、キューに入れられた期限切れのタイ
Proxy_Timer_Events	このカウンタは、期限切れのタイマー イベントの数を
PWSAppUserLoginRequest	このカウンタは、Presence Web Service モジュールで受
PWSAppUserLogoutRequest	このカウンタは、Presence Web Service モジュールで受

カウンタ	カウンタの説明
PWSEndpointExpired	このカウンタは、更新前に期限が切れたサブスクリプションの数を示します。
PWSEndpointRefreshRequest	このカウンタは、Presence Web Service モジュールで刷新されたサブスクリプションの数を示します。
PWSEndUserLoginRequest	このカウンタは、Presence Web Service モジュールでユーザーがログインした数を示します。
PWSEndUserLogoutRequest	このカウンタは、Presence Web Service モジュールでユーザーがログアウトした数を示します。
PWSGetPolledPresenceRequest	このカウンタは、Presence Web Service モジュールでポーリングされたサブスクリプションの数を示します。
PWSGetSubscribedPresenceRequest	このカウンタは、Presence Web Service モジュールでサブスクリプションされたサブスクリプションの数を示します。
PWSPresenceNotifies	このカウンタは、Presence Web Service モジュールで通知されたサブスクリプションの数を示します。
PWSRegisterEndpointRequest	このカウンタは、Presence Web Service モジュールでエンドポイントが登録された数を示します。
PWSSetPresenceRequest	このカウンタは、Presence Web Service モジュールで Presence 情報が設定された数を示します。
PWSSipNotifies	このカウンタは、Presence Web Service モジュールで SIP 通知された数を示します。
PWSSipPublishRequests	このカウンタは、Presence Web Service モジュールで SIP 情報が公開された数を示します。
PWSSipSubscribeRequests	このカウンタは、Presence Web Service モジュールで SIP 情報がサブスクリプションされた数を示します。
PWSSipUnpublishRequests	このカウンタは、Presence Web Service モジュールで SIP 情報が公開が取り消された数を示します。
PWSSipUnsubscribeRequests	このカウンタは、Presence Web Service モジュールで SIP 情報がサブスクリプションが取り消された数を示します。
PWSSubscribeExpired	このカウンタは、更新前に期限が切れたエンドポイントの数を示します。
PWSSubscribeRefreshRequest	このカウンタは、Presence Web Service モジュールで刷新されたサブスクリプションの数を示します。
PWSSubscribeRequest	このカウンタは、Presence Web Service モジュールでサブスクリプションされたサブスクリプションの数を示します。
PWSUnregisterEndpointRequest	このカウンタは、Presence Web Service モジュールでエンドポイントが登録が取り消された数を示します。
PWSUnsubscribeRequest	このカウンタは、Presence Web Service モジュールでサブスクリプションが取り消された数を示します。
ServerLoadStatus	このカウンタは、サーバのロードステータスを示します。
SIPClientImMessage	このカウンタは、プロキシで受信された SIP クライアントからのインスタントメッセージの数を示します。
SIPClientRegistered	このカウンタは、プロキシで受信された SIP クライアントが登録された数を示します。
SIPClientRegisterFailed	このカウンタは、プロキシでの受信に失敗した SIP クライアントの登録の数を示します。

カウンタ	カウンタの説明
Sip_Tcp_Requests	このカウンタは、TCP 伝送を介して受信された SIP 要求の数を示します。
Sip_Udp_Requests	このカウンタは、UDP 伝送を介して受信された SIP 要求の数を示します。
SIPInviteRequestIn	このカウンタは、プロキシで受信された INVITE 要求の数を示します。
SIPInviteRequestInForeign	このカウンタは、企業の境界を超えてプロキシで受信された INVITE 要求の数を示します。
SIPInviteRequestOut	このカウンタは、プロキシから送信された INVITE 要求の数を示します。
SIPInviteRequestOutForeign	このカウンタは、企業の境界を超えてプロキシから送信された INVITE 要求の数を示します。
SIPMessageRequestIn	このカウンタは、プロキシで受信された MESSAGE 要求の数を示します。
SIPMessageRequestInForeign	このカウンタは、企業の境界を超えてプロキシで受信された MESSAGE 要求の数を示します。
SIPMessageRequestOutForeign	このカウンタは、企業の境界を超えてプロキシから送信された MESSAGE 要求の数を示します。
SIPNotifyRequestIn	このカウンタは、プロキシで受信された NOTIFY 要求の数を示します。
SIPNotifyRequestInForeign	このカウンタは、企業の境界を超えてプロキシで受信された NOTIFY 要求の数を示します。
SIPNotifyRequestOutForeign	このカウンタは、企業の境界を超えてプロキシから送信された NOTIFY 要求の数を示します。
SIPRegisterRequestIn	このカウンタは、プロキシで受信された REGISTER 要求の数を示します。
SIPRequestInForeign	このカウンタは、企業の境界を超えてプロキシで直接受信された SIP 要求の数を示します。
SIPRequestOutForeign	このカウンタは、企業の境界を超えてプロキシから直接送信された SIP 要求の数を示します。
SIPRetransmits	このカウンタは、プロキシによって実行された再送信の数を示します。
SIPSubscribeRequestIn	このカウンタは、プロキシで受信された SUBSCRIBE 要求の数を示します。
SIPSubscribeRequestInForeign	このカウンタは、企業の境界を超えてプロキシで受信された SUBSCRIBE 要求の数を示します。
SIPSubscribeRequestOutForeign	このカウンタは、企業の境界を超えてプロキシから送信された SUBSCRIBE 要求の数を示します。

Cisco XCP 認証コンポーネント

次の表には、Cisco XCP 認証パフォーマンス カウンタについての情報が含まれます。

表 68: Cisco XCP 認証コンポーネントのカウンタ

カウンタ	カウンタの説明
SASLPlainSuccess	このカウンタは、成功した SASL plain 認証の合計回数を表します。

カウンタ	カウンタの説明
SASLPlainFailed	このカウンタは、失敗した SASL plain 認証の合計回数を表示します。
VtgTokenSuccess	このカウンタは、成功した vtg-token 認証の回数を表示します。
VtgTokenFailed	このカウンタは、失敗した vtg-token 認証の回数を表示します。
FailedLicense	このカウンタは、ライセンスがないため失敗した認証の合計回数を表示します。
FailedSASLCredentials	このカウンタは、ユーザ名とパスワードが無効なため失敗した SASL plain 認証の合計回数を表示します。
FailedTokenCredentials	このカウンタは、ユーザ名とパスワードが無効なため失敗した vtg-token 認証の合計回数を表示します。

Cisco XCP CM

次の表に、Cisco XCP Connection Manager (CM) のパフォーマンス カウンタの情報を示します。

表 69: Cisco XCP CM カウンタ

カウンタ	カウンタの説明
CmConnectedSockets	このカウンタは、Web Connection Manager コンポーネント内の接続されているソケットの数を表します。
CmFailedRequests	このカウンタは、失敗した接続要求の総数を表します。

Cisco XCP コンポーネント スタンザ トラフィック

次の表に、Cisco XCP コンポーネント スタンザ トラフィックのパフォーマンス カウンタに関する情報を示します。

表 70: Cisco XCP コンポーネント スタンザ トラフィック カウンタ

カウンタ	カウンタの説明
CompStanzaBytesSent	このカウンタは、1 コンポーネントあたりの送信バイト数を表します。
CompStanzaBytesRecv	このカウンタは、1 コンポーネントあたりの受信バイト数を表します。
CompStanzaErrorsRecv	このカウンタは、送信された 1 コンポーネントあたりのエラー数を表します。
CompStanzaErrorsSent	このカウンタは、受信された 1 コンポーネントあたりのエラー数を表します。
CompStanzaPacketsDropped	このカウンタは、ドロップされた 1 コンポーネントあたりのパケット数を表します。
CompStanzaStanzasSent	このカウンタは、送信された 1 コンポーネントあたりのスタンザ数を表します。
CompStanzaStanzasRecv	このカウンタは、受信された 1 コンポーネントあたりのスタンザ数を表します。
CompStanzaMessagePacketsSent	このカウンタは、送信された 1 コンポーネントあたりのメッセージパケット数を表します。
CompStanzaMessagePacketsRecv	このカウンタは、受信された 1 コンポーネントあたりのメッセージパケット数を表します。
CompStanzaPresencePacketsSent	このカウンタは、送信された 1 コンポーネントあたりのプレゼンスパケット数を表します。
CompStanzaPresencePacketsRecv	このカウンタは、受信された 1 コンポーネントあたりのプレゼンスパケット数を表します。
CompStanzaIQPacketsRecv	このカウンタは、受信された 1 コンポーネントあたりの IQ パケット数を表します。
CompStanzaIQPacketsSent	このカウンタは、送信された 1 コンポーネントあたりの IQ パケット数を表します。

Cisco XCP JDS

次の表に、Cisco XCP JDS のパフォーマンス カウンタに関する情報を示します。

表 71: Cisco XCP JDS カウンタ

カウンタ	カウンタの説明
JdsLDAPSuccess	このカウンタは、成功した LDAP 検索の合計回数を表します。
JdsLDAPFailed	このカウンタは、失敗した LDAP 検索の合計回数を表します。
JdsInvalidRequests	このカウンタは、Cisco XCP JDS で拒否されたため LDAP に送信されなかった無効な LDAP 検索要求の数を表します。

Cisco XCP JSM

次の表に、XCP JSM Performance カウンタについての情報が含まれます。

表 72: Cisco XCP JSM カウンタ

カウンタ	カウンタの説明
JsmMessagesIn	このカウンタは、JSM コンポーネントによって受信されたメッセージスタンプ数を表します。
JsmMessagesOut	このカウンタは、JSM コンポーネントによって送信されたメッセージスタンプ数を表します。
JsmPresenceIn	このコンポーネントは、JSM コンポーネントによって受信されたプレゼンススタンプ数を表します。
JsmPresenceOut	このコンポーネントは、JSM コンポーネントによって送信されたプレゼンススタンプ数を表します。

カウンタ	カウンタの説明
JsmIMSessions	このカウンタは、IM and Presence service の実行中 JSM セッションの総数を表します。IM and Presence では、プレゼンスエンジンは起動時に、ライセンスを持つユーザに対して JSM クライアントのエミュレーションセッションを作成します。ユーザが各自のクライアントにサインインしている間に、追加の JSM セッションも作成されます。複数のユーザが複数のクライアントに同時にログインすると、1人のユーザに複数の追加 JSM セッションが作成される場合があります。
JsmOnlineUsers	このカウンタは、1つ以上の JSM セッションを所有するユーザの数を表します。IM and Presence では、プレゼンスエンジンは、ライセンスを持つユーザに対して JSM クライアントのエミュレーションセッションを作成します。このカウンタの値は、プレゼンスエンジン ActiveJsmSessions カウンタの値に一致する必要があります。
JsmLoginRate	このカウンタは、JSM コンポーネントによって追跡される現在のログインレートを表します。
JsmSuccessfulLogins	このカウンタは、ログイン成功の総数を表します。
JsmFailedLogins	このカウンタは、IM and Presence では常に 0 になります。失敗したログインについては、Cisco XCP 認証コンポーネントのカウンタを参照してください。
JsmTotalMessagePackets	このカウンタは、JSM コンポーネントによって処理される合計メッセージパケットを表します。
JsmTotalPresencePackets	このカウンタは、JSM コンポーネントによって処理される合計プレゼンスパケットを表します。
JsmTotalIQPackets	このカウンタは、JSM で処理される IQ パケットの総数を表します。

カウンタ	カウンタの説明
JsmMsgsInLastSlice	このカウンタは、最後のスライスの JSM コンポーネントによって処理されるメッセージの合計を表します。
JsmAverageMessageSize	このカウンタは、JSM コンポーネントで処理された平均メッセージサイズを表します。
JsmTotalStateChangePackets	このカウンタは、IM and Presence では常に 0 に設定され、将来使用するために予約されます。
JsmStateChangePacketsInSlice	このカウンタは、IM and Presence では常に 0 に設定され、将来使用するために予約されます。
JsmAverageStateChangeSize	このカウンタは、IM and Presence では常に 0 に設定され、将来使用するために予約されます。

Cisco XCP JSM IQ ネームスペース

次の表に、Cisco XCP JSM IQ ネームスペースのパフォーマンス カウンタに関する情報を示します。

表 73: Cisco XCP JSM IQ ネームスペース

カウンタ	カウンタの説明
JSM IQ Namespace	このカウンタは、処理された 1 ネームスペースあたりの IQ パケット数を表します。

Cisco XCP JSM セッション

次の表に、Cisco XCP JSM セッションのパフォーマンス カウンタに関する情報を示します。

表 74: Cisco XCP JSM セッション カウンタ

カウンタ	カウンタの説明
JsmSessionIQIn	このカウンタは、JSM で受信された 1 セッションあたりの IQ パケット数を表します。
JsmSessionIQOut	このカウンタは、JSM から送信された 1 セッションあたりの IQ パケット数を表します。

カウンタ	カウンタの説明
JsmSessionMessagesIn	このカウンタは、JSMで受信された1セッションあたりメッセージパケット数を表します。
JsmSessionMessagesOut	このカウンタは、JSMから送信された1セッションあたりのメッセージパケット数を表します。
JsmSessionPresenceIn	このカウンタは、JSMで受信された1セッションあたりのプレゼンスパケット数を表します。
JsmSessionPresenceOut	このカウンタは、JSMで受信された1セッションあたりのプレゼンスパケット数を表します。
JsmSessionRosterSize	このカウンタは1セッションあたりの個々の参加者サイズを表します。

Cisco XCP MA の基本

次の表に、Cisco XCP Message Archiver の基本パフォーマンス カウンタに関する情報を示します。

表 75: Cisco XCP MA の基本カウンタ

カウンタ	カウンタの説明
ReceivedPackets	このカウンタは、IM and Presence によって受信され、Message Archiver コンポーネントでアーカイブされるパケットの総数を表します。
SentPackets	このカウンタは、IM and Presence から送信され、Message Archiver コンポーネントでアーカイブされるパケットの総数を表します。
SuccessfulDBWriters	このカウンタは、データベースに書き込まれた確認済み IM レコードを表します。
FailedDBWriters	このカウンタは、失敗したデータベースへの書き込みを表します。
PacketsDropped	このカウンタは、isTyping パケットのように Message Archiver で受信されたがデータベースに書き込まれていないパケットの数を表します。

カウンタ	カウンタの説明
DBQueueSize	このカウンタは、Message Archiver がデータベースへの書き込みを保留してキューイングしたパケットの数を表します。

Cisco XCP Router

次の表に、Cisco XCP ルータのパフォーマンス カウンタに関する情報を示します。

表 76: Cisco XCP ルータ カウンタ

カウンタ	カウンタの説明
RouterNormalPackets	このカウンタは、Cisco XCP ルータが処理する通常のパケットの総数を表します。
RouterXdbPackets	このカウンタは、Cisco XCP ルータが処理するxdb パケットの総数を表します。
RouterRoutePackets	このカウンタは、Cisco XCP ルータが処理するルート パケットの総数を表します。
RouterLogPackets	このカウンタは、Cisco XCP ルータが処理するログ パケットの総数を表します。

Cisco XCP SIP S2S

次の表に、Cisco XCP SIP のサーバ間 (S2S) パフォーマンス カウンタの情報を示します。

表 77: Cisco SIP S2S カウンタ

カウンタ	カウンタの説明
SIPS2SIncomingDomains	このカウンタは、着信サブスクリプションのある外部ドメインの総数を表します。
SIPS2SOutgoingDomains	このカウンタは、発信サブスクリプションのある外部ドメインの総数を表します。
SIPS2SSubscriptionsOut	このカウンタは、アクティブな SIP 発信サブスクリプションの総数を表します。
SIPS2SSubscriptionsIn	このカウンタは、アクティブな SIP 着信サブスクリプションの総数を表します。
SIPS2SSubscriptionsPending	このカウンタは、保留中の SIP 発信サブスクリプションの総数を表します。

カウンタ	カウンタの説明
SIPS2SNotifyIn	このカウンタは、受信された SIP NOTIFY メッセージの総数を表します。
SIPS2SNotifyOut	このカウンタは、送信された SIP NOTIFY メッセージの総数を表します。
SIPS2SMessageIn	このカウンタは、受信された SIP MESSAGE メッセージの総数を表します。
SIPS2SMessageOut	このカウンタは、送信された SIP MESSAGE メッセージの総数を表します。
SIPS2SByeIn	このカウンタは、受信された SIP BYE メッセージの総数を表します。
SIPS2SInviteIn	このカウンタは、受信された SIP INVITE メッセージの総数を表します。
SIPS2SInviteOut	このカウンタは、送信された SIP INVITE メッセージの総数を表します。

Cisco XCP S2S

次の表に、Cisco XCP のサーバ間 (S2S) パフォーマンス カウンタの情報を示します。

表 78: Cisco XCP S2S カウンタ

カウンタ	カウンタの説明
S2SIncomingDomains	このカウンタは、着信サブスクリプションのある外部ドメインの総数を表します。
S2SOutgoingDomains	このカウンタは、発信サブスクリプションのある外部ドメインの総数を表します。
S2SFailedDialbackIn	このカウンタは、失敗した着信ダイヤルバックの総数を表します。
S2SFailedDialbackOut	このカウンタは、失敗した発信ダイヤルバックの総数を表します。

Cisco XCP TC

次の表に、Cisco XCP Text Conferencing (TC) のパフォーマンス カウンタに関する情報を示します。

表 79: Cisco XCP TC カウンタ

カウンタ	カウンタの説明
TcTotalRooms	このカウンタは、全種類のテキスト チャット ルームの総数を表します。
TcAdhocRooms	このカウンタは、アドホック のテキスト チャット ルームの総数を表します。
TcPersistentRooms	このカウンタは、永続的なテキスト チャット ルームの総数を表します。
TcCreatedRooms	このカウンタは、作成されたテキスト チャット ルームの総数を表します。
TcDeletedRooms	このカウンタは、削除されたテキスト チャット ルームの総数を表します。
TcMessagesIn	このカウンタは、受信されたグループ チャット メッセージの総数を表します。
TcMessagesOut	このカウンタは、送信されたグループ チャット メッセージの総数を表します。
TcDirectedMessagesIn	このカウンタは、受信したプライベートおよび招待メッセージの総数を表します。
TcMessagesPersisted	このカウンタは、外部データベースに保存されたメッセージの総数を表します。
TcMessagesIgnored	このカウンタは、外部データベースに保存されていないメッセージの総数を表します。

Cisco XCP TC ルーム

次の表に、Cisco XCP TC ルームのパフォーマンス カウンタに関する情報を示します。

表 80: Cisco XCP TC ルーム カウンタ

カウンタ	カウンタの説明
TCRoomNumOccupants	このカウンタは、1 チャット ルームあたりの占有者数を表します。

カウンタ	カウンタの説明
TCRoomBytesSent	このカウンタは、1 チャット ルームあたりの送信バイト数を表します。
TCRoomBytesRecv	このカウンタは、1 チャット ルームあたりの受信バイト数を表します。
TCRoomStanzasSent	このカウンタは、送信された 1 チャット ルームあたりのスタンザ数を表します。
TCRoomStanzasRecv	このカウンタは、1 チャット ルームあたりの受信スタンザ数を表します。
TCRoomMsgPacketSent	このカウンタは、1 チャット ルームあたりの送信メッセージ数を表します。
TCRoomMsgPacketsRecv	このカウンタは、1 チャット ルームあたりの受信メッセージ数を表します。
TCRoomPresencePacketsSent	このカウンタは、1 チャット ルームあたりの送信プレゼンス パケット数を表します。
TCRoomPresencePacketsRecv	このカウンタは、1 チャット ルームあたりの受信プレゼンス パケット数を表します。
TCRoomIQPacketsSent	このカウンタは、送信された 1 チャット ルームあたりの IQ パケット数を表します。
TCRoomIQPacketsRecv	このカウンタは、受信された 1 チャット ルームあたりの IQ パケット数を表します。

Cisco XCP WebCM

次の表に、Cisco XCP Web Connection Manager のパフォーマンス カウンタに関する情報を示します。

表 81: Cisco XCP WebCM カウンタ

カウンタ	カウンタの説明
WebCMConnectedSockets	このカウンタは、接続された XMPP クライアントセッションの累計数を表します。
WebCMFailedRequests	このカウンタは、失敗した接続要求の総数を表します。

Cisco Unity Connection カウンタ

CUC Data Store

CUC Data Store オブジェクトは、登録済みのデータベースの Cisco Unity Connection による使用率に関する情報を提供します。次の表に、CUC Data Store カウンタに関する情報を示します。

表 82: CUC Data Store

カウンタ	カウンタの説明
Allocated Memory [kb]	データベース サーバの仮想アドレス容量 (KB 単位)。
Database Connections	データベース サーバへの合計接続数。
Disk Reads	過去 30 秒間のすべてのデータチャンク (行) でのディスク読み取り操作の数の合計。
Disk Reads/second	1 秒あたりのディスクからの読み取り操作の数。
Disk Writes	過去 30 秒間のディスクへの書き込み操作の数。
Disk Writes/second	1 秒あたりのディスクへの書き込み操作の数。
Shared Memory [kb]	データベース サーバの共有メモリの使用されている量 (KB 単位)。

CUC データ ストア : データベース

CUC Data: Databases オブジェクトは、Cisco Unity Connection で使用されるデータベースに関する情報を提供します。

表 83: CUC データ ストア : データベース

カウンタ	カウンタの説明
Disk Reads/chunk	選択したデータ チャンクに対する読み取り操作の回数
Disk Writes/chunk	選択したデータに対する書き込み操作の数

CUC Digital Notifications

CUC Digital Notifications オブジェクトは、SMS および SMTP 通知の合計数に関する情報を提供します。次の表に、CUC Digital Notification カウンタに関する情報を示します。

表 84: CUC Digital Notifications

カウンタ	カウンタの説明
SMS Notifications Failed	接続に失敗した SMS 通知の合計数。
SMS Notifications Total	Cisco Unity Connection がサブスクライバに送信した SMS 通知の
SMTP Notifications Total	Cisco Unity Connection がサブスクライバに送信した SMTP 通知の
HTML Notifications with Summary of voice messages	サマリー通知の数を維持するカウンタ。
HTML Notifications with Summary of voice messages in Last One Minute	The counter to maintain count of summary notifications sent in last one
Scheduled Notifications Total	送信されたスケジュール済みサマリー通知の数を維持するカウン
Scheduled Notifications in Last One Minute	過去1分間に送信されたスケジュール済みサマリー通知の数を維持するカウンタ。
Scheduled Notifications dropped due to Parent Schedule off	親スケジュールがオフになったためにドロップされた(送信されたスケジュール済みサマリー通知の数を維持するカウンタ。
Scheduled Notifications dropped due to Parent Schedule off in Last One Minute	親スケジュールがオフになったため、過去1分間にドロップされなかった) スケジュール済みサマリー通知の数を維持するカウン
Missed Call Notifications Total	Cisco Unity Connection から送信された不在着信通知の合計数。

CUC Directory Services

CUC Directory Services オブジェクトは、Cisco Unity Connection で使用するディレクトリ サービスのパフォーマンスに関する情報を提供します。

Directory Search Duration Average [s] カウンタは、Cisco Unity Connection サーバに対するディレクトリ検索要求を完了するための平均時間 (秒) を表します。

CUC Feeder

CUC Feeder オブジェクトは、フィーダによって処理された全要求の数を保持します。次の表に、CUC Feeder カウンタに関する情報を示します。

カウンタ	カウンタの説明
Total objects requests processed	フィーダが処理した HTTP[S]/CCI オブジェクト要求の合計数。
Objects requests processed in last 15 minutes	過去 15 分間にフィーダが処理した HTTP[S]/CCI オブジェクト要求の合計数。
Total object requests processed	フィーダが処理した HTTP[S]/CCI オブジェクト要求の合計数。
Object requests processed in last 15 minutes	過去 15 分間にフィーダが処理した HTTP[S]/CCI オブジェクト要求の合計数。

CUC メールボックス同期

メールボックス同期サービスは、Unity Connection と Exchange の間でメッセージを同期します。

次の表には、メールボックス同期カウンタについての情報が含まれます。

カウンタ	カウンタの説明
Active thread count	Cisco Unity Connection は、Cisco Unity Connection から Exchange サーバへのボイスメールを同期するためのスレッドを維持します。その逆も同様です。このカウンタは、ボイスメールの同期にアクティブに使用されているスレッドの数をいつでも指定します。
Background queue size	メールボックス同期には、バックグラウンド、通常、時間に依存する3つのタイプのプライオリティキューがあります。バックグラウンドキューは最も低いプライオリティです。このキューには、各メールボックスが1時間ごとにバックグラウンドで再同期するためにスケジュールされた項目があります。
Normal queue size	通常のキューには、中程度のプライオリティがあります。このキューには、メッセージ操作(メッセージの作成、読み取り、未開封、削除など)がユーザによって実行されるか、または Cisco Unity Connection Administration のユニファイドメッセージングページで管理者による設定更新のためにスケジュールされた項目があります。

カウンタ	カウンタの説明
Time sensitive queue size	時間依存キューの優先度が最も高くなります。このキューには、サブスクリプションを有効にするために Cisco Unity Connection から Exchange サーバに送信されるキープアライブメッセージによってスケジュール設定された項目があります。これは、2003 Exchange server のみに適用されます。
Total connection errors	これは、CuMbxSync プロセスがデータベースからデータの取得または更新に失敗した回数を指定します。
Total Mailbox Adds	これは、ユーザメールボックスがサブスクリプション用に設定された回数を指定します。Unity Connection と Exchange の間の通信エラーが発生すると、ユーザメールボックスの削除と再追加が行われます。
Total Mailbox Removes	これは、ユーザメールボックスがサブスクリプション解除のために設定された回数を指定します。Unity Connection と Exchange の間でエラーが発生すると、ユーザメールボックスが削除または再追加されます。
Total Resyncs	これは、Exchange サーバとのユーザメールボックスの再同期の合計回数を指定します。Cisco Unity Connection は、1時間ごとにすべてのユーザメールボックスのバックグラウンド再同期を行います。
Total Retries	Cisco Unity connection と Exchange server の間で通信障害が発生するたびに、Unity Connection は特定のユーザメールボックスのメールボックス同期を再試行します。このカウンタは、このようなオカレンスの数を指定します。
Total Work Items	これは、すべてのユーザメールボックスで、作成、読み取り、未開封、および DELETE などのメッセージング操作が実行された回数を指定します。

CUC Message Store

CUC Message Store オブジェクトは、Cisco Unity Connection メッセージストアのパフォーマンスに関する情報を提供します。次の表に、CUC Message Store カウンタに関する情報を示します。

表 85: CUC Message Store

カウンタ	カウンタの説明
Bad Mail Total	MTA サーバの最後の再起動以降に Bad Mail フォルダに送信されたメッセージの総数。
Delivery Receipts Total	MTA サーバの最後の再起動以降の送信確認の合計数。
Incoming Recalls	他のネットワーク ロケーションのリモート送信者によって開始されたメッセージのローカル コピーを取り消すための着信要求の数。
Intersite Messages Delivered Per Minute	過去 1 分間に配信されたサイト間メッセージの数。
Intersite Messages Delivered Total	MTA サーバの最後の再起動以降に配信されたサイト間メッセージの合計数。
Intersite Messages Received Per Minute	過去 1 分間に受信したサイト間メッセージの数。
Intersite Messages Received Total	MTA サーバの最後の再起動以降に受信したサイト間メッセージの合計数。
Intersite Messages Total	MTA サーバの最後の再起動以降に配信および受信したサイト間メッセージの合計数。
Local Recalls	このサーバ上のローカル送信者が開始したメッセージ取り消し要求の数。
Message Size Average [kb]	各サンプルでの MTA のキロ バイト単位での平均サイズ。
Messages Delivered Total	MTA サーバの最後の再起動以降に配信されたメッセージの合計数。
Messages Received Total	MTA サーバの最後の再起動以降に受信したメッセージの合計数。
Non-delivery Receipts Total	MTA サーバの最後の再起動以降の未送信確認の合計数。
Number of Items Recalled	メッセージの取り消しの合計数。この数には複数の受信者に宛てられたメッセージの個別のコピーも含まれるため、Total Recalls, Local and Remote Recalls パフォーマンス カウンタをはるかに上回る数になる可能性があります。
Queued Messages Current	現在 MTA にキューイングされているメッセージ数。
Read Receipts Total	MTA サーバの最後の再起動以降の受信確認の合計数。
Retries Total	MTA サーバの最後の再起動以降の再試行の合計数。

カウンタ	カウンタの説明
Total dispatch message folder items delivered	MTA の開始以降に個々のユーザのメールボックスに配信されるメッセージの合計数。この数には複数の受信者に送信されたメッセージの個々のコピーの数が含まれます。
Total dispatch messages accepted	MTA サーバの最後の再起動以降に受理されたディスパッチメッセージの数。
Total dispatch messages delivered	MTA の開始以降に配信されたディスパッチメッセージの合計数は、受信者数に関係なく、各メッセージが 1 回だけ含まれます。
Total dispatch message items rejected	MTA サーバの最後の再起動以降に拒否されたディスパッチメッセージのコピーの合計数。
Total dispatch messages removed due to acceptance	MTA サーバの最後の再起動以降に、メッセージが他のユーザにされていたためユーザのメールボックスから除外されていたディスパッチメッセージの合計数。
Total recalls, local and remote	ローカル送信者およびリモート送信者が開始したメッセージ取り消しの数。この数は、Incoming Recalls パフォーマンスカウンターおよびOutgoing Recalls パフォーマンスカウンタの合計と一致します。
VPIM Message Decode Duration Average [s]	MIME 形式のボイスメッセージを元の形式にデコードするための平均時間 (秒)。
VPIM Message Encode Duration Average [s]	MIME 形式にボイスメッセージをエンコードする平均時間 (秒)。
VPIM Messages Delivered Per Minute	Cisco Unity Connection メッセージストアが 1 分間に配信した VPIM メッセージの数。
VPIM Messages Delivered Total	Cisco Unity Connection メッセージストアが配信した VPIM メッセージの総数。
VPIM Messages Received Per Minute	Cisco Unity Connection メッセージストアが 1 分間に受信した VPIM メッセージの数。
VPIM Messages Received Total	Cisco Unity Connection メッセージストアが受信した VPIM メッセージの総数。
VPIM Messages Total	Cisco Unity Connection メッセージストアが処理した VPIM メッセージの総数。
Messages Undelivered Mailbox Quota Full Notification Total	メールボックスクォータがいっぱいになったときに送信されなかったメッセージの合計数。
Video Messages Delivered Total	MTA サーバの最後の再起動以降に配信されたビデオメッセージの総数。

カウンタ	カウンタの説明
Video Messages Delivered Per Minute	MTA サーバの最後の再起動以降、1分間に配信されたビデオメッセージの合計数。
Video Messages Processed by MTA Total	サーバの最後の再起動以降に MTA サーバによって処理された(成功した) ビデオメッセージの合計数。
Video Messages Processed by MTA Per Minute	サーバの最後の再起動以降に、MTA サーバによって1分間に処理された(成功と失敗の両方の) ビデオメッセージの合計数。

CUC Message Store: Databases

CUC Message Store: Databases オブジェクトは、Cisco Unity Connection で使用されるメッセージストア データベースに関する情報を提供します。

Messages Delivered Per Message Store カウンタは、MTA サーバが最後に再起動されて以降、1メッセージストアあたりに配信されたメッセージの総数を表します。

CUC Personal Call Transfer Rules

CUC Personal Call Transfer Rules オブジェクトは、パーソナル着信転送ルール (PCTR) の数と使用状況についての情報を提供します。次の表に、CUC Personal Call Transfer Rules カウンタに関する情報を示します。

表 86: CUC Personal Call Transfer Rules

カウンタ	カウンタの説明
Applicable Rule Found	ルール処理が開始され、適用可能な転送ルールが見つかった転送ルール (PCTR) のコール。
Destinations Tried	転送ルールが適用されている間に試行された転送先の数。
PCTR Calls	パーソナル着信転送ルール (PCTR) による処理を適用された当てる COS が PCTR で有効化されている、ユーザは Unified Manager ユーザである、ユーザは PCTR を無効にしていない)
Rules Evaluated	パーソナル着信転送ルール (PCTR) のコールでのルール処理したルールの数。
Subscriber Reached	転送ルールが適用されている間にサブスクライバに到達した
Transfer Failed	パーソナル着信転送ルールが適用されている間に、Cisco Unity 転送先へのコールの転送に失敗した回数。転送の失敗には、転送先が接続済み、通話中、RNA 状態、またはタイムアウトを除くすべての状態が含まれます。転送中に発信者が電話を掛けた場合の失敗と見なされます。

カウンタ	カウンタの説明
Voicemail Reached	転送ルールが適用されている間にボイスメールが到達した回数。

CUC Phone System

CUC Phone System オブジェクトは、電話システム統合のパフォーマンスに関する情報を提供します。次の表に、CUC Phone System カウンタについての情報を示します。

表 87: CUC Phone System

カウンタ	カウンタの説明
Call Count Current	Cisco Unity Connection サーバへの着信および発信コールの現在の数。
Call Count Total	Cisco Unity Connection サーバへの着信および発信コールの合計数。
Call Duration Average [s]	Cisco Unity Connection サーバからの着信コールと発信コールの平均持続時間 (秒)。
Call Duration Total [s]	Cisco Unity Connection サーバからの着信コールと発信コールの合計持続時間 (秒)。
Calls Unanswered Total	Cisco Unity Connection サーバでの無応答コールの合計数。
Incoming Calls CFB Current	話中転送として受信した着信コールの現在の数。
Incoming Calls CFB Total	話中転送として受信した着信コールの合計数。
Incoming Calls CFNA Current	無応答時転送として受信した着信コールの現在の数。
Incoming Calls CFNA Total	無応答時転送として受信した着信コールの合計数。
Incoming Calls Current	着信コールの現在の数。
Incoming Calls Direct Current	直接コールとして受信した着信コールの現在の数。
Incoming Calls Direct Total	直接コールとして受信した着信コールの合計数。
Incoming Calls Duration Average [s]	Cisco Unity Connection サーバへのすべての着信コールの平均持続時間 (秒)。
Incoming Calls Duration Total [s]	Cisco Unity Connection サーバへのすべての着信コールの合計持続時間 (秒)。
Incoming Calls No Info Total	統合情報を持たない着信コールの合計数。
Incoming Calls Total	着信コールの合計数。
Message Notification Duration Average [s]	Cisco Unity Connection サーバからのすべてのメッセージ通知を完了するの平均時間 (秒)。

カウンタ	カウンタの説明
Message Notification Duration Total [s]	Cisco Unity Connection サーバからのすべてのメッセージ通知の合計時間 (秒)。
Message Notifications Failed	宛先番号への接続に失敗したメッセージ通知の合計数。
Message Notifications Total	Cisco Unity Connection がサブスクリイバに送信したメッセージ
MWI Request Duration Average [ms]	Cisco Unity Connection サーバからのすべての MWI 要求の平均 (ミリ秒単位)。
MWI Request Duration Total [ms]	Cisco Unity Connection サーバからのすべての MWI 要求の合計 (ミリ秒単位)。
MWI Requests Failed Total	宛先番号への接続または MWI 操作の完了に失敗した MWI 要
MWI Requests Total	Cisco Unity Connection が送信した MWI 要求の合計数。
Outgoing Calls Duration Average [s]	Cisco Unity Connection サーバからのすべての発信コールの平均 (秒)。
Outgoing Calls Duration Total [s]	Cisco Unity Connection サーバからのすべての発信コールの合計 (秒)。
Outgoing Calls Release Transfers Completed	Cisco Unity Connection サーバからの完了リリース転送の数。
Outgoing Calls Release Transfers Failed	宛先番号への接続に失敗した Cisco Unity Connection サーバからの転送の数。
Outgoing Calls Release Transfers Total	Cisco Unity Connection サーバから試行されたリリース転送の
Outgoing Calls Supervised Transfers Completed	Cisco Unity Connection サーバからの完了監視転送の数。
Outgoing Calls Supervised Transfers Dropped	進行中にドロップされた Cisco Unity Connection サーバからの
Outgoing Calls Supervised Transfers Failed	宛先番号への接続に失敗した Cisco Unity Connection サーバからの数。
Outgoing Calls Supervised Transfers Total	Cisco Unity Connection サーバからの監視転送の合計数。
Outgoing Calls Transfers Total	Cisco Unity Connection が試行したリリース転送および監視転
Pager Notifications Duration Average [s]	Cisco Unity Connection サーバからのすべてのポケットベル通話での平均時間 (秒)。
Pager Notifications Duration Total [s]	Cisco Unity Connection サーバからのすべてのポケットベル通話での合計時間 (秒)。

カウンタ	カウンタの説明
Pager Notifications Failed	宛先番号への接続に失敗したポケットベル通知の合計数。
Pager Notifications Total	Cisco Unity Connection がサブスクライバに送信したポケットベル数。
Port Idle Duration [s]	Cisco Unity Connection サーバへの着信コール間でいずれかのポート状態のままになっている合計時間 (秒)。
Port Idle Duration Average [s]	Cisco Unity Connection サーバへの着信コール間でいずれかのポート状態のままになっている平均時間 (秒)。
Ports Idle Current	Cisco Unity Connection サーバで使用されていない統合ポートの現在の数。
Ports In Use Current	Cisco Unity Connection サーバで使用中の統合ポートの現在の数。
Ports Locked	Cisco Unity Connection がもう応答しないかまたは使用不可能なポートの数。
Missed Call Total	Cisco Unity Connection サーバによってトリガーされた不在着信通知の合計数。

CUC Phone System: Ports

CUC Phone System: Ports オブジェクトは、Cisco Unity Connection のボイス メッセージング ポートに関する情報を提供します。次の表に、CUC Phone System: Ports カウンタに関する情報を示します。

表 88 : CUC Phone System: Ports

カウンタ	カウンタの説明
Port Calls	Cisco Unity Connection サーバの最後の再起動以降に、このポートで処理されたコールの合計数。これには、着信、MWI 発信、通知発信、TRAI 発信、および VPIM 発信など、すべてのタイプのコールが含まれます。
Port Idle Percent	Cisco Unity Connection サーバ上のアイドル ポートの分配の割合 (パーセント)。
Port Usage Duration Average [s]	ポートでアクティブにコールが処理されていた平均時間 (秒)。
Port Usage Duration Total [s]	ポートでアクティブにコールが処理されていた合計時間 (秒)。
Port Usage Percent	Cisco Unity Connection サーバ上ポートへのコールの分配の割合 (パーセント)。

CUC Replication

CUC Replication オブジェクトは、Cisco Unity Connection の冗長性のためのレプリケーションに関する情報を提供します。次の表に、CUC Replication カウンタに関する情報を示します。

表 89 : CUC Replication

カウンタ	カウンタの説明
File Replication Latency [s]	レプリケーションが開始される前にファイルが存在していた
File Replication Latency Max [s]	サービスが開始されてからのファイル レプリケーションの最
File Transfer Rate [kbytes/s]	レプリケーションされた各ファイルの転送速度。
Files Replicated Total	サービスの開始以降にレプリケーションされたファイルの数
Transfer Rate [bytes/s]	秒単位で転送されるバイト数。

CUC Replicator: Remote Connection Locations

CUC Replicator: Remote Connection Locations オブジェクトは、リモート接続のロケーションのレプリケーションに関する情報を提供します。次の表に、CUC Replicator: Remote Connection Locations カウンタに関する情報を示します。

表 90 : CUC Replicator: Remote Connection Locations

カウンタ	カウンタの説明
Dependencies Requests Received	Connection ロケーションから受信した要求されたレプリケー ションの数。
Dependencies Requests Sent	Connection ロケーションへ送信したレプリケーション依存関
Message Receive Failures	障害のため受信されなかったこの Connection ロケーションか クション メッセージの数。
Message Send Failures	障害のため送信されなかったこの Connection ロケーションへ クション メッセージの数。
Messages Received	Connection ロケーションから受信したレプリケーションメッ
Messages Sent	Connection ロケーションへ送信したレプリケーションメッセ
NDR Messages Received	Connection ロケーションから受信したレプリケーション NDR 数。
USN Requests Received	Connection ロケーションから受信した USN 要求の数。これは タイムアウトがリモート ノードで発生したことを示します。

Connection REST Tomcat Connector

Tomcat Hypertext Transport Protocol (HTTP) および HTTP Secure (HTTPS) Connector オブジェクトは、Tomcat コネクタについての情報を提供します。

Connection Rest Tomcat HTTP コネクタは、要求を受信して応答を送信するエンドポイントを表します。このコネクタは、アプリケーションの VMREST リクエストにアクセスしたときに発生する HTTP/HTTPS リクエストの処理と HTTP/HTTPS 応答の送信を行います。VMREST リクエスト URL のセキュアソケットレイヤ (SSL) ステータスは、各 Rest Tomcat Connector のインスタンス名の基準を提供します。たとえば、SSL の場合は `https://<IP Address>:8443`、非 SSL の場合は `http://<IP Address>:8080` になります。

次の表に、Connection Rest Tomcat コネクタカウンタに関する情報を示します。

カウンタ	カウンタの説明
Errors	コネクタで発生した HTTP エラー (たとえば、「401 未認証 (401 Unauthorized) 」) の合計数。
MBytesReceived	コネクタが受信したデータの量。
MBytesSent	コネクタが送信したデータの量。
Requests	コネクタが処理した要求の総数。
ThreadsTotal	要求処理スレッドの現在の合計数、コネクタの使用可能/使用中のスレッドを含みます。
ThreadsMax	コネクタの要求処理スレッドの最大数。 関連のウィンドウで着信する VMREST リクエストは、そのリクエストの期間中、1 つのスレッドを必要とします。現在使用可能な要求処理スレッドで処理できる数を上回る同時要求を受信した場合は、このカウンタに表示される設定最大数を上限として、追加のスレッドが作成されます。さらに別の同時要求を受信すると、それらの要求は、内部で指定された最大数になるまで、コネクタで作成されたサーバソケット内に累積されます。それ以外の同時要求は、それらの要求を処理するリソースが使用可能になるまで、接続拒否メッセージを受け取ります。
ThreadsBusy	このカウンタは、コネクタのビジー状態/使用中の要求処理スレッドの現在の数を表します。

Connection REST Tomcat JVM

Cisco Tomcat Java Virtual Machine (JVM) オブジェクトは、VMREST リクエスト URL で使用される共通リソースメモリのプールに関する情報を提供します。動的メモリブロックには、Tomcat とその VMREST リクエストが作成するすべてのオブジェクトが格納されます。

次の表に、Connection REST Tomcat JVM カウンタに関する情報を示します。

カウンタ	カウンタの説明
KBytesMemoryFree	Tomcat Java Virtual Machine の動的メモリブロック（ヒープメモリ）の量。 動的メモリの空き容量が少なくなると、追加のメモリが自動的に割り当てられ、KbytesMemoryTotal カウンタに表示される合計メモリサイズが増加します。ただし、KbytesMemoryMax カウンタに表示される最大容量を上限とします。 使用中のメモリ容量は、KbytesMemoryTotal から KBytesMemoryFree の値を減算することで判断できます。
KBytesMemoryMax	Tomcat Java Virtual Machine の動的メモリブロック（ヒープメモリ）の量。
KBytesMemoryTotal	空きメモリと使用中メモリを含む、Tomcat Java Virtual Machine の現在の動的メモリブロックの合計サイズ。

Connection REST Tomcat Webアプリケーション

Cisco Rest Tomcat Web Application オブジェクトは、VMREST リクエスト URL の実行方法についての情報を提供します。

次の例で示すように、VMREST リクエスト URL は、各 Rest Tomcat Web Application のインスタンス名の基準になります。

- Cisco Unified Communications Manager の管理ページ (<https://<IP Address>:8443/ccmadmin>) は、ccmadmin により識別されます。
- Cisco Unified Serviceability (<https://<IP Address>:8443/ccmservice>) は、ccmservice によって識別されます。
- Cisco Unified Communications Manager のユーザ オプション (<https://<IP Address>:8443/ccmuser>) は、ccmuser によって識別されます。
- Cisco Unity Connection の管理ページ (<https://<IP Address>:8443/cuadmin>) は、cuadmin によって識別されます。

- 拡張子を持たない URL (https://<IP Address>:8443 や http://<IP Address>:8080) は `_root` によって識別されます。

次の表に、Connection Rest Tomcat Web Application カウンタについての情報を示します。

カウンタ	カウンタの説明
Errors	Cisco Unified Communications Manager 関連、または Cisco Unity Connection 関連の Web アプリケーションで発生した HTTP エラー (たとえば、401 未認証など) の合計数を表します。
Requests	Web アプリケーションが処理する VMREST リクエストの数の合計数。Requests カウンタは、Web アプリケーションにアクセスするたびに増加します。
SessionsActive	Web アプリケーションでアクティブまたは使用中のセッションの数。

CUC Sessions: Authz Server

表 91 : CUC Sessions: Authz Server

カウンタ	カウンタの説明
CUC Authz Total Validation Requests	Authz 検証要求の合計数。
CUC Authz Successful Validation Requests	成功した Authz 検証の合計数。
CUC Authz Failed Validation Requests	失敗した Authz 検証の合計数。
CUC Authz Total Validation Requests in Last minute	過去1分間の Authz 検証の合計数。
CUC Authz Successful Validation Requests in Last minute	過去1分間の成功した Authz 検証の合計数。
CUC Authz Failed Validation Requests in Last minute	過去1分間に失敗した Authz 検証の合計数。

CUC Sessions: Calendar Access

CUC Sessions: Calendar Access オブジェクトは、Cisco Unity Connection のカレンダーの統合に関する情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: Calendar Access カウンタに関する情報を示します。

表 92 : CUC Sessions: Calendar Access

カウンタ	カウンタの説明
Connections To Exchange Failure - Total	Exchange 接続失敗の合計数。
Connections To MP Failure - Total	MeetingPlace 接続失敗の合計数。
Exchange Requests - Total	Exchange カレンダー要求の合計数。
Exchange Response Time [ms] - Current	ミリ秒単位での現在の Exchange 応答時間。
Meeting Join Request - Total	会議への参加要求の合計数。
MP Request - Total	MeetingPlace カレンダー要求の合計数。
MP Response Time [ms] - Current	ミリ秒単位での現在の MeetingPlace 応答時間。

CUC Sessions: E-mail Access

CUC Sessions: E-mail Access オブジェクトは、電子メールの音声セッションに関する情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: E-mail Access カウンタに関する情報を示します。

表 93 : CUC Sessions: E-mail Access

カウンタ	カウンタの説明
Messages Read - Total	Cisco Unity Connection の最後の再起動以降、読み取られた電子メールメッセージの合計数。
Session Duration Average [ms]	コール単位で測定されたすべての電子メールセッションの平均（ミリ秒単位）。
Session Duration Total [ms]	コール単位で測定されたすべてのメールセッションの合計（ミリ秒単位）。
Sessions - Current	アクティブな電子メール音声セッションの数。
Sessions - Total	Cisco Unity Connection の最後の再起動以降の電子メール音声セッションの合計数。

CUC Sessions: IMAP Server

CUC Sessions: IMAP Server オブジェクトは、IMAP サーバに関する情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: IMAP Server カウンタに関する情報を示します。

表 94: CUC Sessions: IMAP Server

カウンタ	カウンタの説明
Commands per minute	1 分あたりの IMAP コマンド数
Connection Length Average [s]	過去 1 分間における IMAP サーバへの接続の平均持続時間 (秒)
Current IDLE Sessions	IMAP サーバ上のアイドルセッション数。
Errors Total	IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバが返した IMAP 計数。
EXAMINE Requests Total	IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバに送信された EXAMINE 要求の合計数。
Failed Login Requests Total	IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバに送信されて失敗したログイン要求の合計数。
FETCH Requests Total	IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバに送信された FETCH 要求の合計数。
Login Requests Total	IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバに送信された LOGIN 要求の合計数。
Logout Requests Total	IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバに送信された LOGOUT 要求の合計数。
Messages Read Total	IMAP サーバの最後の再起動以降、メッセージの本文を返した IMAP FETCH コマンドの合計数。
Messages Read/hour	過去 1 時間にメッセージの本文を返した IMAP FETCH コマンドの数。
Messages/fetch Average	IMAP FETCH コマンドが返したメッセージの平均数。
NOOP Requests Total	IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバに送信された NOOP 要求の合計数。
Response Time [ms]	IMAP コマンドの応答時間 (ミリ秒)。
SEARCH Requests Total	IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバに送信された SEARCH 要求の合計数。
Socket Connections Current	IMAP サーバへのアクティブなソケット接続の数。
Socket Connections Total	IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバに対して実行されたソケット接続の合計数。
STARTTLS Requests Total	IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバに送信された STARTTLS 要求の合計数。このカウンタは、クライアントが IMAP SSL ポートに接続したときに増加します。

カウンタ	カウンタの説明
STATUS Requests Total	IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバに送信されたの合計数。
TLS Connections Current	IMAP サーバへのアクティブな Transport Layer Security 接続の
TLS Errors Total	IMAP サーバの最後の再起動以降の、IMAP サーバへの失敗し合計数。
Unsolicited Notify Response Time Average [ms]	IMAP サーバに対する Unsolicited Notify 応答時間の平均 (ミ)
Unsolicited Notify Responses Total	IMAP サーバの最後の再起動以降、IMAP サーバによって返さ Notify 応答の合計数。

CUC Sessions: RSS

CUC Sessions: RSS オブジェクトは RSS セッションに関する情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: RSS カウンタに関する情報を示します。

表 95: CUC Sessions: RSS

カウンタ	カウンタの説明
RSS Messages Offered Total	ストリーミング用に提供された RSS メッセージの合計数。
RSS Messages Streamed Total	Cisco Unity Connection サーバがストリーム配信した RSS メッセージ数。
RSS Sessions Current	RSS セッションの現在の数。
RSS Sessions Total	RSS セッションの合計数。

CUC Sessions: SMTP Server

CUC Sessions: SMTP Server オブジェクトは、SMTP サーバセッションに関する情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: SMTP Server カウンタに関する情報を示します。

表 96: CUC Sessions: SMTP Server

カウンタ	カウンタの説明
Total Delivered Messages	システムの起動以降に配信された SMTP メッセージの数。
Total Messages	システムの起動以降に配信または受信された SMTP メッセージ
Total Received Messages	システムの起動以降に受信された SMTP メッセージの数。

CUC Sessions: SpeechView Processor

CUC Sessions: SpeechView Processor オブジェクトは、SpeechView プロセッサ サービスについての情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: SpeechView Processor カウンタに関する情報を示します。

表 97: CUC Sessions: SpeechView Processor

カウンタ	カウンタの説明
Average wait time	外部サービスから成功したトランスクリプションを受信するのに必要な時間。
Total failures	SpeechView Processor サービスの最後の再起動以降の失敗したトランスクリプションの合計数。
Total timeouts	SpeechView Processor サービスの最後の再起動以降、タイムアウトしたトランスクリプションの合計数。
Transcribed messages	SpeechView Processor サービスの最後の再起動以降の成功したトランスクリプションの合計数。

CUC Sessions: TRaP

CUC Sessions: TRaP オブジェクトは、電話での録音および再生 (TRaP) セッションに関する情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: TRaP カウンタに関する情報を示します。

表 98: CUC Sessions: TRaP

カウンタ	カウンタの説明
Reverse TRaP Session Duration Average [s]	すべてのリバース TRaP セッションの平均持続時間 (秒)。
Reverse TRaP Session Duration Total [s]	すべてのリバース TRaP セッションの合計持続時間 (秒)。
Reverse TRaP Sessions Current	現在のアクティブなリバース TRaP セッションの数。
Reverse TRaP Sessions Total	Cisco Unity Connection の最後の起動以降のリバース TRaP セッションの数。
TRaP Session Duration Average [s]	すべての TRaP セッションの平均持続時間 (秒)。
TRaP Session Duration Total [s]	すべての TRaP セッションの合計持続時間 (秒)。
TRaP Sessions Current	現在のアクティブな TRaP セッションの数。
TRaP Sessions Total	Cisco Unity Connection の最後の起動以降の TRaP セッションの合計数。

CUC Sessions: TTS

CUC Sessions: TTS オブジェクトは、音声合成 (TTS) セッションに関する情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: TTS カウンタに関する情報を示します。

表 99: CUC Sessions: TTS

カウンタ	カウンタの説明
Session Duration Average [s]	すべての TTS セッションの平均持続時間 (秒)。
Session Duration Total [s]	すべての TTS セッションの合計持続時間 (秒)。
Sessions Current	アクティブな TTS 音声セッションの現在の数。
Sessions Total	Cisco Unity Connection の最後の起動以降の TTS 音声セッションの数。

CUC Sessions: Unified Client

CUC Sessions: Unified Client オブジェクトは、Cisco Unity Connection に対する Unified Client に関する情報を提供します。

Connections Total カウンタは、Unified Client IMAP 要求の合計数を表します。

CUC セッション : ビデオ

CUC Sessions: Video オブジェクトは、ビデオ サーバでのビデオセッションに関する情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: Video カウンタに関する情報を示します。

表 100: CUC セッション : ビデオ

カウンタ	カウンタの説明
Audio calls Negotiated Total	ビデオ オファーに関係なくネゴシエートされた音声コールの合計数。
Audio Calls Negotiated In Last One Minute	過去 1 分間にビデオ オファーに関係なくネゴシエートされた音声コールの合計数。
Outgoing Video calls Release Transfer	スイッチへのリリースとして転送された発信ビデオ コール数の合計数。
Supervise Transfer Calls Total	Cisco Unity Connection の最後の再起動以降にビデオ コールから開始された監視転送の合計数。

カウンタ	カウンタの説明
Video calls downgraded to Audio Total	Cisco Unity Connection の最後の再起動以降に音声にダウングレードされたビデオ コールの合計数。
Video calls downgraded to Audio In Last One Minute	過去 1 分間に音声にダウングレードされたビデオ コールの合計数。
Video calls downgraded with prompt total	プロンプト「このコールの持続期間中のみ、音声を使用したビデオ サービスを使用できません (Video services are not available using audio only for duration of this call)」によりダウングレードされたビデオ コールの合計数。
Video calls downgraded with prompt in Last One Minute	過去 1 分間に、プロンプト「このコールの持続期間中のみ、音声を使用したビデオ サービスを使用できません (Video services are not available using audio only for duration of this call)」によりダウングレードされたビデオ コールの合計数。
Video Sessions Total	Unity Connection からビデオ サーバに送信されたビデオ セッション要求の合計数。
Video Sessions Current	Unity Connection からビデオ サーバに送信された現在のビデオ セッション要求の合計数。
Video Session Playbacks Total	Cisco Unity Connection の最後の再起動以降のビデオ セッション再生の合計数。
Video Session Playbacks Current	現在のビデオ セッション再生の合計数。
Video Media File Playbacks Total	Unity Connection の最後の再起動以降の、ビデオ サーバからのイメージ再生の合計数。
Video Media File Playbacks Current	ビデオ サーバからのビデオ メディア ファイル再生の現在の数。
Video Recordings Total	Unity Connection の最後の再起動以降、ビデオ サーバに保存されたビデオ 録画の合計数。
Video Recordings Current	ビデオ サーバに保存されたビデオ 録画の現在の数。
Video Playback Completed Events from MS Total	Unity Connection の最後の再起動以降のビデオ 再生完了イベントの合計数。

カウンタ	カウンタの説明
Video Playback Completed Events from MS In Last One Minute	直近 1 分以降のビデオ サーバからのビデオ再生完了イベントの合計数。
Video Keep Alive Total	Unity Connection の最後の再起動以降、Unity Connection によってビデオ サーバに送信されたキープアライブの合計数。
Video Keep Alive In Last One Minute	直近 1 分以降に Unity Connection によってビデオ サーバに送信されたキープアライブの合計数。
Video Get Media Capabilities Total	Unity Connection の最後の再起動以降、Unity Connection によってビデオ サーバに送信された GetMediaCapabilities の合計数。
Video Get Media Capabilities In Last One Minute	直近 1 分以降に Unity Connection によってビデオ サーバに送信された GetMediaCapabilities の合計数。
Video SignIn Total	Unity Connection の最後の再起動以降、Unity Connection によってビデオ サーバに送信されたサインイン要求の合計数。
Video SignIn Total In Last One Minute	直近 1 分以降に Unity Connection によってビデオ サーバに送信されたサインイン要求の合計数。
KeyFrame Request sent Total	Cisco Unity Connection の最後の再起動以降、ビデオ録画中にエンドポイントに送信されたキーフレーム要求の合計数。
KeyFrame Request sent In Last One Minute	Cisco Unity Connection の最後の再起動以降、ビデオ録画中にエンドポイントに送信されたキーフレーム要求の合計数。
Video Record Successful Total	Cisco Unity Connection の最後の再起動以降、正常に完了したビデオ録画の合計数。
Video Sessions Failed Total	Cisco Unity Connection の最後の再起動以降、失敗したビデオセッションの合計数。
Video Session Failed In Last One Minute	過去 1 分間に失敗したビデオセッションの合計数。

カウンタ	カウンタの説明
Media Sense Timeout Total	<p>Cisco Unity Connection が最後に再起動されてから MediaSense サーバに接続している間の接続タイムアウトエラーの合計数。このカウンタは、次のイベントに適用されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ビデオ通話中 • サインイン時 • MediaSense サーバとのメディア機能の交換中。
Video Play Failed Total	<p>Cisco Unity Connection の最後の再起動以降、音声メッセージとして再生されるビデオメッセージの合計数。</p>

CUC セッション：音声

CUC Sessions: Voice オブジェクトは、音声セッションに関する情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: Voice カウンタに関する情報を示します。

表 101: CUC セッション：音声

カウンタ	カウンタの説明
Delay - Directory Search [ms]	<p>発信者がディレクトリ全体の検索を試みるときに発生する遅延。検索条件を入力してから結果が返されるまでの時間を測定します。</p>
Delay - Opening Greeting [ms]	<p>発信者が音声を聞くまでの遅延（ミリ秒）。システムがコールを渡してから、発信者に対して音声ストリームを開始するまでの時間を測定します。</p>
Delay - Subscriber Delete Message [ms]	<p>Cisco Unity Connection のサブスクライバがメッセージの削除を要求するときに発生する遅延（ミリ秒）。最後のメッセージ削除プロンプトから確認までの時間を測定します。</p>
Delay - Subscriber Logon [ms]	<p>Cisco Unity Connection のサブスクライバが認証を行うときに発生する遅延（ミリ秒）。</p>
Delay - Subscriber Message Count [ms]	<p>Cisco Unity Connection のサブスクライバが、サブスクライバのメッセージボックスでメッセージ数をカウントするときに発生する遅延（ミリ秒）。</p>
Delay - Subscriber Message Header [ms]	<p>発信者が Cisco Unity Connection でメッセージのヘッダー情報を取得するときに発生する遅延（ミリ秒）。</p>
Failsafes Total	<p>フェールセーフカンバセーションが再生された回数の合計。</p>
G.711a Sessions Current	<p>アクティブ G.711 (a-law) 音声セッションの現在の数。</p>

カウンタ	カウンタの説明
G.711a Sessions Total	Cisco Unity Connection の最後の再起動以降のアクティブ G.711a セッションの合計数。
G.711u Sessions Current	アクティブ G.711 (u-law) 音声セッションの現在の数。
G.711u Sessions Total	Cisco Unity Connection の最後の再起動以降のアクティブ G.711u セッションの合計数。
G.722 Sessions Current	アクティブ G.722 音声セッションの現在の数。
G.722 Sessions Total	Cisco Unity Connection の最後の再起動以降のアクティブ G.722 セッションの合計数。
G.729 Sessions Current	アクティブ G.729 音声セッションの現在の数。
G.729 Sessions Total	Cisco Unity Connection の最後の再起動以降のアクティブ G.729 セッションの合計数。
iLBC Sessions Current	アクティブ iLBC 音声セッションの現在の数。
iLBC Sessions Total	Cisco Unity Connection の最後の再起動以降のアクティブ iLBC セッションの合計数。
Meeting search delay [ms]	Cisco Unity Connection のサブスクリバが会議を検索するに要する遅延 (ミリ秒)。
Messages Deleted	Cisco Unity Connection が最後に再起動された時からの、TUI によって削除された音声メッセージの合計数。
Messages Forwarded	Cisco Unity Connection が最後に再起動された時からの、TUI によって転送された音声メッセージの合計数。
Messages Read	Cisco Unity Connection が最後に再起動された時からの、TUI によって読み取られた音声メッセージの合計数。
Messages Replied	Cisco Unity Connection が最後に再起動された時からの、TUI によって返信された音声メッセージの合計数。
Messages Sent	Cisco Unity Connection が最後に再起動された時からの、TUI によって送信された音声メッセージの合計数。
MRCP Define Grammar Delay [ms]	MRCP 定義文法要求に回答するまでの遅延 (ミリ秒単位)。
MRCP Define Grammar Delay Average [ms]	MRCP 定義文法要求に回答するまでの平均遅延 (ミリ秒)。
MRCP Define Grammar Delay Max [ms]	MRCP 定義文法要求に回答するまでの最大遅延 (ミリ秒)。
MRCP Delay [ms]	MRCP 要求に回答するまでの遅延 (ミリ秒)。

カウンタ	カウンタの説明
MRCP Delay Average [ms]	MRCP 要求に応答するまでの平均遅延（ミリ秒）。
MRCP Delay Max [ms]	MRCP 要求に応答するまでの最大遅延（ミリ秒）。
OPUS Sessions Current	アクティブな OPUS 音声セッションの現在の数が表示されます。
OPUS Sessions Total	Cisco Unity Connection の最後の再起動以降の OPUS 音声セッションが表示されます。
Sessions Current	コーデックのアクティブな音声セッションの現在の数。
Sessions Total	Cisco Unity Connection の最後の再起動以降の、任意のコーデックセッションの総数（G.711 mu-law と G.729）。
Subscriber Lookup Delay [ms]	Cisco Unity Connection サブスクライバが DTMF ID でサブスクリプションをロードするために発生する遅延（ミリ秒）。

CUC Sessions: VUI

CUC Sessions: VUI オブジェクトは、音声ユーザ インターフェイス（VUI）に関する情報を提供します。次の表には、CUC Sessions: VUI カウンタに関する情報が含まれます。

表 102: CUC Sessions: VUI

カウンタ	カウンタの説明
Delay - Subscriber Message Access [ms]	ユーザがメッセージにアクセスしようとしたときに発生する遅延。このカウンタは、メッセージを聞くことを指示する音声コマンドから、メッセージが実際に再生されるまでの時間を測定します。
Matches Total	VUI カンパセーションでの一致数の合計。
Messages Read	Cisco Unity Connection が最後に再起動された時からの、VUI によって読まれたメッセージの合計数。
No-matches Total	VUI カンパセーションでの不一致の数の合計。
Session Duration Average/call [s]	コール単位で測定された VUI セッションの平均持続時間（秒）。
Session Duration Total [s]	すべての VUI セッションの持続時間（秒）。
Sessions Current	任意のコーデックでのアクティブな VUI セッションの現在の数。
Sessions Total	任意のコーデックでの VUI セッションと音声セッションの数の合計。

CUC Sessions: Web

CUC Sessions: Web オブジェクトは、Cisco Personal Communications Assistant (Cisco PCA) セッションと Cisco Unity Connection の管理セッションについての情報を提供します。次の表に、CUC Sessions: Web カウンタに関する情報を示します。

表 103: CUC Sessions: Web

カウンタ	カウンタの説明
CPCA Authentication Delay Max [s]	ユーザーの受信トレイまたはアシスタントへの認証の最大遅延。
CPCA Failed Authentications Total	失敗した認証の数。
CPCA Pages Served Total	Cisco Unity Connection サーバによって処理された CPCA の総ページ数。
CPCA Requests In Queue Current	CPCA キューで処理を待っている要求の数。
CPCA Server Busy Pages Total	Cisco Unity Connection サーバによって処理が戻されたサーバページ数。
CPCA Sessions Current	CPCA セッションの現在の数。
CPCA Sessions Total	CPCA セッションの合計数。
CPCA Authentication Delay Max [s]	[システム管理者 (System Administrator)] ウィンドウの認証の最大遅延 (秒)。
CUCA Response Time Max [ms]	指定された要求に回答するための tomcat サーバに対する最大遅延 (ミリ秒)。

CUC Sessions: Web E-mail Access

CUC Sessions: Web E-mail Access オブジェクトは、Web 電子メールのアクセス セッション (IMAP) に関する情報を提供します。次の表には、CUC Sessions: Web E-mail Access カウンタに関する情報が含まれます。

表 104: CUC Sessions: Web E-mail Access

カウンタ	カウンタの説明
Messages Read - Total	Cisco Unity Connection の最後の再起動以降、読み取られた電子メールメッセージの合計数。
Session Duration Average [ms]	コール単位で測定されたすべての電子メールセッションの平均セッション持続時間 (ミリ秒単位)。
Session Duration Total [ms]	コール単位で測定されたすべてのメールセッションの合計セッション持続時間 (ミリ秒単位)。

カウンタ	カウンタの説明
Sessions - Current	アクティブな電子メール音声セッションの数。
Sessions - Total	Cisco Unity Connection の最後の再起動以降の電子メール音声セッションの総数。

CUC System Agent

CUC System Agent オブジェクトは、システムの定期的タスクに関する情報を記録します。次の表に、CUC System Agent カウンタに関する情報を示します。

カウンタ	カウンタの説明
Message Related Files Shredded Total	削除されたメッセージ関連ファイルの合計数。
Message Related Files Shredded Failed	削除に失敗したメッセージ関連ファイルの合計数
Total Number of Requests sent by HTTP[S]/CCI Link	リーダーにより送信された HTTP (S) 要求の累計数。
Total Number of successful response of HTTP[S]/CCI Requests	フィーダにより正常に処理された HTTP (S) 要求の累計数。
Total Number of failure response of HTTP[S]/CCI Requests	フィーダにより正常に処理されなかった HTTP (S) 要求の累計数。
Total Number of Directory Objects Successfully Processed	正常に処理されたディレクトリ オブジェクトの累計数。
Directory Objects Processed Successfully In Last One Minute	1分あたりの正常に処理されたディレクトリ オブジェクト。
メディアセンスの合計に送信されたリクエストの削除	Unity Connection の最後の再起動以降に MediaSense サーバに送信された削除要求の合計数。
合計削除中のメディア検出タイムアウト	Unity Connection の最後の再起動以降に MediaSense サーバに送信された削除要求に対する接続タイムアウトの合計数。

CUC VMREST

CUC VMREST オブジェクトは、内部 VMREST リクエストに関する情報を提供します。

次の表には、VMREST カウンタについての情報が含まれます。

カウンタ	カウンタの説明
VMREST アクティブスレッドの総数	アクティブなVMRESTスレッドの合計数を維持します。
VMREST で抑制されたリクエストの総数	スロットルセマフォによるスロットルされたVMREST リクエストの総数を維持します。
過去 1 時間の VMREST リクエストの総数	過去1時間のスロットルセマフォによるスロットルされたVMREST リクエストの総数を維持します。

CUC VMREST コンテナ

CUC VMREST Container オブジェクトは、外部クライアントからの VMREST リクエストを処理するための REST コンテナ操作に関する情報を提供します。

次の表には、VMREST カウンタについての情報が含まれます。

カウンタ	カウンタの説明
VMREST CONTAINER のアクティブなスレッドの総数	RESTコンテナのアクティブなVMRESTスレッドの総数を維持します。
VMREST CONTAINER で抑制されたリクエストの総数	RESTコンテナのスロットルセマフォによるスロットルされたVMREST リクエストの総数を維持します。
過去 1 時間の VMREST CONTAINER スロットルリクエストの総数	RESTコンテナのスロットルセマフォによるスロットルされたVMREST リクエストの過去 1 時間の合計数を維持します。

システム アラート

AuthenticationFailed

認証では、ログイン時に送信されるユーザIDとパスワードを検証します。無効なユーザIDまたはパスワードを使用すると、アラームが発生します。

デフォルト設定

表 105: AuthenticationFailed RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の頻度を越えた AuthenticationFailed イベントの数 最近 1 分間に 1 回
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

CiscoDRFFailure

このアラートは、障害回復フレームワーク (DRF) バックアップまたは復元処理でエラーが発生したときに生成されます。

デフォルト設定

表 106: CiscoDRFFailure RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効

値	デフォルト設定
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CiscoDRFFailure イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

CiscoHAProxyServiceDown

HAProxy サービスダウンアラームは、Unified Communications Manager および IM and Presence サービスへの着信 Web トラフィックがダウンしていることを示します。

次の表は、CiscoHAProxyServiceDown カウンタに関する情報を示しています。

Table 107: CiscoHAProxyServiceDown

カウンタ	カウンタの説明
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	警告
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされた場合、アラートがトリガーされます : スダウンイベントが生成された場合
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

CoreDumpFileFound

このアラートは、CoreDumpFileFound イベントが生成されたときに発生します。このアラートは、コア アンプ ファイルがシステムに存在することを示します。

デフォルト設定

表 108: CoreDumpFileFound RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CoreDumpFileFound イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
Trace download Parameters	[オフ (Not Selected)]
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

CpuPegging

CPU使用率は、設定可能なしきい値に基づいてモニタされます。使用率が、設定されているしきい値を上回ると、このアラートが生成されます。

デフォルト設定

表 109: CpuPegging RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 99%
期間	値がしきい値を 60 秒間継続的に下回った場合または超えた場合にだけアラートをトリガーする
頻度	30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

CriticalServiceDown

CriticalServiceDown アラートは、サービスのステータスがダウン状態の場合に生成されます（その他の状態の場合には生成されません）。

デフォルト設定

表 110: CriticalServiceDown RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効

値	デフォルト設定
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 サービス ステータスが DOWN である
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
Trace download Parameters	[Enable Trace Download] はオフになっている
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

DBChangeNotifyFailure

このアラートは、Cisco Database Notification サービスに問題が発生し、このサービスが停止する可能性がある場合に発生します。この状態は、データベース内でキューに入れられている変更通知要求が停止し、システムに加えられた変更内容が有効にならないことを示します。アラートが存在するノードで Cisco Database Layer Monitor が実行されているかどうかを確認します。実行されている場合、このサービスを再起動します。サービスを再起動してもこのアラートが安全な範囲に戻らない場合、**show tech notify** および **show tech dbstateinfo** の出力を収集し、対処方法についてシスコ テクニカル アシスタンス センター (TAC) までお問い合わせください。

デフォルト設定

表 111: DBChangeNotifyFailure RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 DBChangeNotify キューの遅延が 2 分を超えている

値	デフォルト設定
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	30分以内に最大1回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

DBReplicationFailure

このアラームは、Informix Dynamic Server (IDS) の複製に障害があることを示し、データベース管理者の介入を必要とします。



- (注) DBReplicationFailure は、(従来の DBReplicationFailure アラームではなく) 複製ステータス perfmon カウンタに基づいていることに注意してください。このアラートは、対応する複製ステータス perfmon カウンタの値が **3** (不正な複製) または **4** (複製の設定失敗) になったときにトリガーされます。

デフォルト設定

表 112: DBReplicationFailure RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 DBReplicationFailure が発生した
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	60分以内に最大1回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間

値	デフォルト設定
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

DBReplicationTableOutOfSync

デフォルト設定

表 113: DBReplicationTableOutOfSync RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 アラーム番号 888 の IDSReplicationFailure イベントが生成された。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	60 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

HardwareFailure

このアラートは、ハードウェア障害イベント（ディスクドライブの障害、電源の障害など）がトリガーされたときに発生します。

デフォルト設定

表 114: HardwareFailure RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 HardwareFailure イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

LogFileSearchStringFound

このアラートは、LogFileSearchStringFound イベントが生成されたときに発生します。これは、検索文字列がログ ファイル中に見つかったことを示します。

デフォルト設定

表 115: LogFileSearchStringFound RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	警告
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効

値	デフォルト設定
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 LogFileSearchStringFound イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

LogPartitionHighWaterMarkExceeded

このアラートは、ログパーティションの使用済みディスク領域のパーセンテージが、設定された上限を超えると発生します。このアラートが生成された場合、Log Partition Monitoring Tool (LPM) はログパーティション中のファイルを削除し（下限に達するまで）、ディスク領域が不足するのを防ぎます。



- (注) LPM により、保持しておきたいファイルが削除される可能性があります。LogPartitionLowWaterMarkExceeded アラートを受信した場合はすぐに対処してください。



- (注) この場合、**logpartitionhighwatermarkexceeded**が低いパーセンテージに設定され、一時フォルダから cdr/cmr ファイルを削除してから、**rtmt**を使用して、**alert** パラメータがデフォルト値の 95% に設定されていることを確認します。

デフォルト設定

表 116: LogPartitionHighWaterMarkExceeded RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル

値	デフォルト設定
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 ログパーティションの使用済みディスク領域が上限（95%）を超えている
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

LogPartitionLowWaterMarkExceeded

このアラートは、LogPartitionLowWaterMarkExceeded イベントが生成されたときに発生します。これは、ログパーティションの使用済みディスク領域のパーセンテージが、設定されている下限を超えたことを示します。



- (注) このアラートは早期に発生する警告であることに注意してください。管理者は、ディスク領域を空ける作業を開始する必要があります。RTMT/TLCを使用すると、トレースおよびログファイルの収集や、サーバからの削除を行うことができます。管理者は、再度下限を超えないように、トレースファイルの数を調整することを推奨します。

デフォルト設定

表 117: LogPartitionLowWaterMarkExceeded RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ（重大度）	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効

値	デフォルト設定
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 ログパーティションの使用済みディスク領域が下限（90%）を超えている
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

LowActivePartitionAvailableDiskSpace

このアラートは、アクティブパーティションの利用可能なディスク領域のパーセンテージが、設定されている値を下回ると発生します。

デフォルト設定

表 118: LowActivePartitionAvailableDiskSpace RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ（重大度）	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効

値	デフォルト設定
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 アクティブパーティションの利用可能ディスク領域が (4%) 未満である (注) お客様の環境では、80GB のディスクスペースを使用して設定された仮想マシンと、91%以上のスペースがディスクスペースおよびアクティブパーティション用に確保されている場合、使用率が 6% 増加すると、Unified Communications Managerのアップグレード後に LowActivePartitionAvailableDiskSpace アラートが自動的にトリガーされます。ここでアラートは、アクティブパーティションの使用可能なディスク領域が (2%) 以下の場合にトリガーされます。この問題を手動で修正するには、RTMT にログインする必要があります。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

LowAvailableVirtualMemory

RTMT は、仮想メモリの使用率をモニタしています。メモリが少なくなると、LowAvailableVirtualMemory アラートが生成されます。

デフォルト設定

表 119: LowAvailableVirtualMemory RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効

値	デフォルト設定
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 利用可能な仮想メモリが (30%) 未満である
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

LowInactivePartitionAvailableDiskSpace

このアラートは、非アクティブパーティションの利用可能なディスク領域のパーセンテージが、設定されている値を下回ると発生します。

デフォルト設定

表 120: LowInactivePartitionAvailableDiskSpace RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 非アクティブパーティションの利用可能ディスク領域が (4%) 未満である
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン

値	デフォルト設定
トリガーアラートアクション	デフォルト

LowSwapPartitionAvailableDiskSpace

このアラートは、スワップパーティションの利用可能ディスク領域が少ないことを示します。



- (注) スワップパーティションは仮想メモリの一部なので、スワップパーティションとして利用可能なディスク領域が不足すると仮想メモリも不足することになります。

デフォルト設定

表 121: LowSwapPartitionAvailableDiskSpace RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 スワップパーティションの利用可能ディスク領域が (10%) 未満である
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

ServerDown

このアラートは、リモート ノードに到達できない場合に発生します。



- (注) Unified Communications Manager クラスタのみ：ServerDown アラートは、現在アクティブな AMC (プライマリ AMC、またはプライマリ AMC が使用不可の場合にはバックアップ AMC) がクラスタ内の別のサーバに到達できない場合に生成されます。このアラートは、サーバダウン状態以外に、ネットワーク接続の問題も示します。

デフォルト設定

表 122: ServerDown RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 ServerDown が発生した
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	60 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

SparePartitionHighWaterMarkExceeded

このアラートは、SparePartitionHighWaterMarkExceeded イベントが生成されたときに発生します。このアラートは、予備パーティション内の使用済みディスク領域のパーセンテージが、設定されている上限を超えたことを示します。

デフォルト設定

表 123: SparePartitionHighWaterMarkExceeded RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 予備パーティションの使用済みディスク領域が上限 (95%) を超えている
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

SparePartitionLowWaterMarkExceeded

このアラートは、SparePartitionLowWaterMarkExceeded イベントが生成されたときに発生します。このアラートは、予備パーティションの使用済みディスク領域のパーセンテージが、下限しきい値を超えたことを示します。

デフォルト設定

表 124: SparePartitionLowWaterMarkExceeded RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効

値	デフォルト設定
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 予備パーティションの使用済みディスク領域が下限（90%）を超えている
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

SyslogSeverityMatchFound

このアラートは、SyslogSeverityMatchFound イベントが生成されたときに発生します。このアラートは、一致するシビラティ（重大度）を含む syslog メッセージが存在することを示します。

デフォルト設定

表 125: SyslogSeverityMatchFound RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ（重大度）	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 SyslogSeverityMatchFound イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
Syslog セキュリティパラメータ	重大

値	デフォルト設定
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

SyslogStringMatchFound

このアラートは、SyslogStringMatchFound イベントが生成されたときに発生します。このアラートは、一致する検索文字列を含む syslog メッセージが存在することを示します。

デフォルト設定

表 126: SyslogStringMatchFound RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 SyslogStringMatchFound イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
Syslog Alert Parameters	(検索文字列のテキスト ボックス)
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

SystemVersionMismatched

このアラートは、システムのバージョンが一致しない場合に発生します。

TotalProcessesAndThreadsExceededThreshold

デフォルト設定

表 127: SystemVersionMismatched RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 SystemVersionMismatched が発生した
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	60 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

TotalProcessesAndThreadsExceededThreshold

このアラートは、TotalProcessesAndThreadsExceededThreshold イベントが生成されたときに発生します。このアラートは、プロセスおよびスレッドの現在の合計数が、Cisco RIS Data Collector サービスパラメータに設定されている最大タスク数を超過していることを示します。この場合、プロセスがリークしているか、プロセスでスレッドリークが発生している可能性があります。

デフォルト設定

表 128: TotalProcessesAndThreadsExceededThreshold RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル

値	デフォルト設定
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 TotalProcessesAndThreadsExceededThreshold イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

音声およびビデオ アラート

BeginThrottlingCallListBLFSubscriptions

このアラートは、BeginThrottlingCallListBLFSubscriptions イベントが生成されたときに発生します。これは、システムの過負荷を避けるために、Unified Communications Manager が CallList BLF サブスクリプションの制御を開始したことを示します。

デフォルト設定

表 129: BeginThrottlingCallListBLFSubscriptions RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 BeginThrottlingCallListBLFSubscriptions イベントが生成された

値	デフォルト設定
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

CallAttemptBlockedByPolicy

デフォルト設定

表 130: CallAttemptBlockedByPolicy RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	警告
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CallAttemptBlockedByPolicy イベントが生成された。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

CallProcessingNodeCpuPegging

このアラートは、コール処理サーバの CPU 負荷率が、設定された時間で設定された割合を超えたときに発生します。

管理者が対処しない場合、特に CallManager サービスで、CPU の高い使用率が原因で Unified Communications Manager がクラッシュするおそれがあります。CallProcessingNodeCpuPegging アラートにより、クラッシュを未然に防ぐことができます。

CPU 使用率が急上昇する場合、CallProcessingNodeCpuPegging に加えて、CoreDumpFound アラーム、CriticalServiceDown アラーム、SDLLinkOutOfService アラーム、および NumberOfRegisteredPhonesDropped alarms アラームなどの他のアラームが発行される場合があります。



- (注) Unified Communications Manager の VMware インストール時に DRF バックアップや管理ツールの一括エクスポートなどのタスクを実行すると、CPU 使用率が急上昇する場合があります。一般に、CPU 使用率の急上昇の原因となるプロセスは、gzip および DRFLocal です。

システムが CallProcessingNodeCpuPegging アラームを生成する場合は、システムの Open Virtualization Archive (OVA) テンプレートの仕様に従い、Unified Communications Manager で 7500 人のユーザをサポートするための vCPU を追加します。

デフォルト設定

表 131 : CallProcessingNodeCpuPegging RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 プロセッサの負荷が (90%) を超えている
期間	値がしきい値を 60 秒間継続的に下回った場合または超えた場合にだけアラートをトリガーする
頻度	30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間

値	デフォルト設定
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

CARIDSEngineCritical

デフォルト設定

表 132: CARIDSEngineCritical RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CARIDSEngineCritical イベントが生成された。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

CARIDSEngineFailure

デフォルト設定

表 133: CARIDSEngineFailure RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	エラー
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CARIDSEngineFailure イベントが生成された。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

CARSchedulerJobFailed

デフォルト設定

表 134: CARSchedulerJobFailed RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	エラー
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効

値	デフォルト設定
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CARSchedulerJobFailed イベントが生成された。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

CDRAgentSendFileFailed

このアラートは、CDR Agent が Unified Communications Manager ノードから Unified Communications Manager クラスタ内の CDR リポジトリ ノードに CDR ファイルを送信できない場合に発生します。

デフォルト設定

表 135: CDRAgentSendFileFailed RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CDRAgentSendFileFailed イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン

値	デフォルト設定
トリガーアラートアクション	デフォルト

CDRFileDeliveryFailed

このアラートは、外部の課金サーバへの CDR ファイルの FTP 配信が失敗した場合に発生します。

デフォルト設定

表 136: CDRFileDeliveryFailed RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CDRFileDeliveryFailed イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

CDRHighWaterMarkExceeded

このアラートは、CDR ファイルの上限を超えた場合に発生します。また、このアラートは、正常に配信された CDR ファイルのいくつかが消滅されたことも示します。

デフォルト設定

表 137: CDRHighWaterMarkExceeded RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CDRHighWaterMarkExceeded イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

CDRMaximumDiskSpaceExceeded

このアラームは、CDR ファイルのディスク使用率が最大ディスク割り当てを超えたときに発生します。また、このアラームは、未配信のファイルがいくつか削除されたことも示します。

デフォルト設定

表 138: CDRMaximumDiskSpaceExceeded RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効

値	デフォルト設定
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CDRMaximumDiskSpaceExceeded イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

CiscoElmNotConnected

デフォルト設定

表 139: CiscoElmNotConnected RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	警告
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CiscoElmNotConnected イベントが生成された。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

CiscoGraceTimeLeft

デフォルト設定

表 140: CiscoGraceTimeLeft RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	情報
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CiscoGraceTimeLeft イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

CiscoNoProvisionTimeout

デフォルト設定

表 141: CiscoNoProvisionTimeout RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	エラー
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効

値	デフォルト設定
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CiscoNoProvisionTimeout イベントが生成された。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

CiscoSystemInDemo

デフォルト設定

表 142: CiscoSystemInDemo RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	警告
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CiscoSystemInDemo イベントが生成された。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

CiscoSystemInOverage

デフォルト設定

表 143: CiscoSystemInOverage RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	警告
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CiscoSystemInOverage イベントが生成された。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

CiscoSystemSecurityMismatch

デフォルト設定

表 144: CiscoSystemSecurityMismatch RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	警告
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効

値	デフォルト設定
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 CiscoSystemSecurityMismatch イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

CodeYellow

AverageExpectedDelay カウンタは、着信メッセージを処理する現在の平均予測遅延を表します。値が Code Yellow Entry Latency サービス パラメータで指定されている値を超えた場合、CodeYellow アラームが生成されます。CodeYellow アラートは、トラブルシューティングの目的でトレース ファイルをダウンロードするように設定できます。

デフォルト設定

表 145: CodeYellow RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 Cisco CallManager CodeYellowEntry イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間

値	デフォルト設定
Trace download Parameters	[Enable Trace Download] はオフになっている
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

DDRBlockPrevention

このアラートは、アラーム番号 31 の `IDSReplicationFailure` アラームが発生したときにトリガーされます。このアラームは、サービスの拒否を避けるための予防的なプロシージャを呼び出します。このプロシージャはコール処理に影響を与えないので、このプロセス中に複製アラームを無視できます。

このプロシージャは、完了するまでに最大 60 分かかります。このプロシージャが完了したことを確認するには、各ノードの `RTMT` 複製ステータスが 2 になっていることを確認します。このプロセス中にシステムをリポートしないでください。

デフォルト設定

表 146: `DDRBlockPrevention RTMT` アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 アラーム番号 31 の <code>IDSReplicationFailure</code> アラームが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	60 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

DDRDown

このアラートは、アラーム番号 32 の `IDSReplicationFailure` アラームが発生したときにトリガーされます。バックグラウンドで自動回復プロシージャが実行されるので、対処は必要ありません。

このプロシージャは、完了するまでに約 15 分かかります。このプロシージャが完了したことを確認するには、各ノードの `RTMT` 複製ステータスが 2 になっていることを確認します。

デフォルト設定

表 147: `DDRDown RTMT` アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 アラーム番号 32 の <code>IDSReplicationFailure</code> アラームが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	60 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

EMCCFailedInLocalCluster

デフォルト設定

表 148: `EMCCFailedInLocalCluster RTMT` アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン

値	デフォルト設定
シビラティ (重大度)	エラー
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 EMCCFailedInLocalCluster イベントが生成された。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

EMCCFailedInRemoteCluster

デフォルト設定

表 149: EMCCFailedInRemoteCluster RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	警告
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 EMCCFailedInRemoteCluster イベントが生成された。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間

値	デフォルト設定
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

ExcessiveVoiceQualityReports

このアラートは、設定されている時間間隔中に報告された Quality Report Tool (QRT) の回数が、設定されている値を超えたときに生成されます。デフォルトのしきい値は、60分以内に0回です。

デフォルト設定

表 150: ExcessiveVoiceQualityReports RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 品質レポートの回数が最近 60 分間で 0 回を超えている
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

ILSHubClusterUnreachable

デフォルト設定

表 151: ILSHubClusterUnreachable RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	アラート
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 リモート ILS サーバとの接続を確立できない。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

ILSPwdAuthenticationFailed

デフォルト設定

表 152: ILSPwdAuthenticationFailed RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	アラート
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効

値	デフォルト設定
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 リモート クラスタでの ILS によるパスワード認証が失敗した。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

ILSTLSAuthenticationFailed

デフォルト設定

表 153: *ILSTLSAuthenticationFailed* RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	アラート
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 リモート クラスタで ILS への TLS 障害が発生した。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

IMEDistributedCacheInactive

このアラームは、Unified Communications Manager が Cisco IME サーバに接続を試行したものの、IME 分散キャッシュがアクティブでない場合に生成されます。

Cisco IME サーバの証明書がプロビジョニングされていることと、IME 分散キャッシュがアクティブ化されていることを CLI を使用して確認します。

デフォルト設定

表 154: IMEDistributedCacheInactive アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	エラー
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 非アクティブな IME 分散キャッシュ
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

IMEOverQuota

このアラートは、この Cisco IME サービスを使用する Unified Communications Manager サーバが、IME 分散キャッシュに対してパブリッシュされたダイヤルイン (DID) 数の割り当てを超えたことを示します。アラートには、Cisco IME サーバの名前に加え、現在およびターゲットの割り当て値が含まれます。

この Cisco IME サービスを使用するすべての Unified Communications Manager サーバで DID プレフィックスが正しくプロビジョニングされていることを確認します。

プレフィックスが正しくプロビジョニングされている場合は、Cisco IME サービスの容量を超えています。サービスをもう 1 つ設定し、異なる Cisco IME サービス上の Cisco IME クライア

ントインスタンス（Unified Communications Manager）に DID プレフィックスを分割する必要があります。

デフォルト設定

表 155: IMEOverQuota アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ（重大度）	アラート
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 VAP 割り当て超過
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

IMEQualityAlert

このアラートは、IP ネットワーク品質の問題によってかなりの数の Cisco IME コールが PSTN にフェールバックされたか、コールが確立されなかったことを Unified Communications Manager が特定したときに生成されます。このアラートは次の2種類のイベントによってトリガーされます。

- 現在アクティブな多数の Cisco IME コールがすべてフェールバックを要求した、または PSTN にフェールバックされた場合。
- 直近の多数のコールの試行が PSTN に送信されたが、IP 上に確立されなかった場合。

このアラートを受信したときは、IP 接続を確認します。IP 接続に問題がない場合、CDR、CMR、およびファイアウォールのログを確認し、コールが PSTN にフェールバックされた理由または IP 上に確立されなかった理由を判別します。

デフォルト設定

表 156: IMEQualityAlert アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	エラー
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 Cisco IME リンク 品質の問題
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

IMEServiceStatus

このアラートは、特定の Cisco IME クライアント インスタンス (Unified Communications Manager) の Cisco IME サービスに対する接続の全体的な健全性を示します。アラートは次の状態を示します。

- 0: 不明。Cisco IME サービスがアクティブ化されていないことを示している可能性があります。
- 1: 健全。Unified Communications Manager が Cisco IME クライアント インスタンスのプライマリおよびバックアップサーバ (設定されている場合) への接続を正常に確立したことを示します。
- 2: 動作不良。Cisco IME はアクティブ化されているが、Cisco IME サーバとのハンドシェイク手順を正常に完了していないことを示します。このカウンタの値はプライマリ IME サーバとセカンダリ IME サーバの両方のハンドシェイク ステータスを反映していることに注意してください。

デフォルト設定

表 157: IMEServiceStatus アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 VAP 接続の問題
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	60 分ごとに最大 1 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

InsufficientFallbackIdentifiers

このアラートは、同一のフォールバック DID を使用する現在進行中の Cisco IME コールが多すぎて、Unified Communications Manager が処理している新しい Cisco IME コールに割り当てる DTMF デジットシーケンスが足りないときに生成されます。新しいコールは継続しますが、音声品質が低下しても PSTN にフォールバックすることができません。

このアラームが生成された場合、このコールに関連付けるフォールバックプロファイルを確認します。Cisco Unified Communications Manager の管理、ページでプロファイルを確認し、[関連 DTMF 番号のフォールバック番号 (「Fallback Number of Correlation DTMF Digits」)] フィールドの現在の設定を調べます。このフィールドの値を 1 つ上げて、新しい値によってこれらのアラートが解消されるかどうかを確認します。一般に、このパラメータは十分大きい値にする必要があります。このプロファイルに関連付ける登録数に対して作成された Cisco IME 同時コール数が、この登録数を指数とする 10 の累乗の値よりも常にずっと低くなるようにします。たとえば、このフォールバックプロファイルに関連付けるパターンの Cisco IME 同時コール数が常に 10,000 未満である場合、この値を 5 に設定する (10 の 5 乗は 100,000) ことで、Unified Communications Manager からこのアラートが生成されなくなります。

ただし、この値を大きくすると、フォールバックに要する時間が若干長くなります。このため、「**関連 DTMF 番号のフォールバック番号 (Fallback Number of Correlation DTMF Digits)**」フィールドの値は、このアラートが生成されない程度に大きい値を設定する必要があります。

DTMF デジタル フィールドの値を大きくする代わりに、異なるフォールバック DID を持つ別のフォールバック プロファイルを追加して、より少ない数の登録パターンをそのフォールバック プロファイルに関連付けることができます。この方法を使用すると、より少ない桁数を使用できます。

デフォルト設定

表 158: *InsufficientFallbackIdentifiers* アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	エラー
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 フォールバック ID を割り当てることができない
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	1 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

InvalidCredentials

このアラートは、Unified Communications Manager で設定されたユーザ名とパスワードが Cisco IME サーバで設定されたものと一致しないために、Unified Communications Manager が Cisco IME サーバに接続できないことを示します。

アラートには、Cisco IME サーバへの接続に使用されたユーザ名とパスワードに加え、ターゲット Cisco IME サーバの IP アドレスおよび名前が含まれます。このアラートを解決するには、Cisco IME サーバにログインし、設定されているユーザ名およびパスワードが Unified

Communications Manager で設定されているユーザ名およびパスワードと一致することを確認します。

デフォルト設定

表 159: *InvalidCredentials* アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	アラート
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 Cisco IME サーバへのクレデンシャルが失敗した
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

LocationOutOfResource

このアラートは、LocationOutOfResource イベントの回数が、設定されている時間間隔中に、設定されているしきい値を超えたときに発生します。これは、ロケーションまたはリンクの音声、ビデオ、またはイマーシブ帯域幅のいずれか、またはすべてが使い尽くされたことを示します。

デフォルト設定

表 160: *LocationOutOfResource* アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン

値	デフォルト設定
シビラティ (重大度)	警告
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。LocationOutOfResource イベントが 60 秒以内に 5 回生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

MaliciousCallTrace

これは、Unified Communications Manager に迷惑呼が存在することを示します。迷惑呼の識別 (MCID) 機能が呼び出されます。

デフォルト設定

表 161: MaliciousCallTrace RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 迷惑呼トレースが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする

値	デフォルト設定
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

MediaListExhausted

このアラートは、MediaListExhausted イベントの回数が、設定されている時間間隔中に、設定されているしきい値を超えたときに発生します。このアラートは、メディアリストで定義されている使用可能なメディア リソースがすべて使用中であることを示します。デフォルトの値は、60 分以内に 0 回です。

デフォルト設定

表 162: MediaListExhausted RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	警告
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 MediaListExhausted イベントの回数が最近 60 分間で 0 回を超えている
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

MgcpDChannelOutOfService

このアラートは、メディア ゲートウェイ コントロール プロトコル (BRI) D チャネルがアウト オブ サービスのままである場合にトリガーされます。

デフォルト設定

表 163: MgcpDChannelOutOfService RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 MGCP DChannel がアウト オブ サービスである
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

NumberOfRegisteredDevicesExceeded

このアラートは、NumberOfRegisteredDevicesExceeded イベントが生成されたときに発生します。

デフォルト設定

表 164: NumberOfRegisteredDevicesExceeded RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン

値	デフォルト設定
シビラティ（重大度）	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 NumberOfRegisteredDevicesExceeded イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

NumberOfRegisteredGatewaysDecreased

このアラートは、クラスタに登録されたゲートウェイの数が、連続したポーリング間で減少したときに発生します。

デフォルト設定

表 165: NumberOfRegisteredGatewaysDecreased RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ（重大度）	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 登録されたゲートウェイの数が減少した
期間	すぐにアラートをトリガーする

NumberOfRegisteredGatewaysIncreased

値	デフォルト設定
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

NumberOfRegisteredGatewaysIncreased

このアラートは、クラスタに登録されたゲートウェイの数が、連続したポーリング間で増加したときに発生します。

デフォルト設定

表 166: *NumberOfRegisteredGatewaysIncreased* RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 登録されたゲートウェイの数が増加した
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

NumberOfRegisteredMediaDevicesDecreased

このアラートは、クラスタに登録されたメディアデバイスの数が、連続したポーリング間で減少したときに発生します。

デフォルト設定

表 167: *NumberOfRegisteredMediaDevicesDecreased* RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 登録されたメディア デバイスの数が減少した
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

NumberOfRegisteredMediaDevicesIncreased

このアラートは、クラスタに登録されたメディアデバイスの数が、連続したポーリング間で増加したときに発生します。

デフォルト設定

表 168: *NumberOfRegisteredMediaDevicesIncreased* RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 登録されたメディア デバイスの数が増加した
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間

NumberOfRegisteredPhonesDropped

値	デフォルト設定
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

NumberOfRegisteredPhonesDropped

このアラートは、クラスタに登録された電話機の数、連続したポーリング間で、設定されている割合を超えて減少したときに発生します。

デフォルト設定

表 169: *NumberOfRegisteredPhonesDropped* RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 クラスタに登録された電話機の数 (10%) 減少した
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

RecordingCallSetupFail

デフォルト設定

表 170: *RecordingCallSetupFail* RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン

値	デフォルト設定
シビラティ (重大度)	エラー
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 RecordingCallSetupFail イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

RecordingGatewayRegistrationRejected

デフォルト設定

表 171 : RecordingGatewayRegistrationRejected RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	エラー
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 RecordingGatewayRegistrationRejected イベントが生成された。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間

値	デフォルト設定
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

RecordingGatewayRegistrationTimeout

デフォルト設定

表 172: RecordingGatewayRegistrationTimeout RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	エラー
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 RecordingGatewayRegistrationTimeout イベントが生成された。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

RecordingGatewaySessionFailed

デフォルト設定

表 173: RecordingGatewaySessionFailed RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	エラー
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 RecordingGatewaySessionFailed イベントが生成された。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

RecordingResourcesNotAvailable

デフォルト設定

表 174: RecordingResourcesNotAvailable RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	警告
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効

値	デフォルト設定
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 RecordingGatewayRegistrationTimeout イベントが生成された。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

RecordingSessionTerminatedUnexpectedly

デフォルト設定

表 175: RecordingSessionTerminatedUnexpectedly RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	エラー
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 RecordingCallSetupFail イベントが生成された。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

RouteListExhausted

このアラートは、RouteListExhausted イベントの回数が、設定されている時間間隔中に、設定されているしきい値を超えたときに発生します。このアラートは、ルートリストで定義されている使用可能なチャンネルがすべて使用中であることを示します。デフォルトの値は、60分以内に0回です。

デフォルト設定

表 176: RouteListExhausted RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	警告
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 RouteListExhausted の回数が最近 60 分間で 0 回を超えている
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

RTMTSessionsExceedsThreshold

デフォルト設定

表 177: RTMTSessionsExceedsThreshold RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	アラート

値	デフォルト設定
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 ast セッションの数が 250 を超える場合。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

SDLLinkOutOfService

このアラートは、SDLLinkOutOfService イベントが生成されたときに発生します。このイベントは、ローカルの Unified Communications Manager がリモートの Unified Communications Manager と通信できないことを示します。通常、このイベントは、ネットワークエラーまたはリモート Unified Communications Manager が実行されていないことを示します。

デフォルト設定

表 178: SDLLinkOutOfService RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ（重大度）	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 SDLLinkOutOfService イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする

値	デフォルト設定
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

SmartLicense_SLR_InEval

このアラートは、評価期間で実行中の Cisco Unified Communications Manager が、指定されたライセンスの予約に対して有効になっており、予約済み承認コードのインストールが保留中の場合に発生します。

デフォルト設定

表 179: SmartLicense_SLR_InEval RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	警告
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします。 SmartLicense_SLR_InEval イベントが生成されました
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

SmartLicense_SLR_NoProvision_EvalExpired

このアラートは、ユニファイドコミュニケーションマネージャライセンスの評価期間が終了し、指定されたライセンス予約承認コードのインストールが保留中の場合に発生します。

デフォルト設定

表 180: SmartLicense_SLR_NoProvision_EvalExpired RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします。 SmartLicense_SLR_NoProvision_EvalExpired イベントが生成されました
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

SmartLicense_SLR_ExportControlNotAllowed

このアラートは、ユニファイドコミュニケーションマネージャが混合モードで、特定のライセンスの予約が有効になっており、ユニファイドコミュニケーションマネージャが評価モードの場合、評価期間の期限が切れ、登録済みのライセンスがある場合に発生します。予約状態。

デフォルト設定

表 181: SmartLicense_SLR_ExportControlNotAllowed RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	アラート
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効

値	デフォルト設定
しきい値	次の条件が満たされた場合にアラートをトリガーします。 SmartLicense_SLR_ExportControlNotAllowed イベントが生成されました
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

TCPSetupToIMEFailed

このアラートは、Cisco Unified Communications Manager が Cisco IME サーバへの TCP 接続を確立できないときに発生します。このアラートは一般に、Cisco IME サーバの IP アドレスとポートが Unified Communications Manager Administration で正しく設定されていない場合か、インターネット接続の問題が存在するために接続が確立されない場合に発生します。

アラートの Cisco IME サーバの IP アドレスとポートが有効であることを確認します。問題が解決しない場合は、Unified Communications Manager サーバと Cisco IME サーバ間の接続をテストします。

デフォルト設定

表 182: TCPSetupToIMEFailed アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 Cisco IME サーバへの接続に失敗した
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする

値	デフォルト設定
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

TLSConnectionToIMEFailed

このアラートは、Cisco IME サービスによって提示された証明書の期限が切れていたか、証明書が Unified Communications Manager CTL になかったために、Cisco IME サービスへの TLS 接続を確立できなかったときに発生します。

Cisco IME サービス証明書が Unified Communications Manager に設定されていることを確認します。

デフォルト設定

表 183: TLSConnectionToIMEFailed アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	アラート
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 Cisco IME サービスへの TLS 障害が発生した
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

UserInputFailure

デフォルト設定

表 184: UserInputFailure RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	警告
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 UserInputFailure イベントが生成された。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	30 分以内に最大 3 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

IM and Presence Service アラート

CTIGWModuleNotEnabled

アラートの説明

このアラートは、Cisco CTI ゲートウェイ アプリケーションが、設定が不十分であるかまたはイネーブルでないことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco CTI ゲートウェイ アプリケーションを設定して有効にするには、[ユニファイドコミュニケーション マネージャー IM and プレゼンス CTI ゲートウェイの設定 (Cisco CTI gateway Settings)] ページを使用します。

CTIGWProviderFailedToOpen

タイプ

IM and Presence Service

アラートの説明

このアラートは、CTIプロバイダーが設定エラーが原因で開けなかったことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし。

推奨処置

Administration GUI の [CTI 設定 (CTI Settings)] ページで、Unified Communications Manager のアドレスとアプリケーションのユーザ クレデンシヤルを確認します。

CTIGWQBFailedRequest

アラートの説明

このアラートは、Cisco CTI ゲートウェイ アプリケーションが、要求に対して失敗応答を受信したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

CTIGWSystemError

アラートの説明

このアラートは、Cisco CTI ゲートウェイ アプリケーション システムのエラーを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

CTIGWUserNotAuthorized

アラートの説明

このアラートは、不正なデバイスまたは回線 DN が原因で、ユーザが承認されなかったことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

ユーザのデバイス設定および MOC 設定を確認します。

CTIGWUserNotLicenced

アラートの説明

このアラートは、ユーザには有効なライセンスがないため、認証できないことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco CTI ゲートウェイ アプリケーションのライセンスとユーザ設定を確認します。

EspConfigAgentFileWriteError

アラートの説明

このアラートは、Cisco Config Agent サービスがファイル システムに書き込むことができないことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、ディスク容量が少なくなっていること、または使い尽くされていることを確認します。このアラームは、システムが過負荷になっているため、ユーザを IM and Presence Service クラスタ内の他のノードに再割り当てする必要があることを示す場合があります。ユーザを他のノードに再割り当てするには、IM and Presence Service Administration GUI の [トポロジ (Topology)] ページを使用します。

EspConfigAgentHighCPUUtilization

アラートの説明

このアラートは、CPU 使用率が設定されたしきい値を超えたことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Unified RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

EspConfigAgentHighMemoryUtilization

アラートの説明

このアラートは、仮想メモリの使用率が設定されたしきい値を超えたことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Unified RTMT を使用してメモリ使用率をモニタし、必要に応じてパフォーマンスを向上させるためにシステム負荷を減らしてください。

EspConfigAgentLocalDBAccessError

アラートの説明

このアラートは、Cisco Config Agent サービスでの IM and Presence Service のローカル データベースの読み取りまたは書き込みが失敗したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用してシステムの状態を確認してください。A Cisco DB サービスが実行していることを確認してください。

EspConfigAgentMemAllocError

アラートの説明

このアラートは、Cisco Config Agent サービスがメモリを割り当てることができないことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Unified RTMT を使用して、システムの共有メモリが少なくなっていること、または使い尽くされていることを確認します。このアラームは、システムが過負荷になっているため、ユーザを IM and Presence Service クラスタ内の他のノードに再割り当てする必要があることを示す場合があります。ユーザを他のノードに再割り当てするには、IM and Presence Service Administration GUI の [トポロジ (Topology)] ページを使用します。

EspConfigAgentNetworkOutage

アラートの説明

このアラートは、Cisco Config Agent のネットワーク停止を示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、システムの状態とネットワーク接続を確認してください。

EspConfigAgentNetworkRestored

アラートの説明

このアラートは、Cisco Config Agent ネットワークが復元されたことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、システムの状態とネットワーク接続を確認してください。

EspConfigAgentProxyDomainNotConfigured

アラートの説明

このアラートは、Cisco Config Agent サービスが設定されていないことを示します。Cisco Config Agent サービスでは、ACL を適切に生成するために、プロキシドメインを使用します。このサービスが設定されていないと、ルーティング障害が起きる場合があります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

IM and Presence Service パブリッシャの [サービスパラメータ (Service Parameters)] ドロップダウンメニューに移動します。[Cisco SIP Proxy] サービスを選択します。プロキシドメインサービスパラメータとして IM and Presence Service ドメインを入力して保存します。

EspConfigAgentRemoteDBAccessError

アラートの説明

このアラートは、Cisco Config Agent サービスが IM and Presence Service サービスのリモートデータベースにアクセスできないことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

A Cisco DB サービスが、アラートで指定されているノード上で実行されていることを確認してください。これらのエラーは一時的な場合があります。たとえば、Config Agent が、何らかの理由で使用できなくなっているリモートノードにアクセスしようとしている場合です。そのような場合、このエラーが表示されることがあります。これは、インストールされていない、または使用可能でないノードにユーザを再割り当てすると起きる場合があります。

EspConfigAgentSharedMemoryStaticRouteError

アラートの説明

このアラートは、Cisco Config Agent サービスが、共有メモリ内のスタティックルートにアクセスできなかったことを示します。これは、システムのメモリが不足していることを示す場合があります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、システムの共有メモリが少なくなっていること、または使い尽くされていることを確認します。このアラームは、システムが過負荷になっているため、ユーザを IM and Presence Service クラスタ内の他のノードに再割り当てする必要があることを示す場合があります。ユーザを他のノードに再割り当てするには、Administration GUI の [トポロジ (Topology)] ページを使用します。

ESPConfigError

アラートの説明

このアラートは、Cisco SIP プロキシサービスのコンフィギュレーションファイルエラーを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco Config Agent サービスが実行されていることを確認します。このサービスは、プロキシコンフィギュレーションファイルの書き込みに使用します。

ESPConfigNotFound

アラートの説明

このアラートは、Cisco SIP プロキシサービスのコンフィギュレーションファイルが見つからないことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

IM and Presence サーバに、コンフィギュレーションファイル
/usr/local/sip/conf/sipd.conf および
/usr/local/sip/conf/dynamic.sipd.conf があることを確認してください。

ESPCreateLockFailed

アラートの説明

このアラートは、ロックファイルが作成されていないことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシサービスのトレースログファイルで詳細なエラーメッセージを確認してください。

ESPLoginError

アラートの説明

このアラートは、ログインデータストアと通信中にエラーが発生したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシサービスのトレースログファイルで詳細なエラーメッセージを確認してください。

ESPMallocFailure

アラートの説明

このアラートは、メモリの割り当てに失敗したことを示します。サーバに軽度のメモリ問題があるか、またはメモリ問題がないことを示す場合があります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Unified RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

ESPNAPTRInvalidRecord

アラートの説明

このアラートは、NAPTR レコードの形式エラーを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

ESPPassedParamInvalid

アラートの説明

このアラートは、無効なパラメータが指定されていることを示します。パラメータが null であるために発行される場合もあります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Unified RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

ESPRegistryError

アラートの説明

このアラートは、リソース制限を超えたため SIP レジストリに登録を追加することができないことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

ESPRoutingError

アラートの説明

このアラートは、SIP ルート インターフェイス リソース制限の超過エラーを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

ESPSharedMemAllocFailed

アラートの説明

このアラートは、テーブルの初期化を試みている間に、Cisco SIP Proxy サービスが共有メモリのセグメントを割り当てられなかったことを示しています。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

Unified RTMT を使用して、システムの共有メモリを検査し、Cisco SIP Proxy サービスのトレース ログ ファイルでエラー メッセージの詳細情報を確認して、Cisco TAC に連絡してください。

ESPSharedMemCreateFailed

アラートの説明

このアラートは、テーブルの初期化を試みている間に、Cisco SIP Proxy サービスが共有メモリのセグメントを作成できなかったことを示しています。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

Unified RTMT を使用して、システムの共有メモリを検査し、Cisco SIP Proxy サービスのトレース ログ ファイルでエラー メッセージの詳細情報を確認して、Cisco TAC に連絡してください。

ESPSharedMemSetPermFailed

アラートの説明

このアラートは、テーブルの初期化を試みている間に、Cisco SIP Proxy サービスが共有メモリのセグメントに権限を設定できなかったことを示しています。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

Unified RTMT を使用して、システムの共有メモリを検査し、Cisco SIP Proxy サービスのトレース ログ ファイルでエラー メッセージの詳細情報を確認して、Cisco TAC に連絡してください。

ESPSocketError

アラートの説明

このアラートは、バインディング エラー（ソケット アドレス取得の失敗など）によって発生するネットワーク ソケット エラーを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

ESPStatsLogFileOpenFailed

アラートの説明

このアラートは、Cisco SIP プロキシ サービスのステータス ログ ファイルをオープンできなかったことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

ESPStopped

アラートの説明

このアラートは、Cisco SIP Proxy サービスの子プロセスが停止したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

管理者が手動でプロキシサービスを停止しなかった場合、これは何らかの問題を示している可能性があります。Unified RTMT を使用して関連するアラームをチェックして、Cisco TAC に連絡してください。

ESPVirtualProxyError

アラートの説明

このアラートは Virtual_Proxy_Domain 関連のエラーを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

ESPWrongHostName

アラートの説明

このアラートは、無効な IP アドレスまたは解決できないホスト名を示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

ESPWrongIPAddress

アラートの説明

このアラートは、無効な IP アドレスが入力されたことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

ICSACertificateCAsignedTrustCertFound

アラートの説明

このアラートは、Cisco Intercluster Sync Agent サービスが署名済み CA 信頼証明書を検出したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

無署名 CA 信頼証明書のみを許可するようにします。

ICSACertificateFingerprintMismatch

アラートの説明

このアラートは、Cisco Intercluster Sync Agent サービスが、処理される証明書にフィンガープリントの不一致を検出したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

ソース サーバの証明書と、このサーバにロードされる証明書を比較するために、IM and Presence Service の OS Administration GUI を使用します。問題の証明書を削除し、リロードする必要がある場合があります。

ICSCertificateValidationFailure

アラートの説明

このアラートは、Cisco Intercluster Sync Agent サービスが、処理される証明書に認証エラーを検出したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

ソース サーバの証明書と、このサーバにロードされる証明書を比較するために、IM and Presence Service の OS Administration GUI を使用します。問題の証明書を削除し、リロードする必要がある場合があります。

InterclusterSyncAgentAXLConnectionFailed

アラートの説明

このアラートは、リモートの IM and Presence Service クラスタへの認証に、Cisco Intercluster Sync Agent サービスが失敗したため、接続できないことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし。

推奨処置

AXL クレデンシャルが正しいことと、Cisco AXL Web サービスがリモートの IM and Presence Service クラスタで実行中かどうかを確認します。

InterclusterSyncAgentPeerDuplicate

アラートの説明

このアラートは、Cisco Intercluster Sync Agent サービスがリモート ピアからのユーザ ロケーションデータの同期に失敗したことを示します。リモート ピアは、ローカル クラスタ内にピアをすでに持つ IM and Presence Service クラスタに由来します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし。

推奨処置

リモート ピアのホスト名が、識別された既存のピアからのセカンダリ ノードでないことを確認します。新しいピアがセカンダリ ノードの場合は、このピアを IM and Presence Service Administration GUI の [クラスタ間詳細 (Inter-cluster details)] ページから削除します。また、システムトラブルシュータを実行して詳細を確認することもできます。

LegacyCUPCLogin

アラートの説明

このアラートは、Cisco Unified Personal Communicator のレガシー クライアントが Cisco Client Profile Agent サービスにログインしようとしたことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco Unified Personal Communicator のレガシー クライアントはサポートされないため、アップグレードする必要があります。

NotInCucmServerListError**アラートの説明**

このアラートは、IM and Presence ノードが Unified Communications Manager パブリッシャのサーバリストに含まれていないため Cisco Sync Agent の起動に失敗したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

IM and Presence ノードを Unified Communications Manager サーバのサーバリストに追加し、Cisco Sync Agent サービスを起動します。

PEAutoRecoveryFailed**アラートの説明**

このアラートは、エラーを Cisco Presence Engine サービスの起動シーケンス中に発生したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

このエラーは、設定に問題がある可能性があります。失敗メッセージで認識された問題を修正します。

PEDatabaseError**アラートの説明**

このアラートは、データベースから情報を取得中に Cisco Presence Engine サービスでエラーが発生したことを示します。これは Cisco DB サービスに問題が生じていることを示している場合があります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

Cisco DB サービスが実行されていることを確認します。Unified RTMT を使用して、Cisco Presence Engine サービス ログでエラーをチェックしてください。詳細については、Cisco TAC にお問い合わせください。

PEIDSQueryError

アラートの説明

このアラートは、IM and Presence Service データベースのクエリーを実行中に Cisco Presence Engine サービスがエラーを検出したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

都合のよいときに Cisco Presence Engine サービスを再起動します。問題が続く場合は、関連するエラーメッセージとログファイルを確認し、Cisco TACにお問い合わせください。

PEIDSSubscribeError

アラートの説明

このアラートは、Cisco Presence Engine サービスが IM and Presence Service データベース変更通知をサブスクライブできなかったを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

都合のよいときに Cisco Presence Engine サービスを再起動します。問題が続く場合は、関連するエラーメッセージとログファイルを確認し、Cisco TACにお問い合わせください。

PEIDStoIMDBDatabaseSyncError

アラートの説明

このアラートは、IM and Presence データベースと Cisco Presence Engine とデータベースサービス間の同期が失敗したことを示します (Cisco Login Datastore、Cisco Route Datastore、Cisco Presence Datastore、および Cisco SIP Registration Datastore)。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

都合のよいときに Cisco Presence Engine サービスを再起動します。問題が続く場合は、関連するエラーメッセージとログファイルを確認し、Cisco TACにお問い合わせください。

PELoadHighWaterMark

アラートの説明

このアラートは、Cisco Presence Engine サービスが CPU 使用率しきい値を超えたことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、次のアクティブサブスクリプションカウンタを確認してください: ActiveSubscriptions、ActiveViews、SubscriptionActiveReceivedFromForeign、および

SubscriptionActiveSentForeign。この状態が続く場合は、クラスタ内の別の IM and Presence Service ノードにユーザを移動することを検討することをお勧めします。

PEMemoryHighCondition

アラートの説明

このアラートは、Cisco Presence Engine サービスがメモリしきい値に達したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Unified RTMT を使用して、次のアクティブ サブスクリプション カウンタを確認してください：ActiveSubscriptions、ActiveViews、SubscriptionActiveReceivedFromForeign、および SubscriptionActiveSentForeign。この状態が続く場合は、クラスタ内の別の IM and Presence ノードに一部のユーザをオフロードします。

PEPeerNodeFailure

アラートの説明

このアラートは、サブクラスタのピア ノードの Cisco Presence Engine サービスが失敗したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

Cisco Presence Engine サービスが動作していることを確認するには、Cisco Unified Serviceability を使用します。詳細については、Cisco TAC にお問い合わせください。

PEsipSocketBindFailure

アラートの説明

このアラートは、Cisco Presence Engine サービスが表示された設定済みインターフェイスに接続できないことを示します。このインターフェイスでは SIP トラフィックは処理できません。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco Presence Engine サービスのリッスン インターフェイスが IM and Presence Service Administration GUI の [アプリケーション リスナー (Application Listener)] ページで正しく設定されていることを確認します。netstat を使用して他のプロセスが同じポートでリッスンしていないことを確認します。

PEStateDisabled

アラートの説明

このアラートは、Cisco Presence Engine サービスが使用できず、トラフィックを処理できないことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

ログファイルをチェックし、Unified RTMT を使用して Cisco Presence Engine サービスをモニタしてください。

PEStateLocked

アラートの説明

このアラートは、管理上、Cisco Presence Engine サービスでトラフィック処理が禁止されていることを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

このアラートは通知専用です。アクションは不要です。

PEWebDAVInitializationFailure

アラートの説明

このアラートは、Cisco Presence Engine サービスが WebDAV ライブラリを初期化できなかったことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco Presence Engine サービスを再起動します。

PWSAboveCPULimit

アラートの説明

このアラートは、CPU 使用率が設定されたしきい値を超えたことが Cisco SIP Proxy サービスで実行中の Presence Web Service モジュールにより検出されたことを示します。この間、CPU 使用率が設定されたしきい値未満に低下するまで、新しい要求はブロックされません。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Unified RTMT を使用して、Cisco SIP Proxy サービスのログの詳細を確認してください。

PWSAboveSipSubscriptionLimit

アラートの説明

このアラートは、サブスクリプションの数が設定された制限を超えたことが Cisco SIP Proxy サービスで実行中の Presence Web Service により検出されたことを示します。この間、Presence Web Service は、サブスクリプションの数が設定された制限を下回るようになるまで、新しい着信 SIP サブスクリプションをブロックします。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP Proxy サービスのログの詳細を確認してください。

PWSRequestLimitReached

アラートの説明

このアラートは、秒あたりの Cisco SIP Proxy サービス要求数の制限に到達したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

着信要求のレートを抑制する必要がある場合があります。

PWSSCBFindFailed

アラートの説明

このアラートは find_scb() へのコールが SCB ルックアップに失敗したことを示す NULL を返したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

PWSSCBInitFailed

アラートの説明

このアラートは、SCB の初期化が失敗したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco SIP プロキシ サービスを再起動します。

SRMFailover

タイプ

IM and Presence Service

アラートの説明

このアラートは、Server Recovery Manager が自動フェールオーバーを実行していることを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

障害が発生したノードが起動しており、重要なサービスが実行されていることを確認します。

SRMFailed

アラートの説明

このアラートは、Server Recovery Manager が障害状態であることを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

都合の良いときに Server Recovery Manager を再起動します。

UASCBFindFailed

アラートの説明

このアラートは find_scb() へのコールが SCB ルックアップに失敗したことを示す NULL を返したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

UASCBGetFailed

アラートの説明

このアラートは、tchtable_acquire_tcb() へのコールが SCB の取得または作成に失敗したことを示す NULL を返したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco RTMT を使用して、Cisco SIP プロキシ サービスのトレース ログ ファイルで詳細なエラー メッセージを確認してください。

XcpCmComponentConnectError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP Connection Manager が Cisco XCP ルータへの接続に失敗したためにシャットダウンしていることを示しています。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco XCP Connection Manager のログ ファイルで詳細情報を確認します。

XcpCmPauseSockets

アラートの説明

このアラートは、優れた XCP の内部パケットまたはデータベース要求が設定された上限に達したことを示します。クライアント接続は、保留中の要求がしきい値を下回るまで一時停止されます。ユーザには、問題が解決されるまで遅延が発生します。解決前に設定されたタイムアウトに達した場合、ユーザは接続解除される可能性があります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

詳細については XCP ルータ ログ ファイルを確認します。XCP Connection Manager からのタイムアウトによるクライアントの切断をモニタします。

XcpCmStartupError

アラートの説明

このアラートは、XCP Connection Manager サービスが起動に失敗したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

CM のログ ファイルで詳細情報を確認します。

XcpCmXmppdError

アラートの説明

このアラートは、XCP Connection Manager (CM) サービスで XMPP インターフェイスにエラーがあることを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

CM のログ ファイルで詳細情報を確認します。

XCPConfigMgrConfigurationFailure

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP Config Manager が正常に XCP 設定を更新できなかったことを示しています。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

根本原因については Cisco XCP Config Manager のログを確認します。Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。

XCPConfigMgrHostNameResolutionFailed

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP Config Manager で、Cisco XCP ルータがそのノードに接続することを許可するために DNS 名を解決することができなかったことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

ローカルクラスタとリモートクラスタの両方のすべてのホスト名と FQDN の DNS 解決可能性を確認します。DNS が解決可能になった後、Cisco XCP Config Manager を再起動し、次に Cisco XCP ルータを再起動します。

XCPConfigMgrJabberRestartRequired

アラートの説明

このアラートは、バッファ サイズが原因でシステムが停止した後に、Cisco XCP Config Manager が XCP XML ファイルを再生成したことを示します。変更を適用するために、Cisco XCP ルータを再起動する必要があります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

Cisco XCP ルータを再起動します（そのほうが便利な場合）。

XCPConfigMgrR2RPasswordEncryptionFailed

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP Config Manager が、クラスタ間およびルータ間の設定に関連付けられたパスワードを暗号化できなかったことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

Cisco XCP Config Manager を再起動し、次に Cisco XCP ルータを再起動します（そのほうが便利な場合）。

XCPCongMgrR2RRequestTimedOut

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP Config Manager が XCP ルータに R2R 構成要求を送信したが、XCP ルータが許可された時間内に要求を承認しなかったことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco XCP Config Manager を再起動し、次に XCP ルータを再起動します。

XcpDBConnectError

アラートの説明

Cisco XCP データ アクセス レイヤが DB に接続できませんでした。これはローカルまたは外部のデータベースがダウンしているか、または外部データベースへのネットワーク接続が失われたことを示す場合があります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

システムトラブルシュータで詳細を確認してください。外部データベースが正常に動作していること、および外部データベースサーバとのネットワーク接続に問題があるかどうかについても確認します。

XcpMdnsStartError

アラートの説明

このアラートは、XCP ルータが Multicast Domain Name Service (MDNS) の起動に失敗したことを示します。これにより、クラスタ内の他のルータに接続障害を引き起こす可能性があります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

詳細については XCP ルータ ログ ファイルを確認します。

XcpSIPFedCmComponentConnectError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP SIP Federation Connection Manager が Cisco XCP ルータへの接続に失敗したためにシャットダウンしていることを示しています。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco XCP SIP Federation Connection Manager ログ ファイルで詳細情報を確認します。

XcpSIPFedCmStartupError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP SIP Federation Connection Manager サービスが起動に失敗したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco XCP SIP Federation Connection Manager ログ ファイルで詳細情報を確認します。

XcpSIPGWStackResourceError

アラートの説明

このアラートは、サポートされる同時 SIP Federation サブスクリプションまたは SIP Federation IM セッションが最大数に到達し、Cisco XCP SIP Federation Connection Manager に追加のサブスクリプションまたは IM セッションを処理するために必要なリソースがないことを示しています。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

N/A

推奨処置

Cisco XCP SIP Federation Connection Manager に事前に割り当てられた SIP スタック メモリのサービスパラメータを増やします。注：この設定を変更する場合は、使用可能なメモリがあることを確認します。十分なメモリがない場合は、ハードウェア能力の制限に到達している可能性があります。

XcpThirdPartyComplianceConnectError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP ルータがサードパーティ製のコンプライアンス サーバに接続できないことを示します。これは、ネットワークの問題やサードパーティ製コンプライアンス サーバの設定またはライセンス問題が原因である可能性があります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

これは、IM and Presence Service で IM が中断される重大なエラーです。サードパーティ製コンプライアンスサーバへのネットワーク接続とサードパーティ製コンプライアンスサーバの設定（ライセンスを含む）を確認します。IM サービスを復元するには、接続失敗の

原因が特定されるまで管理 GUI の [コンプライアンス設定 (Compliance Settings)] オプションを [未設定 (Not Configured)] に設定します。

XcpTxtConfDBConnectError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP テキスト会議のデータアクセスレイヤが外部データベースに接続できなかったことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

詳細についてシステム トラブルシューティング ツールを確認します。外部データベースが正常に動作していること、および外部データベースサーバとのネットワーク接続に問題があるかどうかについても確認します。

XcpTxtConfGearError

アラートの説明

このアラートは、XCP Text Conference Manager (TC) サービスが設定されたコンポーネントをロードできなかったことを示します。これにより、サービスが期待どおりに開始または動作できなくなる可能性があります。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

詳細については、XCP Text Conference ログ ファイルを確認します。

XcpWebCmComponentConnectError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP Web Connection Manager が Cisco XCP ルータへの接続に失敗したためにシャットダウンしていることを示しています。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco XCP Web Connection Manager のログ ファイルで詳細情報を確認します。

XcpWebCmHttpdError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP Web Connection Manager サービスで HTTP インターフェイスにエラーがあることを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco XCP Web Connection Manager のログ ファイルで詳細情報を確認します。

XcpWebCmStartupError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP Web Connection Manager サービスが起動に失敗したことを示します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco XCP Web Connection Manager のログ ファイルで詳細情報を確認します。

XcpXMPPFedCmComponentConnectError

アラートの説明

このアラートは、Cisco XCP XMPP Federation Connection Manager が Cisco XCP ルータへの接続に失敗したためにシャットダウンしていることを示しています。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

Cisco XCP XMPP Federation Connection Manager ログ ファイルで詳細情報を確認します。

XcpXMPPFedCmStartupError

アラートの説明

このアラートは、XCP XCP Federation Connection Manager サービスの起動に失敗した場合に発生します。

Unified RTMT のデフォルトしきい値

該当なし

推奨処置

CM ログ ファイルの詳細を確認してください。

Intercompany Media Engine アラート

BannedFromNetwork

このアラートは、ネットワーク管理者がネットワーク（IME 分散キャッシュリング）でこの Cisco IME サーバを禁止して、この Cisco IME サービスを全体的または部分的に操作不能にしたことを示します。ネットワーク管理者がサーバを禁止することはまれですが、ネットワークへの悪質な攻撃にサーバが使用されていることが検出された場合は禁止します。エラー中にこのアラートを受け取った場合は、すぐに TAC に問い合わせてください。

デフォルト設定

表 185: BannedFromNetwork アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	アラート
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 Cisco IME サービスがネットワークから禁止された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

IMEDistributedCacheCertificateExpiring

このアラートは、IME分散キャッシュで使用される証明書が期限切れになるまでの残りの日数を示します。証明書は期限切れになる前に置き換える必要があります。

デフォルト設定

表 186: IMEDistributedCacheCertificateExpiring アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	警告
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効

値	デフォルト設定
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 Cisco IME の分散キャッシュ証明書の期限切れが迫っている。14 日間。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	1440 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

IMEDistributedCacheFailure

このカウンタは、IME 分散キャッシュの健全性を示します。値ゼロ（赤色）は、IME 分散キャッシュに次のような重大な問題が発生していることを示します。

- ネットワークが分割された後で、Cisco IME が問題を解決できない。この場合、検証に失敗する場合があります。
- Cisco IME サービスがネットワークにまったく接続されておらず、ブートストラップサーバに到達できない。

値 1（黄色）は、Cisco IME ネットワークで軽微な問題が発生していることを示します。たとえば、ブートストラップサーバ間の接続の問題や Cisco IME ネットワークのその他の問題などです。このカウンタが 1 になった原因を示す可能性のあるすべてのアラームを調べてください。値 2 は、IME 分散キャッシュが正常に動作し、システムは健全であると見なされることを示します。

デフォルト設定

表 187: IMEDistributedCacheFailure アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ（重大度）	アラート
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効

値	デフォルト設定
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 IME 分散キャッシュの異常状態 1：ネットワークで軽微な問題が発生 0：ネットワークに問題が発生
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	60 分以内にアラートを 1 回トリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

IMESdLinkOutOfService

このアラートは、Cisco IME サービスと Cisco AMC Service や Cisco CallManager Service などの Cisco IME Config Manager サービスとの通信が切断されたことを示します。

このアラートは通常、（メンテナンスのために意図的に、または接続障害が原因で意図せずに）このいずれかのサービスが停止したことを示します。

デフォルト設定

表 188: IMESdLinkOutOfService アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ（重大度）	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 SDLLinkOOS イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする

値	デフォルト設定
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

InvalidCertificate

このアラートは、管理者が Cisco IME サーバで IME 分散キャッシュを有効化したものの、有効な証明書の設定を省略したか、不正な証明書を設定したことを示します。

デフォルト設定

表 189: InvalidCertificate アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	アラート
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 無効な証明書が設定された。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

InvalidCredentials

このアラートは、Unified Communications Manager で設定されたユーザ名とパスワードが Cisco IME サーバで設定されたものと一致しないために、Unified Communications Manager が Cisco IME サーバに接続できないことを示します。

アラートには、CiscoIMEサーバへの接続に使用されたユーザ名とパスワードに加え、ターゲット Cisco IME サーバの IP アドレスおよび名前が含まれます。このアラートを解決するには、Cisco IME サーバにログインし、設定されているユーザ名およびパスワードが Unified Communications Manager で設定されているユーザ名およびパスワードと一致することを確認します。

デフォルト設定

表 190: InvalidCredentials アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	エラー
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 無効または不一致のクレデンシャル。
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

MessageOfTheDay

Cisco IME ネットワークの管理者がユーザ宛のメッセージを保有している場合、Cisco IME サービスによりこのアラートが生成されます。

デフォルト設定

表 191: MessageOfTheDay アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	注記
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 ネットワーク管理者からのメッセージ
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	1440 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

SWUpdateRequired

Cisco IME サーバは、Cisco IME サーバソフトウェアの新規バージョンが必要な場合、このアラートを生成します。このアラートはアップグレードを実行するまで繰り返されます。ソフトウェアアップデートに関するより多くの情報を取得するには、シスコの Web サイトに移動します。重要なアップデートはこのアラートを受信してから数日中にインストールする必要があります。

これらのアップグレードはセキュリティ脆弱性が主な機能上の停止に対応します。場合によっては、重大なアップグレードをすぐに適用されない場合、Cisco IME サーバがネットワークに接続できなくなる可能性があります。

デフォルト設定

表 192: SWUpdateRequired アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン

値	デフォルト設定
シビラティ (重大度)	警告
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 ソフトウェア アップグレードが必要になった
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	60 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

TicketPasswordChanged

Cisco IME サーバは、管理者が検証チケットの生成に使用されるパスワードを変更する場合、このアラートを生成します。

権限のある管理者がパスワードを変更したことを確認します。不正な変更は、Cisco IME サービスの管理インターフェイスのセキュリティが破られていることを示す場合があります。不正な変更が行われたと判断した場合は、それ以上の不正アクセスを防止するために、Cisco IME サーバの管理パスワードをただちに変更します。管理者パスワードを変更するには、Cisco IME サーバ CLI で `set password admin` を入力します。

デフォルト設定

表 193: TicketPasswordChanged アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	注記
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効

値	デフォルト設定
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 チケットパスワードが変更された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	Trigger on every poll
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

ValidationsPendingExceeded

このアラートは、Cisco IME サーバ上の保留中の検証の数を示します。この数は、Cisco IME サーバ上の作業のバックログのインジケータを提供します。

デフォルト設定

表 194: *ValidationsPendingExceeded* アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
次のサーバーでこのアラートを有効化/無効化	一覧表示されたサーバで有効
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 Cisco IME の保留中の検証が 100 を超えた
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	60 分以内に最大 1 回のアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン

値	デフォルト設定
トリガーアラートアクション	デフォルト

Cisco Unity Connection のアラート

NoConnectionToPeer

(Cisco Unity Connection クラスタ構成のみ) このアラートは、Cisco Unity Connection クラスタサーバが相互に通信できない場合（たとえば、ネットワーク接続が失われた場合）に生成されます。



(注) Cisco Business Edition 5000 は、Cisco Unity Connection クラスタとこのアラートをサポートしません。

デフォルト設定

表 195: NoConnectionToPeer RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
Enable/Disable this alert on following server(s)	Enabled
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 NoConnectionToPeer イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

AutoFailoverSucceeded

(Cisco Unity Connection クラスタ設定) : このアラートは次の条件で生成されます。

- (プライマリステータスのサーバで重大な障害が発生した場合などに) セカンダリステータスのサーバが、ステータスを自動的にプライマリに変更した場合に、ボイスメッセージング機能とクラスタのデータベースを処理する責任を負う場合。このアラートは、次のイベントが発生したことを通知します。
 - 最初にプライマリステータスだったサーバで重大な障害が発生した。
 - 最初にセカンダリステータスだったサーバのステータスがプライマリになり、すべてのコールを正常に処理している。
- 機能を停止していたサーバ (前述) がオンラインに復帰し、両方のサーバがボイスメッセージング機能と複製の処理の責任を共有するように、サーバのステータスが自動的に変更された場合。



(注) Cisco Business Edition 5000 は、Cisco Unity Connection クラスタとこのアラートをサポートしません。

デフォルト設定

表 196: AutoFailoverSucceeded RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	情報
Enable/Disable this alert on following server(s)	Enabled
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 AutoFailoverSucceeded イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン

値	デフォルト設定
トリガーアラートアクション	デフォルト

AutoFailoverFailed

(Cisco Unity Connection クラスタ設定) : このアラートは次の条件で生成されます。

- (プライマリステータスのサーバで重大な障害が発生した場合などに) セカンダリステータスのサーバがステータスを自動的にプライマリに変更しようとしたが、サーバステータスの自動変更が失敗して、セカンダリステータスのサーバがセカンダリステータスを保持している場合。
- 機能を停止した (たとえば重大な障害が発生した) サーバがオンラインに復帰しない場合。クラスタ内で 1 台のサーバだけが機能しています。



(注) Cisco Business Edition 5000 は、Cisco Unity Connection クラスタとこのアラートをサポートしません。

デフォルト設定

表 197: AutoFailoverFailed RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	エラー
Enable/Disable this alert on following server(s)	Enabled
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 AutoFailoverFailed イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン

値	デフォルト設定
トリガーアラートアクション	デフォルト

AutoFailbackSucceeded

(Cisco Unity Connection クラスタ設定) このアラートは、プライマリ ステータスのサーバの機能停止の原因となった問題（これにより、セカンダリ ステータスのサーバのステータスがプライマリに変更された）が解決され、両方のサーバが再度オンラインになった場合に生成されます。次に、機能を停止していたサーバがプライマリ ステータスになり、もう一方のサーバがセカンダリ ステータスになるように、両方のサーバは自動的にステータスを変更します。



- (注) Cisco Business Edition 5000 は、Cisco Unity Connection クラスタとこのアラートをサポートしません。

デフォルト設定

表 198: AutoFailbackSucceeded RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	情報
Enable/Disable this alert on following server(s)	Enabled
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 AutoFailbackSucceeded イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

AutoFailbackFailed

(Cisco Unity Connection クラスタ設定) : このアラートは、パブリッシャノードがオンラインでなく、プライマリ ステータスのサーバが状態を自動的に変更できなかった場合に発生します。



(注) Cisco Business Edition 5000 は、Cisco Unity Connection クラスタとこのアラートをサポートしません。

デフォルト設定

表 199: AutoFailbackFailed RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	エラー
Enable/Disable this alert on following server(s)	Enabled
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 AutoFailbackFailed イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

SbrFailed

Cisco Unity Connection クラスタが設定されているとき、2 台のサーバが相互に通信できない場合、両方とも同時にプライマリ ステータス (「スプリットブレイン」状態) になり、ボイスメッセージング機能処理し、メッセージを各自のメッセージストアに保存しますが、複製は実行しません。ユーザは、メッセージを取得できますが、これらのメッセージが取得されたことを認識するのは 1 台のサーバだけです。

サーバの両方が相互に通信できる時、各ユーザメールボックスの正しい内容と状態を決定することによってこのスプリットブレイン状態が解決されます。

- 受信した新しいメッセージかどうか。
- 新しいメッセージの MWI がすでに送信済みかどうか。
- どのメッセージを再生したか。
- どのメッセージが削除されたか。

スプリットブレイン状態の解決に失敗した場合、このアラートが発生します。



(注) Cisco Business Edition 5000 は、Cisco Unity Connection クラスタとこのアラートをサポートしません。

デフォルト設定

表 200: SbrFailed RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	情報
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 SbrFailed イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

DiskConsumptionCloseToCapacityThreshold

このアラートは、Cisco Unity Connection サーバ上のハードディスク使用量が Cisco Unity Connection Administration の [システム設定 (System Settings)] > [詳細設定 (Advanced)] > [ディスク容量 (Disk Capacity)] ウィンドウで指定したパーセンテージまであと 10 パーセン

DiskConsumptionExceedsCapacityThreshold

トのところに到達すると生成されます。たとえば、容量のしきい値の制限が 95% の場合、使用率が 85% になると、アラートがトリガーされます。

デフォルト設定

表 201: DiskConsumptionCloseToCapacityThreshold RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	エラー
Enable/Disable this alert on following server(s)	Enabled
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 DiskConsumptionCloseToCapacityThreshold イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

DiskConsumptionExceedsCapacityThreshold

このアラートは、Cisco Unity Connection サーバ上のハードディスク使用量が Cisco Unity Connection Administration の [システム設定 (System Settings)] > [詳細設定 (Advanced)] > [ディスク容量 (Disk Capacity)] ウィンドウで指定したパーセンテージの制限に到達するか、または超えた場合に生成されます。

デフォルト設定

表 202: DiskConsumptionExceedsCapacityThreshold RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	エラー

値	デフォルト設定
Enable/Disable this alert on following server(s)	Enabled
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 DiskConsumptionExceedsCapacityThreshold イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

LicenseExpirationWarning

Cisco Unity Connection は、ユーザやポートなど、複数の機能のライセンスを提供します。システムは、これらのライセンスを適用します。お客様が期間限定ライセンスを使用して特定機能を試用する場合、このライセンスには有効期限が設定されます。ライセンスの有効期限が来る前に、システムによりメッセージが送信されて、このアラートが発生します。ログには、ライセンスの有効期限までの日数が表示されます。

デフォルト設定

表 203: LicenseExpirationWarning RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	クリティカル
Enable/Disable this alert on following server(s)	Enabled
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 LicenseExpirationWarning イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする

値	デフォルト設定
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

LicenseExpired

Cisco Unity Connection は、ユーザやポートなど、複数の機能のライセンスを提供します。システムは、これらのライセンスを適用します。お客様が期間限定ライセンスを使用して特定機能を試用する場合、このライセンスには有効期限が設定されます。ライセンスの期限が来ると、ライセンスが無効になり、このアラートが発生します。

デフォルト設定

表 204: LicenseExpired RTMT アラートのデフォルト設定

値	デフォルト設定
アラートの有効化	オン
シビラティ (重大度)	情報
Enable/Disable this alert on following server(s)	Enabled
しきい値	次の条件が満たされたときにアラートをトリガーする。 LicenseExpired イベントが生成された
期間	すぐにアラートをトリガーする
頻度	ポーリングごとにアラートをトリガーする
スケジュール	毎日 24 時間
電子メールの有効化	オン
トリガーアラートアクション	デフォルト

システム エラー メッセージ

システム エラー メッセージ

システムエラーメッセージの完全なリストについては、「*System Error messages for Cisco Unified Communications Manager*」を参照してください。<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-system-message-guides-list.html>

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。